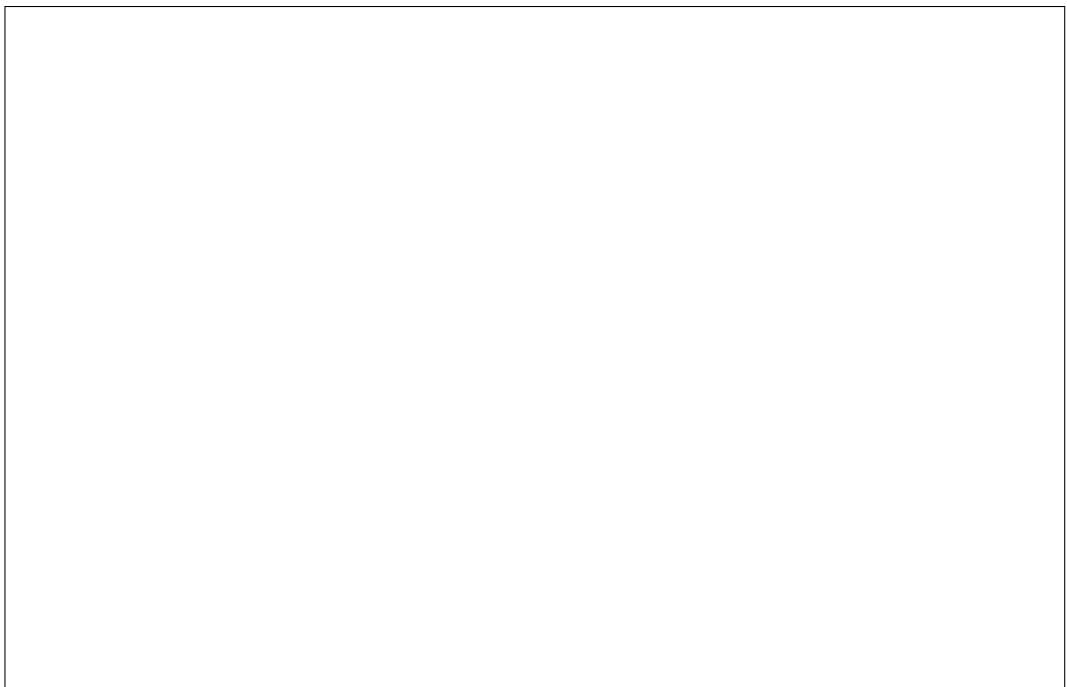


ANNUAL REPORT

2002 – 2003

No. 26



University of Tsukuba

Institute of Policy and Planning Sciences

まえがき

社会工学系は、社会問題（経済、経営、都市・地域、国際関係等の諸問題）を理工学的（分析的、数理的、計量的）アプローチによって解明し、政策的な意味合いを見出すという研究上の共通目標をもつ研究者・教育者の組織である。それぞれの構成員は、国際的に認められるような質の高い研究成果を上げるように、また良き教育者であるように努めている。平成14年度の本学系所属の教員は、東京大塚地区を含めて、教授46名、助教授27名、講師27名、助手2名の合計102名である（平成15年3月31日現在）。本学系教員の研究・教育活動は、以下のように総括できる。

(1) 研究活動と国際交流

本学系の研究活動は、平成14年度も全分野にわたって活発に展開した。国内外論文・著書発表数、国内外学会発表数は、国外学会発表数以外は平成13年度に比べて減少したが、多くの教員は審査付国際学術誌への論文発表のために努力している。学系発行のDiscussion Paperは、47篇（平成13年度は66篇）であった。競争的研究資金の積極的導入に努めた結果、科学研究費、学内プロジェクトの採択件数および金額はともに引き続き増加している。受賞は9件（日本応用数理学会論文賞、日本オペレーションズ・リサーチ学会業績賞等）であった。

国際交流協定を結んでいるのは、清華大学、韓国国土研究院、アデレード大学、南オーストラリア大学、南オーストラリアフリンダース大学、ウィーン経済経営大学、およびザンクト・ガレン大学（スイス）である。これらの大学とは若干名ながら、研究者および学生の交換が続いている。外国人研究者の受け入れと教員の海外派遣は極めて多く、研究交流が盛んであることを示している。

(2) 教育と人事

本学系から教員を派遣している教育組織は、第三学群の社会工学類と国際総合学類、修士課程の経営・政策科学研究科、環境科学研究科および地域研究科、博士課程のシステム情報工学研究科、人文社会科学研究科およびビジネス科学研究科である。また、大学研究センター、産学リエゾン共同研究センター、留学生センターにも若干名を派遣した。

本学系は教員の流動性が非常に高く、それに伴い採用・昇任人事が活発に行われている。そこでは、審査付学術論文を重視した業績評価を基礎として、開かれた透明な人事に努めている。しかしモビリティの高さは、退職転出者の多さ、人事に投入する労力の多さも意味している。優秀な人材を確保維持するために、継続した努力が必要である。

本学系の教員は、様々な研究分野・職歴・国籍をもつ。多様な教員間の活発な交流が、相乗効果により研究成果の向上をもたらすことを期待する。本学系の更なる成長のためには、研究・教育意欲を刺激するような環境と開かれた運営体制を整備し、中長期的視野に立ち有能な人材を確保することが必要である。また学系業績の定期的な記録と自己評価により、学系活動の説明責任を果たさなければならない。本報告書がそのような課題に対応するための資料を提供し、構成員及び関係者の意識向上に貢献できれば幸いである。

平成15年8月15日

社会工学系長
橋本 昭洋

目次

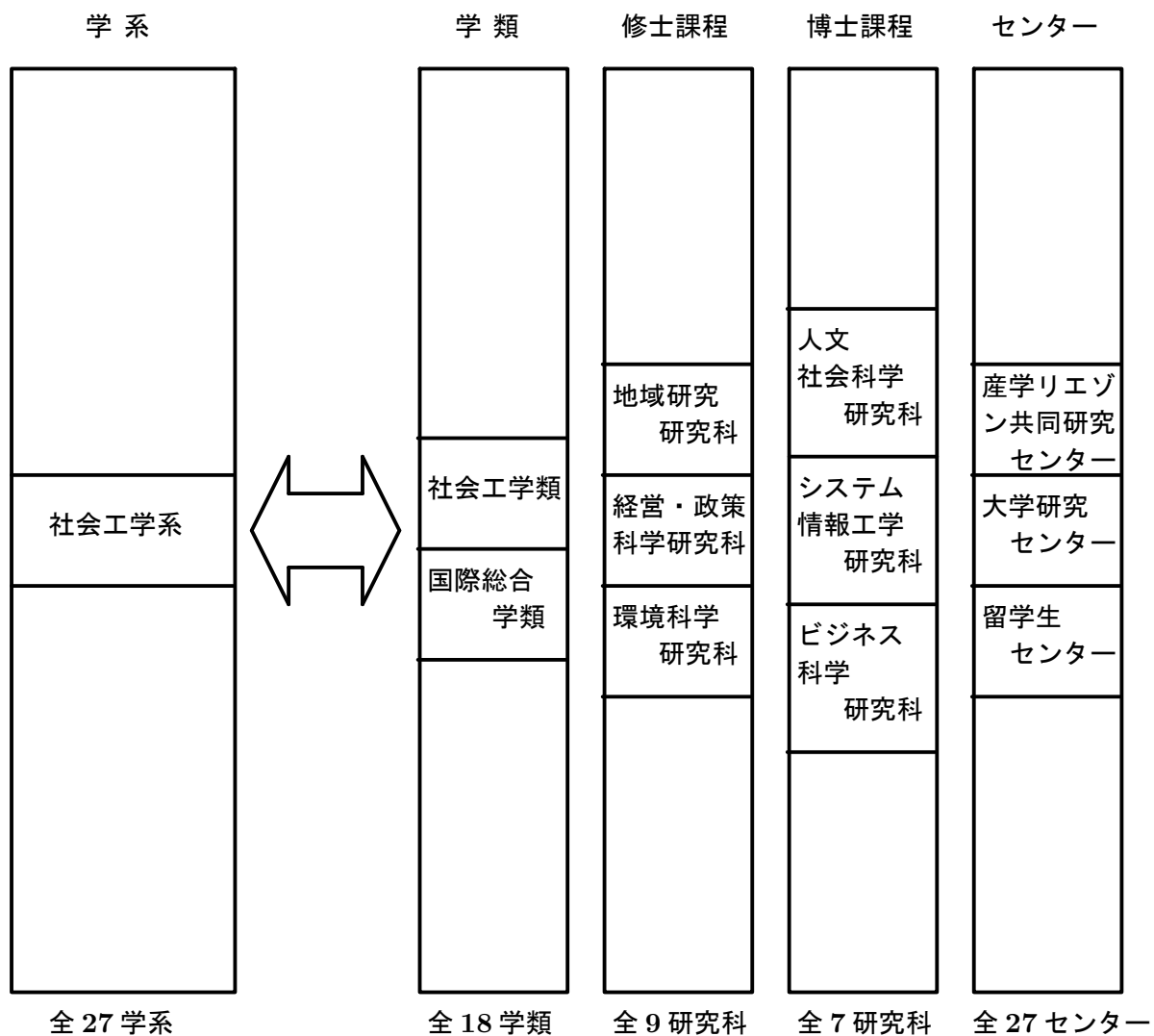
I.	概要	1
I-1	沿革	2
I-2	社会工学系および関連組織	3
II.	教官一覧	4
III.	研究活動	14
III-1	科学研究費補助金	15
III-2	受託研究	18
III-3	学内プロジェクト	20
III-4	ファカルティ・セミナー	21
III-5	研究出版物	26
IV.	各教官研究・教育活動	29
	教授	30
	助教授	89
	講師	120
	助手	151

I. 概要

I-1 沿革

- 昭 38. 9 研究学園都市を筑波地区に建設することを閣議了解
昭 45. 5 筑波研究学園都市建設法成立
昭 47. 5 筑波新大学 (仮設) 等 42 機関を閣議決定
昭 48. 10 筑波大学設置
昭 50. 4 社会工学系発足
社会科学部 社会科学研究科 計量計画学専攻 (博士課程) 発足
昭 51. 4 経営・政策科学研究科 経営・政策科学専攻 (修士課程) 発足
昭 52. 4 第三学群社会工学類発足
環境科学研究科 (修士課程) 発足
昭 53. 4 社会工学研究科計量計画学, 都市・地域計画学専攻 (博士課程) 発足
昭 54. 4 社会工学研究科経営工学専攻 (博士課程) 発足
昭 56. 3 社会工学類第一回生卒業
昭 58. 4 第三学群国際関係学類発足
平 1. 4 経営・政策科学研究科 経営システム科学専攻 (夜間修士課程、大塚地区) 発足
平 4. 4 国際政治経済学研究科 (博士課程) 発足
平 8. 4 経営・政策科学研究科 企業科学専攻 (夜間博士課程、大塚地区) 発足
平 9. 4 社会工学研究科 計量ファイナンス・マネジメント専攻新設、
社会経済システム、システム情報数理、都市・環境システム専攻に改組再編
平 12. 4 システム情報工学研究科 社会システム工学専攻 (博士課程、社会経済シス
テム、システム情報数理、都市・環境システム分野)、
計量ファイナンス・マネジメント専攻 (博士課程) 発足
平 13. 4 ビジネス科学研究科 経営システム科学、企業法学、企業科学専攻 (夜間・前
後区分制博士課程、大塚地区)、
システム情報工学研究科 リスク工学専攻 (博士課程) 発足

I-2 社会工学系および関連組織



II. 教官一覽

(平成14年4月～平成15年7月)

教授		
氏名 / 職名	専門分野	研究内容
赤根谷 達雄	国際政治学 国際政治経済学 日本の対外政策	冷戦後の国際秩序, 日米同盟の再構築, 新しい安全保障の概念
池田 三郎	社会システム工学 環境リスク分析	都市, 地域及び生態系の統合モデル化とその計算機模擬, 地球環境や都市・地域の環境リスクの分析と管理, 複雑系のモデル化とその制御の手法に関する研究
石田 東生 (社会工学類長 H13.4.1-H15.3.31)	都市交通計画 社会基盤施設計画 交通需要予測	都市公共交通政策, 交通施設整備政策の変遷, 交通計画策定プロセスにおける評価とパブリックインボルブメントの可能性と方法
糸井川 栄一 (経営・政策科学研究 科長 H15.4.1-)	都市防災計画	都市防災に関する数理化 都市の災害脆弱性評価
大澤 義明	都市計画 地域科学	立地理論, 空間的競争モデル, 地理データ解析
太田 誠	ミクロ経済学 計量経済学	生産技術・品質・市場構造の理論的・実証的研究, 物価指数論, マクロ経済現象のミクロ理論的・実証的分析
大西 治男	情報計量経済学 計量行政学 データ解析	統計学や計量経済学の変数選択問題の解法の計算機科学的研究
大村 謙二郎	都市計画 都市計画史	土地利用計画, 計画制度, 都市計画史
小倉 昇 (ビジネス科学研究科 経営システム科学専 攻長 H14.4.1-)	管理会計学 業績評価 コストマネジメント	事業業績の評価, 活動基準原価計算, 組織の戦略的コントロール, マーケティング活動の会計的測定
小場瀬 令二	都市環境デザイン	環境共生住宅, 地域重視型住宅, フィンランドの都市計画, まちづくりとワーク ショップ
加藤 英明 (併任 H15.4.1-)	ファイナンス	行動ファイナンス, 企業の資金調達, コーポレートガバナンス
金子 守 (社会工学研究科長・ システム情報工学研 究科 社会システム工 学専攻長 H13.4.1-H15.3.31)	ゲーム論 認識理論 理論経済学	ゲーム論の基礎と応用 認識と経験 住宅市場
河合 忠彦	経営組織論 企業行動論	戦略的組織改革 経営組織論 企業行動論
岸本 一男	数理工学	数理ファイナンス デジタル幾何 数理政治学
木下 太志	文化人類学 人口学 生態人類学	人口理論, 出生・死亡・人口移動の数量的分析, 人類史における人口, 生態系と人口

教授		
氏名 / 職名	専門分野	研究内容
久野 靖	プログラミング言語 プログラミング環境	並列／分散オブジェクト指向言語，教育用オブジェクト指向言語，情報教育，ユーザインタフェース
熊谷 良雄	都市計画 都市安全管理計画	大地震による被害の想定に関する研究，緊急時の危機・情報管理，災害復興計画
黒田 諄 (留学生センター長 H13.4.1-H15.3.31)	農業経済学 経済発展論	技術進歩，農業成長および経済発展，農業および食料政策
香田 正人	システム科学 応用数理解析 データマイニング工学	システム最適化，感度解析，ニューラル・ネットワーク，機械学習等の理論的研究と，それらの技術のデータマイニングや発見科学への応用
腰塚 武志	都市工学 積分幾何学	都市の物的構造を数理的に明らかにすること．積分幾何とその応用．移動からみた都市構造の分析
SAAVEDRA RIVANO, Neanto	International Economics, Development Economics, Mathematical and Computational Methods in Economics	Comparison of Development Policies in East Asia and Latin America, Relation Between Regional Economic Integration Schemes and National Development Strategies in Asia and the Americas, Issues on Transition Economies.
佐藤 亮 (社会工学類長 H15.4.1-)	経営システム工学 システム科学	経営情報システム，離散事象システム，ビジネスプロセス工学，一般システム理論
庄司 功	応用時系列解析	ダイナミカルシステムモデルの推定
徐 華	システム制御理論 動的ゲーム理論	システム制御理論，動的ゲーム理論とそのマネジメントサイエンス，社会経済システムへの応用に関する研究
鈴木 久敏 (企画調査室長 H14.4.1-)	オペレーションズ・リサーチ 数理計画法	オペレーションズ・リサーチの生産，物流，社会システム，病院経営への応用
住田 潮	確率過程・応用確率論 情報システム/マルチメディア・ネットワーク 国際経営比較	確率計算アルゴリズム，情報通信ネットワークの評価・解析，日米経営比較
高木 英明 (副学長 H14.4.1-)	通信ネットワーク 確率モデル 待ち行列理論	マルチメディア情報通信ネットワークの性能評価モデル
椿 広計	応用統計	品質管理などを含むビジネス科学，環境科学，臨床評価，官庁統計分野などでの統計的方法の開発と応用

教授		
氏名 / 職名	専門分野	研究内容
寺野 隆雄 (ビジネス科学研究科 企業科学専攻長 H14.4.1-)	計算組織理論 データマイニング 進化計算 人工知能	遺伝的アルゴリズムなどの進化計算と人工知能の統合化, ならびに, これらによる, データマイニング手法の開発と社会シミュレーションへの適用
土井 正幸	地域経済学 交通経済学	発展途上国交通経済論, 港湾経済論, 国際物流論, 開発経済学, 地域経済発展とインフラストラクチャ整備, を含む。
永井 裕久	組織行動論, 人的資源管理論, 国際人事	経営組織における人間行動について行動科学的な分析枠組を構築し, フィールド調査を通して, 実証的に行動メカニズムを解析する研究
中村 豊	意思決定理論	不確実性下の意思決定の理論的基礎とその応用
橋本 昭洋 (社会工学系長 H14.4.1-)	社会システム 評価・決定論	社会システム分析, 公共部門意思決定, 評価・決定方法論, 非画一的総合評価
藤原 良叔	組合せ理論とその応用	組合せ理論/離散数学とその情報科学や統計学への応用
古川 俊一	行政学 政治学 公共政策学	地方行財政論, 地方分権と政府間関係論, 公共経営論, 比較行政制度論, 公共政策評価論
星野 靖雄	経営管理論 経営財務論 国際経営論	企業合併の計量分析, 合弁企業の行動分析, 日本的経営論
松尾 博文 (システム情報工学研究科 計量ファイナンス・マネジメント専攻長 H13.4.1-H15.3.31)	生産流通管理論	サプライチェーンマネジメント (SCM), オペレーション戦略, ビジネスモデル, 生産システムの最適化, スケジューリング, 在庫管理, オペレーションズリサーチ
松田 紀之 (経営・政策科学研究科長 H13.4.1-H15.3.31)	認知心理学 情報デザイン	感性的判断支援と分析, ブランドイメージ, リスク認知, セマンティックインターフェイス
宮越 龍義	金融論	日本金融システムの理論的・実証的研究
門田 安弘 (システム情報工学研究科 計量ファイナンス・マネジメント専攻長 H15.4.1-)	管理会計学 生産管理論	原価管理の実証分析, 分権組織の業績管理システムの実証分析, JIT 生産方式のモデル分析
焼田 党	マクロ経済学 公共経済学	マクロ経済モデルと税, 公共支出など政策効果の研究
山田 直志	医療経済学 応用ミクロ経済学	高齢者医療の部分的定額制度導入と医療セクター及びマクロ経済システムへの影響

教授		
氏名 / 職名	専門分野	研究内容
山本 芳嗣 (社会工学研究科長・ システム情報工学研 究科 社会システム工 学専攻長 H15.4.1-)	数理計画	均衡点問題とそのアルゴリズム, 大域的最適化
吉澤 正	応用統計 品質・環境マネジ メントシステム	多元データの解析, 製品及びマネジメントシス テムの開発への品質機能展開の応用
吉田 あつし	都市経済学 空間統計学 応用計量経済学 医療経済学	標準雇用大都市圏の形成と集積の経済, 地域間 取引の経済統計モデル, 空間計量経済モデルの 開発地域医療・介護保険制度とタイプ仮説の 検証, 医療保険制度の改正と医療サービスの需 要及び供給の分析
吉田 健一	機械学習 データマイニング インターネット	インターネットの運用ログ, アプリケーション に関する各種情報など, 構造を持ったデータか らの規則抽出とネットワーク/アプリケーション・ アーキテクチャへのフィードバック
吉田 雅敏	財政学 公共経済学 経済成長論	税, 公共投資などの財政学における基本問題の 研究
吉武 博通	応用経営戦略論 経営組織論	企業事例に基づく経営戦略・経営組織の実践的 研究, 組織革新とコーポレート ガバナンスの研 究, 先端的経営手法の研究と大学経営・自治体 経営等への応用研究

助教授		
氏名 / 職名	専門分野	研究内容
生田 誠三	生産管理	確率的逐次決定過程の研究
イリチュ (佐藤) 美佳	データ解析 多次元データ理論	ファジィクラスティング, 多相・多元データ解析
大澤 幸生	発見科学 人口知能	予兆を発見するエージェント群 (マルチエージェント) により危機管理・機会捕獲を支援する高度情報システムに関する研究
太田 充	地域科学 都市経済学 都市計画	空間経済システムの自己組織化及び構造変化
岡本 直久	交通計画 観光計画	社会資本整備のもたらす効果の計測, 観光交通の調査及び需要推計方法
梶井 厚志	理論経済学 意思決定理論 ゲーム理論	競争市場理論, 特に金融市場と情報の経済的役割の理論研究
金澤 雄一郎	統計学 データ解析	一般化線形モデル, 欠損値を含んだデータの解析
川勝 浩之	Applied Time Series Analysis	Stock Market Liberalization
川崎 泰史	日本経済論	経済・財政・社会保障の計量分析
桑嶋 健一	研究開発/製品開発管理 経営戦略論	企業の研究開発・製品開発に関わる戦略および組織の分析
Henrich R. Greve	経営学 社会学 特に組織の競争性について	企業の成長とイノベーション: 戦後の日本造船業の国際競争力の発展について
小林 信一	科学技術政策 高等教育政策	科学技術政策, 研究開発管理, 技術情報経営, 科学技術論, 高等教育政策に関する研究, とくに知識生産システムの研究, 産学連携の研究など
猿渡 康文	数理計画 組合せ最適化	最適化問題に対する高速算法の開発, 最適化理論のスポーツマネジメントへの応用に関する研究
白波瀬 佐和子	社会学 比較社会学	公的保障と家族, 個人と世帯, 人口変動に関する社会学的分析
鈴木 勉	都市解析 立地論	都市空間・立地構造及び環境影響に関する数理的解析, 地理情報を活用した施設計画評価
鈴木 秀男	応用統計 品質管理	統計的手法と機械学習法の開発, その品質管理と商品企画への応用
高崎 善人	Development economics Resource economics Environmental economics	Environmental conservation and economic development, Rural livelihood, Humid tropics.
高橋 正文	派生証券評価 金融リスク管理	金融資本市場の価格評価, 価格変動解析, VARを中心とする市場リスク管理手法の研究
竹原 均	財務管理論	資産価格評価モデルに関する実証分析, ポートフォリオのリスク管理及び最適化に関する研究

助教授		
氏名 / 職名	専門分野	研究内容
張 勇兵	分散システム 通信ネットワーク 性能評価	分散システムにおける資源の最適配分, 移動通信システムにおける資源管理, 光ネットワークにおける波長ルーティング及び論理ネットワークの構築
津田 和彦	自然言語処理 ヒューマン・コンピュータ・インタラクション	文書の意図理解, テキストマイニング, 文書からの知識獲得技術に関する研究
堤 盛人	地理情報科学	空間回帰モデル, 空間内挿, 地理情報システム, 不動産情報管理
西尾 チヅル	マーケティング 消費者行動論	マーケティング・コミュニケーション, 消費者行動の計量モデル, エコロジカル・マーケティング
野上 佳子	数理統計学 統計学	ラグランジェ法を用いた統計的推論, 統計的決定論
飛田 史和	日本経済論 国際経済	内外価格差, 消費者問題
藤井 英次	国際金融論 国際経済学	相対物価・為替レートのダイナミクス, 財・資本市場の国際統合
藤川 昌樹	日本建築史・都市史	日本の近世・近代都市史研究, 農村の建築ストックに関する研究
牧本 直樹	確率過程論 オペレーションズ・リサーチ	確率システム性能評価, 確率モデルの数値計算法, システムシミュレーション
山田 雄二	金融工学 数理ファイナンス 金融リスク管理	金融派生商品の価格付け理論, 最適ポートフォリオヘッジ理論, 金融リスク推定・コントロールの研究
横張 真	緑地環境計画	都市近郊における緑地計画の方法論に関する研究, 緑地の環境保全機能に関する研究
吉瀬 章子	数理計画 オペレーションズ・リサーチ	線形・非線形最適化問題に対する効率のよい算法の開発
吉野 邦彦	リモートセンシング 地域環境工学	衛星リモートセンシングデータによる土地被覆・土地利用解析, 地表面の方向性分光反射特性の解析とモデル化
渡辺 俊	建築・都市計画 設計学	マルチメディア社会における都市計画・建築計画, 知的設計支援システムの設計・開発

講師		
氏名 / 職名	専門分野	研究内容
秋山 英三	ゲーム理論 力学系	限定合理性, ゲームにおける時間構造についての研究, 進化ゲーム
有田 智一	地域科学 都市計画	産業集積, 都市・地域政策, 都市計画制度
石井 健一	コミュニケーション 情報社会	海外の日本番組, 情報機器の普及と採用, 移動体通信の利用行動
宇井 貴志 (併任 H14.4.1-H14.7.31)	ゲーム理論	ポテンシャル関数を用いたゲームの分析手法, 金融危機の発生と連鎖に関する理論, 金融政策の有効性に関する理論および実証
上市 秀雄	意思決定論 認知心理学 社会心理学	労働契約の理論, 労働法の経済分析
江口 匡太	労働経済学	労働契約の理論, 労働法の経済分析
大木 敦雄	計算機システム	プログラミング環境, ネットワーキング, ユーザインタフェース
大久保 正勝	マクロ経済学 計量経済学	異時点間の消費決定に関する実証研究, 時系列計量経済学の応用
小野 哲生	環境経済学 マクロ経済学	環境政策と経済成長, 世代間公平性, 高齢化
加藤 毅	学術・科学技術政策	グローバル知識社会における大学, 若手研究者養成制度の国際比較, NPOの社会的役割
金田 直之	財務会計学	資本市場に関する実証分析, モデルを用いた理論的分析, 実験会計学
川口 大司	労働経済学 応用計量経済学	自営業者, 人種・性別差別, 人的資本
川邊 みどり	沿岸環境科学 沿岸域管理	東京湾沿岸環境の多面的評価, アジア沿岸域における持続的生産の可能性
姜 晟振 (Sung Jin Kang)	Economic Development Poverty Reduction	Economic Growth and Development, Multi-national Enterprises, The Effects of Income Transfer
後藤 順哉	数理計画(連続最適化) 金融最適化	数理計画の金融への応用 & 解法の研究 大域的最適化
近藤 文代	時系列解析 統計解析 マーケティングデータ分析	ビジネスにおける時系列データ解析および解析手法の開発
斎尾 直子	建築計画 都市・農村計画	小学校-大学と生涯学習施設等の地域拠点施設計画, 都市-農村の居住環境整備のための地域社会計画
繁野 麻衣子	数理計画 組合せ最適化	組合せ最適化問題に関する算法の開発
TURNBULL, Stephen John	ゲーム論 情報経済 実験経済	インターネット経済(設備・システム組織, 電子商業), オープンソースソフトウェアの経済的環境

講師		
氏名 / 職名	専門分野	研究内容
TIWARI, K. Piyush	Real Estate Markets Transportation Economics Health Economics CGE Macro models	Modeling housing demand, Performance of homemortgages, Role of public policy in housing, Estimating demand for shipping company and ports, Transportation modal choice problems, OGE models for Japan and China, Demand for healthcare indeveloping countries
八森 正泰	離散数学 組合せ論	トポロジ的組合せ論, 離散数学におけるトポロジ的手法, およびその応用
藤原 博彦	社会情報論 会計情報論	企業情報ディスクロージャー, ビジネスモデル, コーポレートコミュニケーション
古屋 秀樹	交通計画 交通工学	交通行動分析ならびに交通需要予測分析, 都市・地域交通システム計画の策定
水野 誠	マーケティング 消費者行動	消費者選好の相互作用と進化, 長期的視点から見たマーケティング環境と戦略
三橋 平	マクロ組織行動論	組織間関係と組織バウンダリー
繆 瑩 (Miao Ying)	実験計画法 組合せ理論 情報理論	デザイン, 符号, 暗号の構成と分類, 及び組合せアルゴリズム
村尾 修	防災空間論 都市デザイン	都市の被害想定と危険度, 防災面から見た都市デザイン計画, 空間情報基盤を用いたサイバシティ構想とその応用
八重倉 孝	財務会計	会計基準設定, 企業評価, 投資意思決定等についての実証研究
柳原 宏和	数理統計学	非正規性の下での標本分布論とその応用
山鹿 久木	都市経済学 計量経済学	都市住宅, 交通混雑, 都市間環境格差の経済分析
吉田 謙太郎	環境経済・政策学 政策評価論	環境の経済評価, 環境政策の経済分析, 食品安全性と消費者行動
吉田 友彦	住環境整備 都市計画	既成市街地の整備手法の開発, 基盤整備事業と自治体住宅政策の連携, 外国人居住と基盤整備事業の関係
領家 美奈	応用統計	大規模複雑システムを対象としたシステムモデリング, システム最適化など
渡辺 真一郎	組織行動論	組織における人間行動を規定する状況要因と心理学的個人差要因の間の相互作用過程に関する研究

助手

氏名 / 職名	専門分野	研究内容
梅澤 正史	ゲーム理論 オペレーションズ・リサーチ	ゲーム理論とその応用 (特に, 協力ゲーム), ネットワーク上の費用負担問題, 経営科学の諸問題に対する経済的分析
大津 晶	都市計画	空間構造と都市内流動の関係, 映像処理技術の都市計画への応用
新谷 由紀子	科学技術政策	産学官連携に関する研究

III. 研究活動

III-1 科学研究費補助金

科学研究費補助金一覧表

研究種目	氏名	テーマ	
基盤研究 (A)(1)	池田 三郎	貿易および経済発展に伴う地球規模環境リスクへの事前対応政策に関する総合的研究	
基盤研究 (B)(1)	門田 安弘	組織構造のデザインに対応した業績評価会計システムの開発に関する研究	
基盤研究 (B)(2)	門田 安弘	連結企業集団における事業組織再編のための管理会計システムの実証研究	
	横張 真	持続的な都市農村混合空間形成のための緑地整序に関する研究	
	腰塚 武志	移動から見た都市空間の分析	
	金子 守	個人の社会認識と社会・経済規範	
	土井 正幸	生産基盤としての運輸整備・効率化、情報化進展、エネルギー効率化の経済分析・政策	
	寺野 隆雄	多主体複雑系に基づくエージェント社会モデルの構築と適用	
	椿 広計	企業の情報・通信技術投資が経営指標改善に繋がる仕組みに関する計量的研究	
	山本 芳嗣	制御不能な部分システムを含む最適化問題	
	藤原 良叔	デリバティブ価格計算のための超一様分布列の構成に関する研究	
	永井 裕久	グローバルプロトコルの構築に向けた営業職の商交渉に関する国際比較調査	
	大澤 義明	欧州における間接税競争・税調和政策の実態調査	
	基盤研究 (C)(1)	大澤 義明	ランドマーク景観・緑地景観の数理評価モデル
	基盤研究 (C)(2)	金 顕哲	日本型マーケティングに関する研究
		黒田 諠	日・韓・台農業におけるR&D及び環境要因が生産性に及ぼす影響の実証的研究
金澤 雄一郎		一般化線形モデルにおける無視できない非応答問題の研究	
近藤 文代		日次POSデータの価格反応モデル分析	
赤根谷 達雄		冷戦後の核戦略論と核兵器全廃レジームの可能性	
Piyush Tiwari		住宅抵当貸付市場の効率性ー日本、米国、英国、オーストラリア、インド、タイ各国の比較分析ー	
宮越 龍義		日本金融不況の実態・評価・課題	
西尾 チヅル	環境保全型ライフスタイル普及のためのマーケティング・コミュニケーション		

研究種目	氏名	テーマ
基盤研究 (C)(2)	佐藤 亮	高度に統合されたビジネスプロセスの時間特性の最適化設計法
	星野 靖雄	国際的買収、合併、合弁、全額出資の経営効果についての実証的研究
	岸本 一男	マーケット・インパクトを考慮した株価変動モデルとその派生証券価格付けへの応用
	吉瀬 章子	単調性をもたない相補性問題に対する多項式時間の解法の開発
	高木 英明	インターネットのトラフィック源のモデル化と測定による検証
	渡辺 俊	北京の伝統的空間保全型再開発のための国際リモートコラボレーションシステムの開発
	香田 正人	高性能を有するデータマイニング複合モデルの構築と最適化
	吉田 あつし	医療・介護サービス需要と供給の計量分析
	山田 直志	医療政策とマクロ医療経済システム：マイクロ経済学的アプローチ
	高崎 善人	東南アジア熱帯雨林におけるコミュニティと持続的開発
	繆 瑩	組合せ的デザイン理論を用いた光直交符号の構成に関する研究
	鈴木 久敏	患者の病院選択行動に基づく第2次医療圏における病院の適正配置
	松尾 博文	サプライチェーンにおける革新的なビジネスモデルの構築
	萌芽研究	松田 紀之
川辺 みどり		熱帯アジア沿岸における地域共同体による環境管理に関する研究
渡辺 真一郎		「性格特性→内発的動機付け→継続的学習行動」因果モデルの産業・職種別分析
若手研究 (B)	加藤 毅	学術研究成果に対する評価の構造と受容性に関する実証研究
	岡本 直久	地方コンテナ港湾に焦点をあてたコンテナ貨物需要予測モデルに関する研究
	猿渡 康文	最適化理論のスポーツマネジメントへの適用
	繁野 麻衣子	データの精度を考慮した組合せ最適化問題に対する問題構造とアルゴリズムの研究
	鈴木 秀男	ブースティングを用いた判別手法とその品質管理・マーケティングへの応用
	村尾 修	サイバーシティモデルと空間情報基盤を用いた都市性能評価に関する基礎的研究

研究種目	氏名	テーマ
若手研究 (B)	新谷 由紀子	産学連携における倫理をめぐる諸問題と倫理基準策定の研究
	小野 哲生	少子・高齢化対策としての環境税改革とその経済成長への影響
	江口 匡太	契約の不完備性と司法判断、社会規範に関する研究
	山鹿 久木	地震危険度が地価形成に与える影響
	桑嶋 健一	製薬産業の研究開発における組織能力の蓄積プロセスと企業戦略
	古屋 秀樹	複数データを用いた多面的評価による道路交通安全性の研究
	秋山 英三	社会的ジレンマにおける時間・空間構造と、協力ルールの形成・発展メカニズム
	後藤 順哉	半正定値計画によるクラスタリング問題の効率的解法と金融リスク分析への応用
	特定領域研究 (2)	大澤 幸生
寺野 隆雄		WEBコンテンツ情報に基づくリコメンダー技法の開発
基盤研究 (B)(1) 分担	江口 匡太	倒産をめぐる法制度の経済分析
	山鹿 久木	オフィスビル容積率緩和の一般均衡経済効果の測定
基盤研究 (C)(1) 分担	川辺 みどり	干潟の生産力とその社会的意義の評価 ー東京湾を出発点としてー

III-2 受託研究

一般受託研究受入一覧表

No.	氏名	研究期間	テーマ	委託者
1	池田 三郎	15.2.5 - 15.3.31	新規環境・技術リスクへの社会的ガバナンスの国際比較	科学技術振興事業団
2	糸井川 栄一	14.9.11 - 15.3.31	大震災時における最適消防力運用	文部科学省研究開発局
3	石田 東生	14.4.1 - 14.10.31	都市交通予測モデルの開発と環境影響の費用予測	科学技術振興事業団
4	大澤 義明	14.12.3 - 15.3.31	ショッピングセンタークレオ来店者調査	ショッピングセンタークレオ来店者協議会
5	熊谷 良雄	14.9.2 - 15.3.31	大震災時におけるコミュニティの自律的相互救済に関する実態分析	独立行政法人防災科学研究所
6	熊谷 良雄	14.4.1 - 15.3.31	平成14年度大都市における火山灰災害の影響予測評価に関する研究（火山灰災害による交通および都市活動への影響評価に関する研究）	運輸施設整備事業団
7	椿 広計	14.5.27 - 14.9.30	投資手法に関する研究	東京三菱投信投資顧問株式会社
8	椿 広計	14.12.26 - 15.3.31	投資手法に関する研究	東京三菱投信投資顧問株式会社
9	寺野 隆雄	15.3.26 - 16.1.31	ビジネスゲームを利用したMOT教育プログラムの実現	株式会社三菱総合研究所
10	松田 紀之	14.12.6 - 15.2.14	国際マネジメントコース	財団法人日本国際協力センター

No.	氏名	研究期間	テーマ	委託者
11	大澤 幸生	14.5.22 - 15.3.31	自然現象・社会動向の予兆 発見と利用	科学技術振興事業団
12	小林 信一	14.8.7 - 15. 3.20	GMO の社会的受容を深め るための方策に関する研究	農林水産省農林水産 技術会議
13	西尾 チヅル	14.11.1 - 15.2.28	技術経営コースの開発に係 る研究	株式会社三菱総合研 究所

III-3 学内プロジェクト

学内プロジェクト研究費 採択一覧表

研究種目	代表者	テーマ
特定助成研究 (S)	松尾 博文	高度ネットワークを用いたビジネスモデルの開発と研究
助成研究 (A)	黒田 誼	OECD 及びアジア諸国農業の部分及び総要素生産性の比較研究
	土井 正幸	C G E (計算可能一般均衡) モデルによる経済政策評価アプローチの確率 ー高度化・応用拡大・標準化・類型化・移転可能化ー
	張勇兵	波長多重光通信システムにおける波長ルーティング方式と理論ネットワークの構築法に関する研究
助成研究 (B)	住田 潮	Ornstein-Uhlenbeck 過程の数値解法の開発と金融工学への応用
	太田 充	都市政策のための均衡・最適都市形状分析
	藤原 博彦	情報流通過程における双方向的コミュニケーションの実現
	山鹿 久木	地震リスクに対する家計や企業の危険回避行動の実証分析
	八重倉 孝	状態空間モデルの企業評価への応用
実地調査等研究	鈴木 勉	先進自治体における救急医療サービスの運用実態とサービス水準に関する調査
奨励研究	鈴木 秀男	ブースティング方式の提案と汎化誤差の評価
	藤川 昌樹	儀礼と空間の関係に着目した近世都市史の再検討
	小野 哲生	少子・高齢化対策としての環境税改革とその経済成長への影響
	有田 智一	半導体産業における企業立地にみられる産業集積要因の検討
	Tiwari, K.Piyush	日本における住宅市場とマクロ経済行動及び財政革新
	八森 正泰	組合せ分割とトポロジー的手法、およびその応用
	古屋 秀樹	自動車排出ガスの拡散を考慮した拡大費用便益手法に関する研究
	村尾 修	3D サイバーシティモデルを用いた都市性能評価に関する考察
	吉田 友彦	開発途上国における土地区画整理事業施行の特徴について
	大津 晶	都市サービスおよび都市活動の空間的移動を考慮した施設配置モデルの研究

III-4 ファカルティ・セミナー

	年月日	報告者	所属	テーマ
1	2002 .4.11	茂見 岳志 (江口 匡太)	東京大学経済 学研究科・日 本学術振興会 特別研究員	Homotopy and index in incomplete markets
2	2002 .4.23	原田 信幸 (太田 誠)	日本経済研究 センター研究 員	潜在的開業者の実証分析
3	2002 .4.17	M. John Hodgson (鈴木 勉)	アルバータ大 学地球大気科 学 教授	Problem Size in the p-Median Model:Aggregation, Surrogation, and Heuristic Errors
4	2002 .4.18	岩崎 敦 (秋山 英三)	京都産業大学 経済学部 非 常勤教員	(1)Introduction to Open Research Center at Ky- oto Sangyo University and the computerized lab- oratory for experimental economics. (2)Simulat- ing Cheap-talk games
5	2002 .5.16	和泉 潔 (梶井 厚志)	産業技術総合 研究所サイ バーアシスト 研究センター	人工市場研究の紹介
6	2002 .5. 1	村尾 修 (岡本 直久)	筑波大学 社 会工学系	NY世界貿易センターの設計プロセスと破壊プロ セス
7	2002 .5.10	Shenggen Fan (黒田 誼)	IFPRI [国際 食料政策研究 所]	Public Spending in Developing Countries: Trend,Determination and Impact
8	2002 .5.10	伊藤 順一 (黒田 誼)	農林水産政策 研究所	Privatization of TVEs in Rural China: Its Im- pacts on Efficiency and Equity
9	2002 .6.13	有賀 裕二 (秋山 英三)	中央大学商学 部 教授	Social Interaction in Utility Theory of Economics
10	2002 .5.23	小山 友介 (秋山 英三)	東京工業大学 総合理工学研 究科 助手	ノイズが入るジレンマ状況下での協力形成
11	2002 .5.28	梶井 厚志 (秋山 英三)	筑波大学 社 会工学系 助 教授	市場取引の実験と教育:筑波大学での経済実験
12	2002 .6. 6	伊藤 栄明 (秋山 英三)	統計数理研究 所 領域統計 研究系 教授	Dynamics for the Competitive N-Individual In- teractions
13	2002 .6.25	佐藤 栄作 (住田 潮)	東京大学大学 院 総合文化 研究科 博士 課程 (財) 流 通経済研究所	小売店舗内空間行動モデルの構築と実証分析
14	2002 .7.11	小井田 伸雄 (梶井 厚志)	東京大学大学 院 経済学研 究科	The law of iterated Choquet expectation by transformed probabilities and threshold informa- tion partitions
15	2002 .7.16	鈴木 勉 (石田 東生)	筑波大学 社 会工学系 講 師	多目的トリップ行動が施設配置に与える影響
16	2002 .7.16	岡本 直久 (石田 東生)	筑波大学 社 会工学系 講 師	交通政策・施策のもたらす効果に関する分析

	年月日	報告者	所属	テーマ
17	2002 .7.16	倉橋 透 (石田 東生)	国土交通省都 市地域整備局 特別地域振興 課 半島振興 室長	相続税を明示的に取り入れた貸家の資本コストの 定式化及び計測
18	2002 .7.16	水野 誠 (住田 潮)	東京大学大学 院 経済学研 究科博士課 程・(株)博 報堂	消費者選好の限定合理性と進化
19	2002 .8.19	内海 麻利 (石田 東生)	(財) 地方自治 研究所	都市計画における委任条例と自主条例の可能性に ついて
20	2002 .8.19	堤盛人 (石田 東生)	東京大学大学 院講師	地域分析の高度化を目指して
21	2002 .8.19	矢澤 則彦 (石田 東生)	東京国際大学 商学部助教授	A General Intertemporal land-macroeconomic model with Applications for Contemporary Agri- cultural Problems
22	2002 .8.20	花岡 伸也 (石田 東生)	(財) 運輸政策 研究所 研究 員	地域開発計画と環境計画
23	2002 .8.20	刈谷 哲朗 (石田 東生)	空間・計画研 究所	エントロピーから見た都市計画や, 建築すると言う 行為の課題
24	2002 .8.20	斎尾 直子 (石田 東生)	東京工業大学 文教施設研究 開発センター 助手	子ども達の居場所づくりと居住環境再構築計画
25	2002 .9.27	ベル サイモン (横張 真)	エジンバラ大 学芸術学部 教授	Use and Abuse of Woodlands in Central Scotland
26	2002 .9. 6	住野 豪生 (宮越 龍義)	野村証券 (株) IB 企画 室 課長	Investment Banking 総論
27	2002 .9.19	安富歩 (秋山 英三)	東京大学大学 院 総合文化 研究科 助教 授	貨幣の複雑性
28	2002 .9.13	大崎 貞和 (宮越 龍義)	野村総合研究 所 資本市場 研究室長	資本市場の規制、制度に関して
29	2002 .9.20	関 雄太 (宮越 龍義)	野村総合研究 所 企業金融 研究室長	MBO, CMBS 等の市場について
30	2002 .9.20	川崎 泰史 (古川 俊一)	総務省 郵政 研究所 第三 経営経済研究 部長	経済財政モデルの構造と中期展望
31	2002 .10 . 3	船木 由喜彦 (秋山 英三)	早稲田大学 政治経済学部 教授	Credible Coalition Structures with Externalities

	年月日	報告者	所属	テーマ
32	2002 .10 .10	江頭 隆治 (中村 豊)	School of Economics Faculty of Economics and Commerce The Australian National University	Organisational Inertia in the Ministry of Finance and the Financial Crisis in Japan
33	2002 .10 .29	松島 法明 (江口 匡太)	信州大学経済学部 講師	Endogenous Cost Differentials between Public and Private Enterprises : A Mixed Duopoly Approach
34	2002 .10 . 3	Jinghai Li (吉瀬 章子)	Institute of Process Engineering, Chinese Academy of Science	Exploring Complex Systems in Chemical Engineering — the Multi-scale Methodology
35	2002 .10 .28	Arturo Kohatsu-Hi (香田 正人)	Universitat Pompeu Fabra (Barcelona, Spain) 金沢大学	A Technical Introduction to Malliavin Calculus with Applications to Finance
36	2002. 10.17	川西 諭 (江口 匡太)	上智大学 経済学部 講師	証券投資戦略の多様性と市場の不安定性について
37	2002 .11 . 7	中里 透 (江口 匡太)	上智大学 経済学部 専任講師	日本の財政運営：通時的最適化を重視する視点からの評価
38	2002 .11 . 1	大木 隆 (宮越 龍義)	野村証券 金融研究所 投資技術研究部	リアルオプション・実物オプションのケース
39	2002 .11 . 5	吉田 謙太郎 (小場瀬 令二)	農林水産省 農林水産政策研究所 環境評価研究室 主任研究官	環境リスクと便益の政策評価
40	2002 .11 . 5	前田 恭伸 (小場瀬 令二)	静岡大学 工学部 システム工学科 助教授	環境情報をいかに伝えるか
41	2002 .11 . 5	西村 一彦 (小場瀬 令二)	日本福祉大学 経済学部 助教授	環境政策の技術評価と制度設計
42	2002 .11 .15	小林 広 (宮越 龍義)	野村リサーチ & アドバイザリー (株)	ベンチャーキャピタルと IPO
43	2002 .11 .28	赤林 英夫 (江口 匡太)	慶応義塾大学 経済学部 助教授	Apartheid and Motivations of Migrant Workers
44	2002 .11 .29	Florent Domenach (香田正人)	社会工学系 外国人研究員	Constraints Galois Connections and Conceptual Classification

	年月日	報告者	所属	テーマ
45	2002 .12 . 5	池田 潔 (金子 守)	北陸先端科学 技術大学院大 学 情報科学 研究科	Lexicographic Expected Utility for Rational- Valued Lotteries
46	2002 .12 .19	Jie-ping Mo (金子 守)	The In- stitute of Mathematics Academia Sinica	A von Neumann-Marshall Program
47	2002 .12 .18	佐藤 昌平 (張 勇兵)	日 本 電 気 (株)	インターネットにおけるトラヒック技術の動向
48	2002 .12 .13	Nobuaki Namiki Etso Yoshino Keizo Nagatani (宮越 龍義)	Rikkyo Uni- versity Hokkaido University University of Marketing and Dis- tribution Sciences	The Japanese Economy and Management
49	2002 .12 .16	藤田 幸一 (黒田 誼)	京都大学 東 南アジア研究 センター	Changes of Agriculture and Groundwater Mar- ket in Bangladesh and West Bengal,India:Lessons from the Experiences in the Last Two Decades
50	2002 .12 .19	宮代 隆平 (吉瀬 章子)	東京大学 大 学院情報理工 学研究科	HAT Feasibility Problem
51	2003 .1.11	田宮 治雄 (金田 直之)	東京国際大学	Disclosure in Japan
52	2003 .1.17	Anjan Mukherji Toshiyuki Kako (黒田 誼)	Institute of Social and Eco- nomic Re- search,Osaka University 1.Department of Agricul- ture, Kobe Univesity	Markets and Corruption:A Theoretical Perspec- tive 2.Economic Development and Ric Economy min Japan.
53	2003 .1.16	Yoshikatsu Haruki (松田 紀之)	Ferris Women's College	Object-Oriented Software Technology
54	2003 .1.25	岩城 秀樹 (竹原 均)	京都大学大学 院経済研究科 助教授	An Economic Premium Principle in a Continuous-time Economy
55	2003 .1.25	岩城 秀樹 (竹原 均)	京都大学大学 院経済研究科 助教授	A Survey on Recent Developments of the Mart- ngle Method
56	2003 .1.23	Gaku Yamauchi (松田 紀之)	Prosharing Company, Company Director	The Case study of Japanese Company's Branding

	年月日	報告者	所属	テーマ
57	2003 .2. 7	Yuji Yasuda (松田 紀之)	The Bank of Tokyo-Mitsubishi Ltd., Corporate Risk Management Office, Manager	Risks Related to Japanese Banks
58	2003 .2. 3	樋口容視子 (松田 紀之)	国際基督教大学	異文化コミュニケーション
59	2003 .3. 7	草川 孝夫 (金子守)	大阪大学大学院 経済学研究科 博士課程 2年	Emissions Trading Experiments:Investment Uncertainty
60	2003 .2.27	筒井 義郎 (宮越 龍義)	大阪大学 経済学部	貸し渋りは発生したか?
61	2003 .3. 6	藤野 次雄 (宮越 龍義)	横浜市立大学 商学部	リレーションシップバンキングと共同組織金融期間

III-5 研究出版物

2002年度 DP(Discussion Paper Series) 一覧表

No.	著者	タイトル	登録月
No.982	Ryo Sato and Tunglun Tsai	An Agile Production Planning and Control with Additional Purchase Orders	Apr.02
No.983	Kyota Eguchi	Job Transfer and Influence Activities	Apr.02
No.984	Kyota Eguchi	Trainers' Dilemma of Choosing between Training and Promotion	Apr.02
No.985	De-An Wu and Hideaki Takagi	Multiserver Queue with Semi-Markovian Batch Arrivals with Application to the MPEG Frame Sequence	May.02
No.986	山鹿 久木 (筑波大学) 中川 雅之 (大阪大学) 齊藤 誠 (一橋大学)	地震危険度と家賃: 耐震対策のための政策的インプリケーション	May.02
No.987	N.v. Thoai, Y. Yamamoto and A. Yoshise	Global Optimization Method for Solving Mathematical Programs with Linear Complementarity Constraints	May.02
No.988	Yoshiko Nogami	Hypothesis Testing Based on Lagrange's Method: Applications to Cauchy, Exponential and Logistic Distributions	May.02
No.989	金盛 長 (金子 守)	第四曲: 意思決定とナッシュ均衡	Jun.02
No.990	江口 匡太	整理解雇規制の経済分析	Jun.02
No.991	Tatsuyoshi Miyakoshi and Yoshihiko Tsukuda	Economic Growth and Financial Intermediation under the Japanese Financial Crisis	Jun.02
No.992	De-An Wu and Hideaki Takagi	Multiserver Queue with Semi-Markovian Batch Plus Poisson Arrivals with Application to the MPEG Frame Sequence and Interfering Traffic	Jun.02
No.993	Yoshihiko Tsukuda and Tatsuyoshi Miyakoshi	A Re-consideration on Technical Inefficiency in Stochastic Frontier Production Models	Jun.02
No.994	Tatsuyoshi Miyakoshi and Yoshihiko Tsukuda	Regional Disparities of the Japanese Banking Performance	Jun.02
No.995	Yoshiko Nogami	Hypothesis Testing Based on Lagrange's Method: Application to The Uniform Distribution	Jul.02
No.996	金盛 長 (金子 守)	第五曲: 個人と社会	Jul.02

No.	著者	タイトル	登録月
No.997	Shigeki Kano and Makoto Ohta	Estimating A Matching Function and Regional Matching Efficiencies: Japanese Panel Data for 1973-1999	Jul.02
No.998	Yoshihiko Tsukuda and Tatsuyoshi Miyakoshi	An Alternative Method for Predicting Technical Inefficiency in Stochastic Frontier Models	Jul.02
No.999	T. L. Tsai and R. Sato	A UML Model of Agile Production Planning and Control System	Jul.02
No.1000	Chao-hsiung Lee and Yasuhiro Monden	Target Cost Setting Method and Authority of Target Cost Allocation in Product Development Organization	Jul.02
No.1001	Shigeki Kano and Makoto Ohta	Long-Run Matching Relationship in the Japanese Labor Market: A Panel Cointegration Approach	Jul.02
No.1002	Yoshiko Nogami	Hypothesis Testing based on Lagrange's Method: Application to the Uniform Distribution (II)	Aug.02
No.1003	Mamoru Kaneko, Tamon Ito, and Yu-ichi Osawa	Comparative Statics in Rental Housing Markets with Indivisibilities	Aug.02
No.1004	Yoshiko Nogami	A Comment on Section 4 of D.P.1002	Aug.02
No.1005	De-An Wu and Hideaki Takagi	M/G/1 Queue with Multiple Working Vacations	Aug.02
No.1006	Ayami Suzuka, Yasufumi Saruwatari and Akiko Yoshise	Solving Sports Scheduling Problems Using Network Structure	Oct.02
No.1007	Tatsuyoshi Miyakoshi	ARCH Variance Structures and News: The Six Asian Emerging Markets	Oct.02
No.1008	Kyota Eguchi	Employment Protection Regulations and New Hiring	Oct.02
No.1009	Tatsuyoshi Miyakoshi	A Testing of the Purchasing Power Parity Hypothesis Using a Vector Autoregressive Model	Oct.02
No.1010	Tetsu Kawakami and Masayuki Doi	Port Capital Formation and Economic Development in Japan: A Vector Autoregression Approach	Nov.02
No.1011	Yasuaki Takeda and Hirofumi Matsuo	ECR for Freshness	Nov.02
No.1012	日吉 拓也 河上 哲 土井 正幸	ノンサーベイ・アプローチによるつくば市産業連関表の作成と分析	Nov.02
No.1013	Satoshi Myojo and Yuichiro Kanazawa	Do Consumers Understand TCO? : An Empirical Study of Consumer Decision Making in the U.S. Automobile Market	Dec.02

No.	著者	タイトル	登録月
No.1014	Tetsuji Yamada and Tadashi Yamada	Regulated Drug Pricing and Hospital Efficiency in Japan	Dec.02
No.1015	Shigeki Kano and Makoto Ohta	Beveridge Curve and Regional Mobilities of Unemployed Job Seekers in Japan	Dec.02
No.1016	Masakatsu Okubo	Intertemporal Substitution and Consumer Durables: An Analysis Based on Japanese Data	Dec.02
No.1017	佐藤 亮, 蔡 東倫 二村 暢之, 小野 栄一	ERP を用いてビジネスプロセスを作り出すための情報システム方法論: quicklPP - 日程計画業務の場合	Jan.03
No.1018	Naoyuki Kaneda	Experiment for Positive Externalities: Is Coase Theorem Applicable to the Positive Externalities?	Jan.03
No.1019	Naoyuki Kaneda	Experiment of Dictator Games And Fairness	Jan.03
No.1020	Sung Jin Kang	Are Private Transfers Altruistically Motivated?The Case of Nepal	Jan.03
No.1021	Hideyuki Takamizawa and Isao Shoji	Analytical Valuation of Swap Yield Curves	Jan.03
No.1022	Hideyuki Takamizawa and Isao Shoji	On Accuracy of Local Linear Approximation for the Term Structure of Interest Rates	Jan.03
No.1023	De-An Wu and Hideaki Takagi	Processor-Sharing and Random-Service Queues with Semi-Markovian Arrivals	Feb.03
No.1024	Yuichiro Sakaki and Hideaki Takagi	Performance Analysis of CSMA/CA Wireless LANs	Feb.03
No.1025	吉田 あつし 川村 颯	被保険者のモラルハザードと医師の代理者機能: 97年自己負担率改定における歯科のケース	Feb.03
No.1026	Tetsu Kawakami, Piyush Tiwari and Masayuki Doi	Welfare Effects of Trade Liberalization and Port Efficiency in China	Feb.03
No.1027	Maiko Shigeno	Maximum Network Flows with Concave Gains	Feb.03
No.1028	Johannes Hamonangan Siregar, Hideaki Takagi and Yongbing Zhang	Fast Routing and Wavelength Assignment Heuristics for Large-Scale WDM Optical Networks	Mar.03

IV. 各教官研究・教育活動

赤根谷 達雄

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 赤根谷達雄「非貿易的関心事項の政治学-国際市民社会運動と WTO 体制の将来」, 小寺彰編著『「転換期の WTO—非貿易的関心事項の分析」』東洋経済新報社, 2003年, 47-85頁。

(2) 学会活動

- 1) 日本国際政治学会評議員
- 2) 国際法学会研究連絡委員

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費基盤研究 (C)「冷戦後の核戦略論と核兵器全廃レジームの可能性」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

国際総合学類： 国際学概論, 国際相互依存論, 国際学ゼミナール I, 国際学ゼミナール II
国際政治経済学研究科： 国際政治学, 国際政治学演習 IV
人文社会科学研究科： 国際安全保障論, 国際安全保障論演習 I

(2) 役職・各種委員会委員

全学： 学群教育課程委員会委員, 総合科目編成委員会委員
社会工学系： 運営委員会委員, 研究計画委員会委員
国際政治経済学研究科： 論文審査委員会委員長
人文社会科学研究科： 運営委員会委員
国際総合学類： カリキュラム委員長, 運営委員会委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 東京大学教養学部非常勤講師 (国際関係史)

池田 三郎

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) G. Zhai, T. Sato, K. Seo, T. Fukuzono, and S. Ikeda: Factor Analysis and Evaluation of Natural Disasters: Application of RIFAE Framework to the 2000 Tokai Flood in Japan, in “Computational Intelligent Systems for Applied Research”, World Scientific Pub., 208-217, 2002.

- 2) 高尾, 元吉, 佐藤, 池田: 住民の水害対策を促す要因: 水害リスク認知及び水害への不安感, 日本リスク研究学会第15回講演論文集, 135-140, 2002.
- 3) 池田三郎: リスク学とレギュラトリサイエンス, 日本リスク研究学会誌, Vol. 13, No.2, 34-37, 2002.
- 4) 池田三郎: 環境災害リスクへの対応戦略としての予防原則, 第18回環境工学連合講演会講演論文集, 日本学術会議環境工学研究連絡委員会 Vol.18, 17-24, 2003.
- 5) K. Takao, T. Motoyoshi, T.Sato, and S. Ikeda: Factors determining residents' preparedness for floods in modern megalopolises, to appear in Journal of Risk Research, Vol. 6, 2003.

(2) 学会活動

- 1) 環境科学会理事
- 2) 日本リスク研究学会理事 (事務局長)
- 3) システム農学会監事
- 4) Associate Editor, Journal of Risk Research
- 5) Member of Editorial Board, Risk Analysis: An International Journal

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費: 基盤研究 A (1), No.1135001 (研究代表者), 貿易および経済発展に伴う地球規模リスクへの事前対応政策に関する総合的研究
- 2) 科学技術振興事業団受託研究費, (研究代表者), 新規環境・技術リスクの社会的ガバナンスの国際比較

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類: 環境計画, 都市計画実習1, 環境システム計画論
 システム情報工学研究科: 環境リスク管理特論
 経営・政策科学研究科: 公共リスク分析

(2) 役職・各種委員会委員

全学: 就職委員会委員
 システム情報工学研究科: 論文審査委員会委員
 経営・政策科学研究科: 修論審査委員会委員

III. 社会的活動

- 1) 独立行政法人 防災科学技術研究所 客員研究員
- 2) 茨城県 環境審議会特別委員, 茨城県 環境審議会霞ヶ浦専門部会委員
- 3) 独立行政法人 産業技術総合研究所 化学物質リスク管理センター, 外部評価委員会委員長
- 4) 環境省 地球環境研究等企画委員会専門委員

石田 東生

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 都市の未来 21世紀型都市の条件, 日本経済新聞社, 単著(分担), pp.164-196
- 2) 都市計画マスタープラン策定課程におけるPIプロセスのあり方に関する考察—茨城県牛久市を対象として—, 土木計画学研究・論文集, Vol.19, No.1, pp.129-136 共著(松田・石田), 2002年
- 3) 交差点における排出ガス量推計のための車両挙動特性分析, 土木計画学研究・論文集, Vol.19, No.1, pp.831-838, 共著(古屋・金山・石田・岡本), 2002年
- 4) 我が国の社会資本整備政策・計画におけるパブリック・インボルブメントの現状と課題, 日本都市計画学会学術研究論文集, No.37, pp.325-330, 共著(松田・石田), 2002年
- 5) 地域の個性にあった道路政策を—求められる多種多様な振興シナリオ—, 地域づくり, 2002年6月号, No.156, pp.4-7, 単著, 2002年
- 6) 変革の中の道路行政とその課題, 道路, 2002年6月号, No.736, pp.4-5, 単著, 2002年
- 7) 代替燃料車のための燃料スタンドの配置に関する一考察, 土木計画学研究・講演集, No.25, pp.727-729, 共著(古屋・石田・岡本・小畑), 2002年
- 8) 環境ITSのアピール, 高速道路と自動車, 2003年2月号, Vol.46, No.2, pp.11-13, 単著, 2003年
- 9) 都市交通の適正化を考える TDMの意義と都市交通政策における重要性, JAMAGAZINE, Vol.37, 2月号, pp.2-7, 単著, 2003年

ii) その他

- 1) 社会資本整備における説明責任とPI(平成14年度総合課程建設企画II研修テキスト)、国土交通省国土交通大学校、2002年5月9日講義、2002年
- 2) 国土交通行政における政策評価のあり方(平成14年度総合課程政策研修テキスト)、国土交通省国土交通大学校、2002年5月22日講義、2002年
- 3) ITS/AHSの展開戦略 期待と課題、AHSRA REPORT、2002年9月号、Vol.11、pp.4-7、単著、2002年
- 4) 百里飛行場の役割と今後の課題、茨城県百里飛行場民間共用化推進協議会、2002年6月28日講演、2002年

(2) 学会活動

- 1) アジア交通学会理事
- 2) 土木学会土木計画学計画学研究委員会 交通調査技術研究小委員会委員長

(3) 研究助成など

- 1) 奨学寄付金「移動軌跡解析システムの研究」 鹿島建設株式会社土木技術部

- 2) 奨学寄付金「プローブカーに関する研究」 財団法人計量計画研究所

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類： 都市構造論，交通計画，都市計画実習 I，都市計画実習 III

システム情報工学研究科： 交通計画特論

環境科学研究科： 国土計画論

(2) 役職・各種委員会委員

全学： 筑波大学交通安全会理事，交通安全対策委員会副委員長

社会工学類： カリキュラム委員会委員長

III. 社会的活動

- 1) 国土交通省国土技術政策総合研究所研究評価委員会 委員
- 2) 国土交通省政策評価会 委員
- 3) 国土交通省公共事業評価システム研究会 委員
- 4) 環境省「戦略的環境アセスメント評価手法検討会」 委員
- 5) 気象庁「気象業務の評価に関する懇談会」 委員
- 6) 茨城県公共事業再評価委員会 委員
- 7) 茨城県「百里飛行場ターミナルビル検討委員会」 委員長

糸井川 栄一

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 阿部英樹・熊谷良雄・糸井川栄一，「空間構成による市街地防火性能の差異について」，地域安全学会論文集，N0.4，H14.11
- 2) 生田英輔・宮野道雄・糸井川栄一・田中裕・西村明儒・熊谷良雄，「阪神・淡路大震災における重傷者発生世帯への調査に基づく死傷発生メカニズムの検討」，地域安全学会論文集，N0.4，H14.11
- 3) 糸井川栄一，防災事典（共著），築地書館，H14.7.29

ii) その他

- 1) 糸井川栄一，「都市防火研究」，都市防火研究の現状と展望，日本建築学会防火委員会都市防火設計小委員会，H14.5
- 2) 糸井川栄一，「建築物耐震補強の都市防災への貢献」，既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会，H14.6
- 3) 糸井川栄一，「特集にあたって ー地震被害軽減のための戦略的アプローチー」，オペレーションズ・リサーチ，日本オペレーションズ・リサーチ学会

- 4) 糸井川栄一,「時代変化に対応した都市の安全管理を目指して」, アーバン・アドバンス, (財)名古屋都市センター H14.8
- 5) 生田英輔・宮野道雄・糸井川栄一・熊谷良雄,「兵庫県南部地震による死傷者発生状況に関する調査研究」日本建築学会大会学術講演梗概集 B-2, 日本建築学会, H14.9
- 6) 糸井川栄一・熊谷良雄・村尾修・岡本直久・小田淳一・菅原康司,「都市域における火山噴火による降灰被害の連鎖構造に関する研究 ―雲仙普賢岳噴火災害時の島原市を対象として―」, 地域安全学会梗概集 No.12, H14.11
- 7) 糸井川栄一,「建築物耐震補強の都市防災への貢献」, 自主防災, (財)東京防災指導協会, H15.1

(2) 学会活動

- 1) 日本都市計画学会評議員
- 2) 日本都市計画学会学術委員会委員
- 3) 地域安全学会理事
- 4) 日本建築学会 防火委員会委員
- 5) 日本建築学会 防火委員会都市防火設計小委員会幹事
- 6) 日本建築学会 都市計画委員会都市防災システム小委員会幹事
- 7) 日本建築学会 地震防災総合研究特別研究委員会都市防災・復興小委員会幹事

(3) 研究助成など

- 1) 平成 14 年度大都市大震災軽減化特別プロジェクト委託研究「大震災時における最適消防力運用」(文部科学省)
- 2) 平成 14 年度大都市大震災軽減化特別プロジェクト委託研究「大震災時におけるコミュニティーの自律的相互救済に関する実態分析」大震災時における最適消防力運用」(独立行政法人防災科学技術研究所)
- 3) 平成 14 年度運輸分野における基礎的研究推進制度「大都市における火山灰災害の影響予測評価に関する研究(火山灰災害による交通および都市活動への影響評価)」(運輸施設整備事業団)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類： 都市計画実習 1, 社会工学情報処理実習 2, 地区整備計画システム情報工学研究科： 都市安全管理特論
経営・政策科学研究科： 都市安全管理特論

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： 研究計画委員会委員
社会工学研究科： 運営委員, 論文審査委員
経営・政策科学研究科： 図書委員
第 3 学群： 教員会議構成委員

社会工学類： コンピュータ委員， 4年都市計画専攻クラス担任

III. 社会的活動

- 1) 第15期火災予防審議会委員， 東京消防庁
- 2) 震害連鎖研究委員会委員， (財)地震予知総合研究振興会
- 3) 「まちづくりにおける防災評価・対策技術の開発」全体委員会・第1～3分科会委員， (財)国土技術研究センター
- 4) 「防災まちづくり共同研究推進会議」幹事会， 都市WG， 地区WG， シミュレーションWG， 協力顧問・協力幹事， (財)国土技術研究センター
- 5) 「住環境水準及び宅地水準の目標設定検討調査委員会」委員， (財)国土技術研究センター
- 6) 川越市川越伝統的建造物群保存地区防災計画検討委員会委員， 川越市

大澤 義明

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Y.Ohsawa, H.Kagaya and T.Koshizuka(2002): Map projection errors in the Weber problem. *Journal of Geographical Systems*, 4(3), pp.325-342.
- 2) 小林隆史， 大澤義明 (2002): 太陽光発電導入が地域空間構造に与える影響. 日本都市計画学会第37回学術研究発表論文集， pp.1-6.
- 3) 五木田玲子， 大澤義明 (2002): 人通りと街灯に着目した安全範囲モデル. 日本都市計画学会第37回学術研究発表論文集， pp.673-678.
- 4) 蓮香文絵， 大澤義明 (2002): 山の見えの大きさと校歌に謳われる山との関係. 日本都市計画学会第37回学術研究発表論文集， pp.973-978.
- 5) 西村正志， 大澤義明 (2002): ゴミ焼却によって発生するダイオキシン類と収集車が出す排ガスに着目したごみ処理広域圏. 日本都市計画学会第37回学術研究発表論文集， pp.1069-1074.
- 6) 大澤義明， ドミニク・ペータース， 古藤浩 (2002): 便益・迷惑施設配置問題と最適傍領域. *G I S -理論と応用*, 10(2), pp.49-58.
- 7) 尾崎尚也， 大澤義明 (2003): 移動距離の公平性と効率性から見た公共施設配置評価. 日本建築学会計画系論文集， 563, pp.131-138.

(2) 学会活動

- 1) 日本建築学会地域施設計画小委員会委員
- 2) 日本建築学会建築システム最適化特別研究委員会委員
- 3) 日本オペレーションズ・リサーチ学会論文誌編集委員会委員
- 4) 日本オペレーションズ・リサーチ学会機関誌編集委員会委員
- 5) 日本都市計画学会， 日本建築学会， *Papers in Regional Science* の査読

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金「ランドマーク景観・緑地景観の数理評価モデル」, 基盤研究C, 研究代表者
- 2) 科学研究費補助金「欧州における間接税競争・税調和政策の実態調査」, 基盤研究B, 研究代表者
- 3) 受託研究「平成14年度ショッピングセンター・クレオ来店者調査」, ショッピングセンター・クレオ入店者協議会
- 4) 文部科学省平成14年度国際研究集会派遣研究員

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 地域計量理論

環境科学研究科： 立地環境論

社会工学類： 都市計画数理, 都市計画事例講義及び実習, 都市計画実習 III, 都市構造論, 自由演習

総合科目： 都市・地域・環境を考える

(2) 役職・各種委員会委員

全学： 高大連携委員会副委員長

社会工学類： 社会工学類カリキュラム委員, 社会工学類非常勤講師審査委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 図書館情報大学 (幾何学)

III. 社会的活動

- 1) 取手市補助金等検討委員会委員長

太田 誠

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) "Testing the Shirking Version of the Efficiency Wage Model in Japanese Electric-Machinery Firms: A Panel Data Approach", Applied Economics Letters, Vol. 9, No. 5, April 2002, pp. 335-338, jointly with Yoshitsugu Kitazawa
- 2) "Time-Varying Parameter Estimates of Capital Mobility: A Dynamic Approach Applied to Korea and Hong Kong", The Journal of Econometric Study of Northeast Asia, Vol. 4, No. 1, November 2002, pp. 63-72, jointly with Lixing Sun
- 3) Estimating A Matching Function and Regional Matching Efficiencies: Japanese Panel Data for 1973-1999", Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, Discussion Paper No. 997, July 2002, jointly with Shigeki Kano.

- 4) "Long-Run Matching Relationship in the Japanese Labor Market: A Panel Cointegration Approach", Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, Discussion Paper No. 1001, July 2002, jointly with Shigeki Kano.
- 5) "Beveridge Curve and Regional Mobilities of Unemployed Job Seekers in Japan", Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, Discussion Paper No. 1015, December 2002, jointly with Shigeki Kano.

(2) 学会活動

- 1) 日本経済学会理事
- 2) 日本経済学会春季および秋季大会でコメンターを各1回勤めた
- 3) 学術雑誌への投稿論文のレフェリー2回

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 計量経済学特論
経営・政策科学研究科： 数量経済分析
社会工学類： マクロ経済学，国際マクロ経済学

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： 運営委員，研究計画委員会委員長
システム情報工学研究科： 運営委員，論文管理委員，論文審査委員
社会工学類： 非常勤講師審査運営委員

大西 治男

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 投稿中の論文2編あり。
- 2) 知的統計モデリングシステムOEPPのクレード・アップを行った。

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 情報計量経済学
経営・政策科学研究科： 計量経済学，計量モデル選択論
社会工学類： 計量経済学，社会経済実習

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： 技官対応の委員，人事専門委員会
社会工学類： 予算委員長

III. 社会的活動

- 1) 文部科学省の大学設置審議会（情報分野）の委員を勤めた。
- 2) 総務省の地方行政改革の為に、地方公共団体定員モデルを構築するパソコン用知的統計システムO E P Pを提供し、定員モデルの作成に貢献した。

大村 謙二郎

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 「ドイツの不動産と不動産学」『不動産学事典』2002.4, 日本不動産学会編, 住宅新報社, 単著, pp.588-593
- 2) 『土地利用規制立法にみられる公共性』（土地制度に関わる基礎的詳細分析に関する調査研究委員会）2002.12, 土地総合研究所「市街化調整区域における土地利用規制問題：制度理念と開発・建築実態のずれ」pp.261-280, 「望ましい土地利用秩序構築のための計画体系について」pp.400-407, 単著（分担）
- 3) 「開発許可の役割と制度体系」『都市計画マニュアルI 総合編』日本都市計画学会編, 丸善, 単著, pp.91-104/2002
- 4) 「駅新設に伴う区画整理事業区域及び周辺地域の土地利用課題」共著, 2002年11月『都市計画論文集』第37号, pp.343-348
- 5) 「土地利用秩序の再生にむけて：21世紀初頭の田園・都市居住環境のあり方」『線引き制度の可能性と限界－都市郊外部の土地利用のあり方を巡って－』日本都市計画家協会, 2002.10, 単著, pp.85-91
- 6) 「ドイツにおける都市再生－その理念・動向・現状－」『月刊レジャー産業』2002.12, 単著, pp.152-158
- 7) 「ドイツにおける大都市圏計画」『新都市』2003.3, 単著, pp.24-30
- 8) 「ドイツの都市づくり：環境共生型地域・都市空間をめざした試み」『「森・知・エネルギー」懇話会講演録』2003.3, 単著, pp.1-9
- 9) 「都市計画とパブリックインボルブメント：現状と課題」共著『マッセ OSAKA 研究紀要』第6号 2003.3, pp.43-56

(2) 学会活動

- 1) 日本都市計画学会評議員
- 2) 日本都市計画学会国際委員会委員
- 3) 都市住宅学会副会長
- 4) 都市住宅学会誌「都市住宅学」編集委員長

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 比較都市計画史特論
環境科学研究科： 都市環境計画論

社会学類： 都市計画実習 2，土地利用計画

総合科目： 都市・地域・環境を探る

(2) 役職・各種委員会委員

社会学系： 施設委員

社会学研究科： 運営委員，論文審査委員

環境科学研究科： 入試実施委員

社会学類： 運営委員

III. 社会的活動

- 1) 茨城県開発審査会委員
- 2) つくば市都市計画審議会会長
- 3) 東京都住宅政策審議会委員
- 4) 埼玉県都市計画審議会委員
- 5) 江戸川区都市計画審議会委員
- 6) 板橋区住宅対策審議会会長

小倉 昇

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 小倉昇，割引現在価値を利用した企業価値モデル，企業会計，第54巻，第4号，pp.46-51，2002年4月.
- 2) 小倉昇，グローバル基準の企業価値と会計管理の課題，会計，第163巻，第3号，pp.221-233，2003年1月.
- 3) 小倉昇，会計制度の課題：情報システムの視点から，情報系，第24巻，第1号19-23，2003年3月.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 「グローバル基準の企業評価と管理会計の課題」日本会計研究学会第61回大会統一論題報告，武蔵大学，2002年9月.

(2) 学会活動

- 1) 日本管理会計学会 常務理事・学会誌編集委員長
- 2) 日本原価計算研究学会 理事
- 3) オフィスオートメーション学会 理事・学会誌編集委員

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科： 会計基礎，会計ディスクロージャ，コストマネジメント，ファイナンシャルプランニングコストマネジメント輪講 I,II,III, システムズ・マネジメント特別演習，システムズ・マネジメント講究

(2) 役職・各種委員会委員

全学： 医療委員会委員，大学法人化対応専門委員会委員，大学研究センター運営委員
ビジネス科学研究科： 経営システム科学専攻専攻長，運営委員

(3) 他大学における教育活動

1) 大阪大学経済学研究科非常勤講師

小場瀬 令二

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) The Establishment of Cityscape :The Nippon Taisho-Mura Practice. / OBASE Reiji/ Organization of 4th International Symposium on Architectural Interchanges in ASIA/61-69 pp /本論文は中国重慶で2002.9/17-19に開催された第4回アジア建築国際交流会議で発表したもので，132編の収録された論文の中で特別に発表を許された24編に選ばれた
- 2) 特定土地地区画整理事業における集約換地の時系列的変容過程に関する研究/都市計画学会 学術研究論文集 2002年 37号 415～420pp/共著者 池田 陽祐
- 3) ヴィーッキ・ニュータウン（ヘルシンキ市）のエコ・コミュニティ・デザイン/月刊 住宅着工統計/2003・1/ 6～10pp

(2) 学会活動

1) 建築学会関東支部都市計画研究部会幹事

(3) 受賞

- 1) 独立行政法人 建築研究所主催「こんなまちに住みたい」の懸賞論文で「コミュ事のある街」で最優秀（国土交通大臣賞）を受賞
- 2) 建築学会関東支部主催「美しくまちをつくるむらをつくる（秩父市）」コンペで優秀賞受賞

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 都市環境・景観論特論
環境科学研究科： 住環境計画論，環境科学3
社会工学類： 住宅地計画，図学測量学

総合科目： 都市・地域・環境を探る，自由演習

(2) 役職・各種委員会委員

全学： 学生生活審議会委員

環境科学研究科： 入試実施委員会委員

(3) 他大学における教育活動

1) 常磐大学非常勤講師

III. 社会的活動

1) 茨城県の景観委員会委員

2) 水戸市景観アドバイザー

加藤 英明

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

1) "Dividend Policy, Cash Flows and Investments in Japan" with Uri Lowenstein and Wenyuh Tsay, Pacific Basin Finance Journal, vol. 10, no. 4, 2002, 443-474.

2) "Are Japanese Stock Dividends (MUSHOs) Melon or Lemon?" with Wenyuh Tsay, Pacific Basin Finance Journal, vol. 10, no. 5, 2002, 531-548.

ii) 学会での口頭発表・講演等

1) Predictability of Japanese Stock Returns , Pacific Basin Finance Conference , Korean Finance Association (招待講演)

(2) 学会活動

1) Program committee , Pacific Basin Finance Conference

2) Board member , Asia Pacific Journal of Finance

3) Board member , 現代ファイナンス

4) Associate Editor , Pacific Basin Finance Journal

5) Associate Editor , International Review of Finance

6) Associate Editor , International Quarterly of Finance

7) Referee , Asian Economic Journal

(3) 研究助成など

1) 日本経済研究奨励財団

2) 簡易保険文化財団

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科： 資本市場と経営，コーポレートファイナンス，ファイナンシャルマーケット，コーポレートファイナンス輪講 I,II,III

(2) 役職・各種委員会委員

ビジネス科学研究科： 総務

(3) 他大学における教育活動

- 1) 南山大学（非常勤講師）
- 2) 愛知大学（非常勤講師）

金子 守

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Epistemic Logic of Shallow Depths and Game – Theoretical Applications,(with N. – Y. Suzuki). Advances in Modal Logic Vol.3 (2002), F. Wolter et al eds. World Scientific Publishing Co. London. pp. 279-298.
- 2) A Map of Common Knowledge Logics, (with T. Nagashima, N. – Y. Suzuki, and Y. Tanaka). Studia Logica 71 (2002), 57-86.
- 3) Epistemic Models of Shallow Depths and Game Theoretical Decision Making : Horticulture, (with N. – Y. Suzuki). Journal of Symbolic Logic 68 (2003), 163-186.
- 4) Utility theories in cooperative games, (with M. H. Wooders). To appear in Handbook of Utility Theory Vol.2.
- 5) 『ゲーム理論と蒟蒻問答』, 日本評論社, 平成 15 年 4 月

(2) 学会活動

- 1) Associate Editor for Mathematical Social Sciences
- 2) Associate Editor for Social Choice and Welfare
- 3) Associate Editor for Journal of Public Economic Theory
- 4) Associate Editor for Economic Theory

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金「個人の社会認識と社会・経済規範」：基盤研究 B, No. 1 0 6 3 3 0 0 0 3（研究代表者）

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： ゲーム理論特論

社会工学類： 微積分学， ゲーム理論， 社会経済実習

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学研究科： 研究科長

システム情報工学研究科： 社会システム工学専攻長

河合 忠彦

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 「政府」(稲葉元吉編著『現代経営学講座3 社会の中の企業』八千代出版，2002年7月)

(2) 学会活動

- 1) 経営行動科学学会『経営行動科学』編集委員

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科： 経営学基礎， 経営戦略， 組織革新， ビジネスマネジメント研究

III. 社会的活動

- 1) 日本学術振興会科学研究費専門委員会委員を勤めた。
- 2) 公認会計士試験試験委員（「経営学」）を勤めた。

岸本 一男

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Endo, M. and Kishimoto, K.: Empirical tests for the effect of heteroskedasticity on option pricing, JAFEE International Conference and the 6th Columbia=JAFEE International Conference, March 15-16, 2003. pp.138-147.

(2) 学会活動

- 1) 応用数学会理事
- 2) 応用数学会誌編集委員長
- 3) 応用数学会論文誌編集委員
- 4) 横断型基幹科学技術研究団体連合代議員

(3) 研究助成など

- 1) 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) (2) 「マーケット・インパクトを考慮した株価変動モデルとその派生証券価格付けへの応用」(研究課題番号 13650060) (継続)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： システム数理特論
経営・政策科学研究科： 数理ファイナンス
社会工学類： 数理解析 1, 自由研究微分積分
総合科目： 経営の科学

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： 運営委員
システム情報工学研究科： 運営委員
第3学群： 教員会議構成委員
社会工学類： 運営幹事, 施設委員, クラス担任 (1年)

(3) 他大学における教育活動

- 1) 横浜市立大学理学部非常勤講師

III. 社会的活動

- 1) 学術会議第18回数学研究連絡委員会委員
- 2) 大学評価・学位授与機構「総合科学」教育・研究評価専門委員
- 3) 東京工業大学理財工学研究センター外部評価委員
- 4) 平成14年度科学技術振興調整費科学技術政策提言「横断型科学技術の役割とその推進」委員

木下 太志

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 『人類史のなかの人口と家族』木下太志・浜野潔編著, 晃洋書房, 2003年, pp.1-22, 83-100, 121-139, 165-185。
- 2) 「狩猟採集社会の人口事情」日本人口学会編『人口大事典』培風館, 2002年, pp.715-719。
- 3) 書評: 大塚柳太郎・河辺俊雄・高坂宏一・渡辺知保・阿部卓著『人類生態学』(東京大学出版会)『人口学研究』31(2002年):159-160。
- 4) 『近代化以前の日本の人口と家族—失われた世界からの手紙—』ミネルヴァ書房, 2002年, 320頁。

(2) 学会活動

- 1) Board member, ICHD(International Commission of Historical Demography).
- 2) Board member, International Committee of Historical Sciences.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

人文社会科学研究科： 「人口学特論 I」「人口学特論 I 演習」「人口学特論 II」「人口学特論 II 演習」

JTP： Population and History in Japanese Perspective, Population in Asia, 「特別研究」

(2) 役職・各種委員会委員

全学： 外国人留学生後援会理事, 留学生連絡協議会委員, 留学生受入れ派遣小委員会委員, JTP 作業部会員

III. 社会的活動

- 1) 麗澤大学歴史人口学研究グループ会員
- 2) 国際日本文化研究センター共同研究員

久野 靖

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 兼宗 進, 御手洗理英, 中谷多哉子, 福井眞吾, 久野 靖, オブジェクトストーム: オブジェクト指向言語による初中等プログラミング教育の提案, 情報処理学会論文誌, vol. 43, No. 6, pp. 1610-1624, 2002.
- 2) Kazuhiro Tsuda, Takao Terano, Yasushi Kuno, Hiroaki Shirai, Hisatoshi Suzuki, A compiler for business simulations: Toward business model development by yourselves, Information Sciences, vol. 143, pp. 99-114, 2002.
- 3) 紅林秀治, 兼宗 進, 岡田雅美, 佐藤和浩, 久野 靖, 画面を飛び出したオブジェクト: 自立型ロボットを活用した情報教育の提案, 情報処理学会夏の教育シンポジウム (SSS2002), ISPJ Symposium Series, vol. 2002, No. 12, pp. 77-84, 2002.
- 4) 兼宗 進, 中谷多哉子, 井戸坂幸男, 御手洗理英, 福井眞吾, 久野靖, 教育用オブジェクト指向言語「ドリトル」による授業実施とその評価, 情報処理学会夏の教育シンポジウム (SSS2002), ISPJ Symposium Series, vol. 2002, No. 12, pp. 229-236, 2002.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 兼宗 進, 御手洗理英, 中谷多哉子, 福井眞吾, 久野 靖, 初中等教育におけるオブジェクト指向プログラミングの実践と評価, 情報処理学会プログラミング研究会 (PRO), 2003.
- 2) 西森丈俊, 久野靖, アクションゲーム記述に特化した言語, 情報処理学会プログラミング研究会 (PRO), 2003.

iii) その他

- 1) 兼宗 進, 中谷多哉子, 御手洗理英, 福井眞吾, 久野 靖, 教育用オブジェクト指向言語「ドリトル」を活用した学校教育, 第44回プログラミングシンポジウム報告集, pp. 13-24, 2003.
- 2) 西森丈俊, 久野 靖, アクションゲーム記述に特化した言語, 共著, 第44回プログラミングシンポジウム報告集, pp. 35-54, 2003.

(2) 学会活動

- 1) 情報処理学会プログラミング研究会運営委員, PRO 論文誌編集委員.
- 2) 情報処理学会オブジェクト指向シンポジウム査読委員, 情報処理学会論文誌オブジェクト指向特集号査読委員.
- 3) 情報処理学会初情報処理教育委員会委員初中等教育ワーキンググループ委員

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科： 計算機科学基礎 II, オブジェクトシステム, オブジェクトシステム輪講 II-III, ビジネスマネジメント研究 II~VI, プロジェクトマネジメント研究 I~III, 情報システム技術論, システムズマネジメント講究 I~IV

(2) 役職・各種委員会委員

全学： 東京地区 SCS ワーキンググループ委員長, 附属学校情報教育委員会委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 東京大学教養学部非常勤講師 (計算機プログラミング I)
- 2) 東京学芸大学教育学部非常勤講師 (情報科教育法 II)

III. 社会的活動

- 1) 日本情報処理開発協会情報処理技術者試験委員会委員

熊谷 良雄

I. 研究活動

i) 著書および査読つき論文

- 1) 不動産学事典 (分担単著), 住宅新報社, 2002.4.15.
- 2) 防災事典 (編集および分担単著), 築地書館, 2002.7.29.
- 3) 大規模災害時の避難所運営に関する地域防災力評価 (共著), 地域安全学会論文集 No.4, 2002.11.
- 4) 大都市震災時における都心地区での滞留者数推計と仮泊可能性に関する研究：東京銀座地区を事例として (共著), 地域安全学会論文集 No.4, 2002.11.
- 5) 阪神淡路大震災における重傷者発生世帯への調査に基づく死傷発生メカニズムの検討 (共著), 地域安全学会論文集 No.4, 2002.11.

ii) その他

- 1) 1995年阪神淡路大震災の被災地における木造3階建戸建て住宅の建設要因(共著), 地震・火山災害における住民・行政の対応と被災地の復興 その1(共著), (財)都市防災美化協会・地域安全学会, 2002.7.
- 2) 芸予地震に対する広島市市民の交通行動の対応調査(共著), 地震・火山災害における住民・行政の対応と被災地の復興 その1(共著), (財)都市防災美化協会・地域安全学会, 2002.7.
- 3) 芸予地震における松山市の対応(共著), 地震・火山災害における住民・行政の対応と被災地の復興 その1, (財)都市防災美化協会・地域安全学会, 2002.7.
- 4) 大震災時における重傷者搬送に関する研究—阪神淡路大震災時の神戸市東灘区を事例として(共著), 地域安全学会梗概集 12(2002年), 地域安全学会, 2002.11.
- 5) 水害常襲地域における住民の防災意識の風化に関する研究(共著), 地域安全学会梗概集 12(2002年), 地域安全学会, 2002.11.
- 6) 大規模震災時における都心地区での一時的来訪者の行動要因に関する研究—東京銀座地区の家族来訪者を対象として—(共著), 地域安全学会梗概集 12(2002年), 地域安全学会, 2002.11.

(1) 学会活動

- 1) 地域安全学会会長
- 2) 日本都市計画学会評議員
- 3) 日本建築学会都市防災システム小委員都市防災図集WG会主査
- 4) 日本建築学会地震防災総合研究特別委員会委員

(2) 研究助成など

- 1) 文部科学省科学技術振興調整費: 人体被災度計測模型の開発と人的被災軽減方法の明確化
- 2) 平成14年度大都市における火山灰災害の影響予測評価に関する研究(火山灰災害による交通および都市活動への影響評価)(運輸施設整備事業団: 運輸分野における基礎的研究推進制度)
- 3) 大震災時におけるコミュニティの自律的相互救済に関する実態分析((独)防災科学技術研究所: 文部科学省RR2002「大都市大震災軽減化特別プロジェクト」)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科: 都市リスク管理特論, リスク工学特別演習
環境科学研究科: 環境科学実習, 防災計画論
社会工学類: 都市防災計画, 都市計画実習3, 都市計画事例講義

(2) 役職・各種委員会委員

全学: 防災対策委員会委員, 安全管理査察専門委員会委員, 安全管理査察専門委員会作業部会主査, キャンパスリニューアル計画部会マスターWG委員, キャンパスリニューアル計画部会中地区総合研究棟設計WG委員
社会工学系: 施設委員長, 人事懇談会運営委員

システム情報工学研究科： 施設委員長， 運営委員

環境科学研究科： 就職委員長， 将来検討ワーキング委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 東京都立大学都市研究所非常勤研究員

III. 社会的活動

- 1) 中央防災会議大都市震災対策専門委員会委員
- 2) 東京都火災予防審議会委員
- 3) 第5回東京都地域危険度測定調査委員会委員
- 4) 茨城県環境影響評価審査会委員
- 5) 土浦市都市計画審議会会長
- 6) つくば市建築審査会会長
- 7) 総合技術開発プロジェクト「まちづくりにおける防災評価・対策技術の開発」研究開発委員会委員

黒田 誼

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Anit N. Mukherjee and Yoshimi Kuroda. "Convergence in Rural Development: Evidence from India," *Journal of Asian Economics*, Vol. 13, No. 3, 2002, pp. 385-398, 共著.
- 2) Radha Balkaransingh and Yoshimi Kuroda. "Testing for Causality between Private Variables and Public Infrastructure: The Case of Japan," *Global Business and Economics Review-Anthology*, 2002, pp. 472-483, 共著.
- 3) Yoshimi Kuroda and Naziruddin Abdullah. "Impacts of Set-Aside and R&E Policies on Agricultural Productivity in Japan, 1965-97," *Japanese Journal of Rural Economics*, Vol. 5, 2003, pp. 12-34, 共著「筆頭」.
- 4) Yoshimi Kuroda and Yong-Sun Lee. "The Output and Input Biases Caused by Public Agricultural Research and Extension in Japan," *Asian Economic Journal*, Vol. 17, No. 21, 2003, pp. 107-130, (in press), 共著「筆頭」.
- 5) Anit N. Mukherjee and Yoshimi Kuroda. "Productivity Growth in Indian Agriculture: Is There Evidence of Convergence among States?," *Agricultural Economics*, (forthcoming), 共著.
- 6) 『日・韓・台農業におけるR&D及び環境要因が生産性に及ぼす影響の実証的研究』(課題番号 12660197), 平成12(2000)年度～平成14(2002)年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書, 平成15(2003)年3月, 研究代表者(個人研究).

(2) 学会活動

- 1) 国際農業経済学会の機関誌である Agricultural Economics Editorial Advisory Board のメンバーである。

(3) 研究助成など

- 1) 『日・韓・台農業における R&D 及び環境要因が生産性に及ぼす影響の実証的研究』（課題番号 12660197），平成 12(2000) 年度～平成 14(2002) 年度科学研究費補助金（基盤研究 (C)(2)）研究成果報告書，平成 15(2003) 年 3 月，研究代表者（個人研究）。

(4) その他

- 1) American Journal of Agricultural Economics の 1 本の論文の査読を行った。
- 2) 「多目的データバンク・プロジェクト」の推進および管理・運営。

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：計量発展分析特講

経営・政策科学研究科：計量発展分析特論

社会工学類：計量発展分析，社会経済専攻実習，自由演習

(2) 役職・各種委員会委員

全学：留学生センター長，植物見本園委員会委員

経営・政策科学研究科：運営委員

社会工学類：運営幹事

III. 社会的活動

- 1) PECC(Pacific Economic Cooperation Conference-太平洋経済協力会議) 日本委員会の食料・農業委員会のメンバーとして春に行われる年次会議に出席した。

香田 正人

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) An Optimization Algorithm Based on Stochastic Sensitivity Analysis for Noisy Objective Landscapes, Reliability Engineering and System Safety, Vol. 79, pp. 245-252, No. 2 (February), 2003.
- 2) Function Minimization by Noise, 16th Triennial Conference of the International Federation of Operational Research (IFORS 2002), Proc. p. 9, June, 2002.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 通販スコアリングモデルと重み付き結合による複合予測モデルについて, 日本ダイレクトマーケティング学会第3回データベースマーケティング研究部会, 筑波, 4月26日, 2002.
- 2) Sensitivity Analysis and Financial Engineering (Invited Lecture), Summer School on Sensitivity Analysis of Model Output, University of Venice and European Commission, Venice, June 14, 2002.
- 3) A Case Study in Financial Engineering (Invited Lecture), Summer School on Sensitivity Analysis of Model Output, University of Venice and European Commission, Venice, June 14, 2002.
- 4) Support Vector Regression による顧客スコアリング, 日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会アブストラクト集, pp. 234-235, 函館, 9月12日, 2002.
- 5) Overview of Data Mining and Knowledge Discovery (Invited), 16th Asia Quality Symposium, Tokyo, November 16, 2002.
- 6) データマイニングの現状についてー リレーションシップ・データへのデータマイニングの適用, 日本オペレーションズ・リサーチ学会平成14年度第3回セミナー, 東京, 12月6日, 2002.

iii) その他

- 1) リレーションシップ・データへのデータマイニングの適用, オペレーションズ・リサーチ (日本オペレーションズ・リサーチ学会機関誌), Vol. 47, No. 9, pp. 581-587, 9月, 2002.
- 2) Function Minimization by Noise: An Application to the Travelling Salesman Problem, Technical Report RT0484, IBM Tokyo Research Laboratory, September, 2002
- 3) 「データマイニング」特集にあたって, オペレーションズ・リサーチ (日本オペレーションズ・リサーチ学会機関誌), Vol. 47, No. 9, p. 564, 9月, 2002.
- 4) Support Vector Regression による顧客スコアリング, OR学会創立四十周年記念事業「統合オペレーション」戦略・マネジメント研究成果報告書, pp. 108-116, 日本オペレーションズ・リサーチ学会, 2月, 2003.

(2) 学会活動

- 1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会国際理事
- 2) 日本ダイレクトマーケティング学会理事, データベースマーケティング研究部会長
- 3) 日本オペレーションズ・リサーチ学会機関誌「データマイニング」特集号ゲストエディター
- 4) 日本オペレーションズ・リサーチ学会, 平成14年度第3回セミナー, 「データマイニング」コーディネーター
- 5) 日本オペレーションズ・リサーチ学会創立40周年記念事業国際交流委員会主査
- 6) 日本オペレーションズ・リサーチ学会統合OR「戦略・マネジメント」研究会運営委員
- 7) 日本オペレーションズ・リサーチ学会統合OR「情報技術・ネットワーク」学専門部会幹事
- 8) 日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会, APORSセッションコーディネーター
- 9) Contributing Editor, International Abstracts in OR, IFORS
- 10) Associate Editor, J. Information and Communication Technology, Universiti Utara Malaysia

11) 国際会議 ICORD 2002, Advisory Committee 委員

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費：基盤研究 C (2), No.13680504 (研究代表者)「高性能を有するデータマイニング複合モデルの構築と最適化」
- 2) 筑波大学学内プロジェクト特別助成研究 (S)「高度ネットワークを用いたビジネスモデルの開発と研究 (研究代表者松尾博文教授)」マーケティングビジネスモデル研究担当者

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： データマイニング工学特論

経営・政策科学研究科： 応用解析学

社会工学類： 微分積分学, 経営工学実習

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科： 運営委員, 論文管理委員, 学位論文審査委員

経営・政策科学研究科： 運営委員

社会工学類： 入試実施委員長

III. 社会的活動

- 1) 大学模擬講義, 茨城県立古河第三高等学校, 9月17日, 2002.
- 2) データマイニングは何が出来るか, One-to-One 研究セミナー, ワン・トゥ・ワン協議会, 東京, 1月14日, 2003.

腰塚 武志

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 腰塚武志：平面領域における距離分布, 日本都市計画学会平成14年度論文集, pp.37-42, 2002.
- 2) Y.Ohsawa, H.Kagaya and T.Koshizuka : Map projection errors in the Weber problem. Journal of Geographical Systems, Vol.4, pp.325-342, 2002.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 田村一軌, 腰塚武志, 大澤義明：平面の距離分布とネットワークの距離分布, 日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会アブストラクト集, pp.156-157, 2002.
- 2) 腰塚武志, 大原宏晃：関東地方における鉄道の役割, 日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会アブストラクト集, pp.44-45, 2003.
- 3) 大津晶, 腰塚武志：3次元空間の領域内距離分布, 日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会アブストラクト集, pp.164-165, 2003.

- 4) 鈴木勉, 腰塚武志: 交通路を持つ都市空間における距離分布, 日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会アブストラクト集, pp.170-17, 2003.

(2) 学会活動

- 1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会評議委員
- 2) 形の科学会運営委員

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費 基盤研究 (B)(2)「移動時間分布と通過量分布による都市空間の分析」(研究代表者)
- 2) 文部省科学研究費 基盤研究 (B)(1)「都市の交通および施設配置に関する総合的研究」(研究分担者)

(4) 受賞

- 1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会業績賞受賞

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科: 都市解析学特論

経営・政策科学研究科: 都市解析学特論

社会工学類: 都市解析, 都市計画実習 I

(2) 役職・各種委員会委員

全学: TWINS 運営委員会委員長, 大学研究センター運営委員

III. 社会的活動

- 1) 国際科学振興財団理事
- 2) 熊谷市マスタープラン策定委員会委員長
- 3) つくば市産業戦略ビジョン策定会議委員長

Neantro Saavedra-Rivano

I. 研究活動

(1) 学会活動

- 1) Annual Meeting of the International Consortium of APEC Study Centers (New Trends in Trade Integration), Universidad de Merida, Merida, May 22-24, 2002.
- 2) Trade Forum of PECC ("Developmental Affinities as a Rationale for Asia-Pacific RTAs"), Asia Pacific Foundation of Canada, Vancouver, November 11-13, 2002.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

国際政治経済学研究科： 開発経済学

地域科学研究科： ラテン・アメリカ研究概論

国際総合学類： 地域統合経済学， 国際開発計画論

(2) 役職・各種委員会委員

国際政治経済学研究科： Director, Joint Japan/World Bank Graduate Scholarship Program
， Director, APEC Study Center ， Member, 運営委員会

佐藤 亮

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 蔡東倫, 佐藤亮：APPCSにおけるシミュレータの提案, 経営情報学会 2002 年春季全国研究発表大会予稿集, pp242- 245, 2002.
- 2) Ryo Sato and Tunglun Tsai, An agile production planning and control with additional purchase orders, Institute of Policy and Planning Sciences Discussion Paper series No. 982, University of Tsukuba, 2002 April.
- 3) T. L. Tsai and R. Sato, A UML Model of Agile Production Planning and Control System, Institute of Policy and Planning Sciences Discussion Paper series No. 999, University of Tsukuba, 2002 July.
- 4) T. L. Tsai and R. Sato, A UML Model of Agile Production Planning and Control System,, Proceedings of the 6th Pacific Asia Conference on Information Systems, Tokyo, pp1177- 1181, 2002.
- 5) 佐藤亮：ビジネスプロセスの計画管理とリードタイムの関連, 第 27 回システム工学部会研究会講演論文集, pp31-36, 2002.
- 6) 佐藤亮, 蔡東倫, 二村暢之, 小野栄一：ERP を用いてビジネスプロセスを作り出すための情報システム方法論：quickIPP – 日程計画業務の場合, Institute of Policy and Planning Sciences Discussion Paper series No. 1017, University of Tsukuba, 2003.

(2) 学会活動

- 1) PACIS2002 (東京) アジア情報システム国際会議実行委員会事務局長
- 2) PACIS2003 (アデレード) アジア情報システム国際会議プログラム委員
- 3) (社) 計測自動制御学会システム情報部門システム工学部会運営委員
- 4) 経営情報学会誌論文編集委員

(3) 研究助成など

- 1) 共同研究 三菱化学株式会社「石油化学産業のサプライチェーンマネジメントとビジネスモデル構築方法論に関する研究」

- 2) 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C)(2)「高度に統合されたビジネスプロセスの時間特性の最適化設計法」(研究代表者)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 情報システム特論

経営・政策科学研究科： 情報システム論

社会工学類： 経営工学概論, 経営情報システム, 経営情報システム演習, 現代の経営と情報

(2) 役職・各種委員会委員

経営・政策科学研究科： カリキュラム委員

社会工学類： カリキュラム委員長

III. 社会的活動

- 1) SAP ジャパン Higher Learning Initiative 委員。

庄司 功

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Shoji, I., (2002), Nonparametric state estimation of diffusion processes, *Biometrika*, 89, 451-456.
- 2) Yoshimoto, A. and Shoji, I., (2002), Comparative analysis of stochastic models for financial uncertainty in forest management, *Forest Science* 48, 755-766.
- 3) Takamizawa, H. and Shoji, I., (2003), Modeling the term structure of interest rates with general short-rate models, *Finance and Stochastics* 7, 323-335.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 確率過程に対するノンパラメトリック推定, 2002年度統計関連学会連合大会, 明星大学, 2002年9月
- 2) Nonparametric estimation for diffusion processes, *Chaos, Non-linear Time Series and Related Topics: The Fourth Hakata Symposium*, International Research Exchange Plaza, Kyushu University, 2002年10月.

(2) 学会活動

- 1) Editorial Board, *Advances and Applications in Statistics*

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 計量時系列解析特論

経営・政策科学研究科： 金融時系列解析

社会工学類： 統計学，計量時系列分析

徐 華

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) H. Mukaidani, Hua Xu and K. Mizukami, A Revised Kleinman Algorithm to Solve Algebraic Riccati Equation of Singularly Perturbed Systems, Automatica, Vol.38, No.3, pp.553-558, 2002.
- 2) H. Mukaidani, Hua Xu and K. Mizukami, Recursive Computation of Pareto Optimal Strategy for Multiparameter Singularly Perturbed Systems, Dynamics of Continuous, Discrete and Impulsive Systems, Vol.9b, No.2, pp.175-200, 2002.
- 3) H. Mukaidani, T. Shimomura and Hua Xu, Near-Optimal Control of Linear Multiparameter Singularly Perturbed Systems, IEEE Transactions on Automatic Control, Vol.47, No.12, pp.2051-2057, 2002.
- 4) H. Mukaidani, T. Shimomura and Hua Xu, Recursive Approach of H^∞ Optimal Filtering for Multiparameter Singularly Perturbed Systems, Proceedings of the 15th IFAC Triennial World Congress, CD-Rom, 2002.
- 5) H. Mukaidani, Hua Xu and K. Mizukami, Feedback Control of Linear Multiparameter Singularly Perturbed Systems, Proceedings of the 15th IFAC Triennial World Congress, CD-Rom, 2002.
- 6) H. Mukaidani, T. Shimomura and Hua Xu, Numerical Algorithm for Solving Cross-Coupled Algebraic Riccati Equations Related to Nash Games of Multimodeling Systems, Proceedings of the 41st IEEE Conference on Decision and Control, pp.4167-4172, 2002.

(2) 学会活動

- 1) レフェリー, Automatica, Dynamics of Continuous, Discrete and Impulsive Systems
- 2) 電気学会： 公共施設におけるリスク・マネジメント技術調査専門委員会委員

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科： 数理モデル II, 意思決定支援モデル, ゲーム理論と企業行動, リスクモデリングと制御論講 I, II, III, 動的システムと最適化

(2) 役職・各種委員会委員

ビジネス科学研究科： 企業科学専攻教育委員

鈴木 久敏

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) "A compiler for business simulations: Toward business model development by yourselves," Information Sciences 143 (2002), pp.99-114.
- 2) "横断型基幹科学技術としてのマネジメント技術", 計測と制御 42(3), pp.178-182

ii) その他

- 1) 横断型科学技術の新しい展開～経営工学・社会科学の立場から～, 日本計測自動制御学会制御部門大会「横断型技術としての制御」パネルディスカッション

(2) 学会活動

- 1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会研究普及委員
- 2) 日本オペレーションズ・リサーチ学会表彰委員会委員
- 3) 日本オペレーションズ・リサーチ学会論文誌編集委員
- 4) 横断型基幹科学技術研究団体連合設立準備委員会委員

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金基盤研究 C(2)「患者の病院選択行動に基づく第2次医療圏における病院の適正配置」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科： ビジネス・ゲーム, 計画数理論講 I,II,III

(2) 役職・各種委員会委員

全学： 企画調査室長, 評議員, 評議会議題整理委員会委員, 評議会自己点検・評価委員会委員, 研究審議会委員, 財務委員会委員, 同小委員会委員, 施設委員会委員, 同副委員長, 全学施設管理委員会委員, 情報化推進委員会委員, 国際交流委員会委員, 東京地区将来計画検討委員会委員, 将来設計検討委員会委員, 同副委員長, 大学研究センター運営委員会委員, TARA センター運営委員会委員

ビジネス科学研究科： 論文審査委員会委員

III. 社会的活動

- 1) 文部科学賞科学技術振興調整費・政策提言プログラム「横断型科学技術の役割とその推進」推進委員会委員, 同システムズ・マネジメント分科会主査

住田 潮

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) "Stochastic Analysis of Number of Corporations in a Market Derived from Strategic Policies of Individual Corporations for Market Entry and Retreat," (with K. Yonezawa), Working Paper Series
- 2) 6月27日, 道路経済研究所ロジスティクス研究部会 講演, "台湾におけるロジスティクス最新動向"
- 3) 9月19-20日, OECD Asian Logistics Conference 講演, "Most Advanced Logistics Practices in Asia Using ICT and ITS"
- 4) 1月22日-25日, イタリア University of Bolzano Executive MBA 招待講演, "Why Has Japans Global Leadership Position Declined?" , "The Ford Revolution vs. the Toyota Way"

(2) 学会活動

- 1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 機関紙編集委員
- 2) 9月19-20日, OECD Asian Logistics Conference 主催委員会メンバー, Impact of Information and Communication Technology (ICT) and Intelligent Transport Systems (ITS) on Asia-Pacific Logistics
- 3) 1月28日, OECD Asian Logistics Editorial Meeting 主催委員会メンバー

(3) 研究助成など

- 1) 奨学寄付金: 「時系列モデルに対する構造的数値解法の開発」(山本芳嗣教授, 後藤順哉講師と共同) みずほ第1ファイナンシャル・テクノロジー株式会社
- 2) 奨学寄付金: 「グローバル教育プログラム開発に関連する研究」富士通AMDセミコンダクタ株式会社

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科: 応用確率過程特論, 情報数理特論

経営・政策科学研究科: 特定課題研究

社会工学類: Introduction to Management Science and Engineering, 現代の経営と情報

(2) 役職・各種委員会委員

全学: 公開講座委員会メンバー, 産学協同推進委員会メンバー

システム情報工学研究科: 論文審査委員会メンバー

経営・政策科学研究科: カリキュラム委員長, 運営委員会メンバー

(3) 他大学における教育活動

- 1) 国際基督教大学フランス・プログラム集中講義

III. 社会的活動

- 1) OECD Tri-Logistics Research Project アジア研究部会・委員
- 2) 道路経済研究所 ロジスティクス研究部会・メンバー
- 3) 4月10日, DHL 幹部研修プログラム, “中国におけるビジネス最新事情”
- 4) 4月15日, (株) 菊水化学の IT 活用視察
- 5) 5月18日, 富士重工 幹部研修プログラム, “企業経営とファイナンス”
- 6) 5月20日, 旭化成 グループ企業年次会, “日本企業生き残りの条件: 新しいビジネス・モデルを求めて”
- 7) 5月24日, (株) 富士通 AMD セミコンダクター 最新の半導体製造技術視察
- 8) 6月2-5日, 台湾ロジスティクス事情 視察
- 9) 6月22日, (株) モロオ, “21世紀の医薬品卸産業”
- 10) 7月12日, 日本能率協会 プロフェッショナル・ビジネス・リーダー・コース, “経営環境の変化とこれからの企業戦略: 如何に再びアメリカを超えるか”
- 11) 8月23日, 東京電力-富士ゼロックス異業種交流会, “大競争時代における企業革新とミドルに期待される役割”
- 12) 8月30日, 日本能率協会 プロフェッショナル・ビジネス・リーダー・コース, “企業経営と企業倫理”
- 13) 9月6日, セコム-富士ゼロックス異業種交流会, “大競争時代における企業革新とミドルに期待される役割”
- 14) 9月14日, 旭化成 LP フォーラム, “世界のビジネス潮流と日本: 求められる個人のエンプロイアビリティ”
- 15) 10月10日, 富士ゼロックス海老名工場 リサイクル・システム視察
- 16) 10月26日, 旭化成 LP フォーラム, “世界のビジネス潮流と日本: 求められる個人のエンプロイアビリティ”
- 17) 11月19日, ヤマト・日通 ロジスティクス・システム視察
- 18) 11月21日, 富士ゼロックス流通 ロジスティクス・システム視察
- 19) 12月5日, (株) 富士通 AMD セミコンダクター グローバル教育プログラム “グローバル経営の変遷と国際化の本質”
- 20) 12月12日, 海外技術者研修協会 ネパール・IT 研修プログラム, “Evolution of Computer Networks and the Internet”
- 21) 12月17日, 海外技術者研修協会 ネパール・IT 研修プログラム, “Comparative Analysis of e-Businesses in U.S.A. and Japan”
- 22) 12月26日, (株) 富士通 AMD セミコンダクター グローバル教育プログラム, “21世紀における日本企業の課題”
- 23) 1月7日, (株) 富士通 AMD セミコンダクター グローバル教育プログラム, “企業経営とファイナンス”

- 24) 1月11日, 八海クリエイツ 中小企業におけるIT・設備投資視察
- 25) 2月1日, (株) 富士通 AMD セミコンダクター グローバル教育プログラム, “インターネットとビジネス・モデル革命”
- 26) 2月10日, 富士通 IT ソリューション営業部 視察
- 27) 2月11日, (株) 富士通 AMD セミコンダクター グローバル教育プログラム, “コーポレート・ガバナンスと企業倫理: ENRON 事件から何を学ぶか”
- 28) 2月17日, (株) 富士通 AMD セミコンダクター グローバル教育プログラム, “グローバル・ロジスティックスの新潮流”
- 29) 2月24日, (株) 富士通 AMD セミコンダクター グローバル教育プログラム, “国際化時代のリーダーシップ”
- 30) 3月5日, 海外技術者研修協会 バングラデシュ・IT 研修プログラム, “Evolution of Computer Networks and the Internet”
- 31) 3月7-8日, 富士重工 幹部研修プログラム, “企業経営とファイナンス”
- 32) 3月10日, 海外技術者研修協会 バングラデシュ・IT 研修プログラム, “Comparative Analysis of e-Businesses in U.S.A. and Japan”

高木 英明

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) R. M. Rodriguez-Dagnino, J. J. Ruiz-Cedillo, and H. Takagi, “Dynamic Mobility Management for Cellular Networks: A Delayed Renewal Process Approach,” *IEICE Transactions on Communications*, Vol.E85-B, No.6, pp.1069-1074, June 2002.
- 2) J. H. Siregar, H. Takagi, and Y. Zhang, “Optimal Wavelength Converter Placement in Optical Networks by Genetic Algorithm,” *IEICE Transactions on Communications*, Vol.E85-B, No.6, pp.1075-1082, June 2002.
- 3) S. Yagyū and H. Takagi, “A Queueing Model with Input of MPEG Frame Sequence and Interfering Traffic,” *Journal of the Operations Research Society of Japan*, Vol.45, No.3, pp.317-338, September 2002.
- 4) T. Norimatsu, H. Takagi, and H. R. Gail, “Performance Analysis of the IEEE 1394 Serial Bus,” *Performance Evaluation*, Vol.50, No.1, pp.1-26, October 2002.
- 5) 狩谷典之・北島宗雄・高木英明・張勇兵, Markov モデルを用いた e-コマースサイトの web デザイン評価, *電子情報通信学会論文誌 B*, Vol.J85-B, No.10, pp.1809-1812, 2002 年 10 月.
- 6) 北島宗雄・高木英明・山本哲生・張勇兵, 潜在意味解析 (LSA) を利用した Markov 連鎖モデルによる階層的メニュー探索過程の評価, *情報処理学会論文誌*, Vol.43, No.12, pp.3722-3732, 2002 年 12 月.
- 7) Y. Zhang, H. Takagi, K. Taira, and S. K. Das, “An Efficient Heuristic for Routing and Wavelength Assignment in Optical WDM Networks,” *ICC 2002*, New York City, April 28-May 2, 2002.

- 8) H. Takagi and De-An Wu, "Multiserver Queue with Semi-Markovian Batch Arrivals with Application to the MPEG Frame Sequence" SPIE's International Symposium ITCOM 2002, Internet Performance and Control of Network Systems III, Vol.4865, pp.178-189, Boston, Massachusetts, July 30-31, 2002.
- 9) R. M. Rodriguez-Dagnino and H. Takagi, "Counting Handovers and the Number of Talkspurts and Silence Periods in a Cellular Mobile Communication System" SPIE's International Symposium ITCOM 2002, Internet Performance and Control of Network Systems III, Vol.4865, pp.202-212, Boston, Massachusetts, July 30-31, 2002.

ii) その他

- 1) 五百井俊宏・西山寛志・布川薫・滝沢真幸・井沢澄雄・新谷勝利・高木英明, プロジェクトマネジメント成熟度モデル (PMMM) における 5W1H, プロジェクトマネジメント学会誌, 第4巻第4号, pp.27-31, 2002年8月.
- 2) H. Takagi, "Book review; Sanjay K. Bose, An Introduction to Queueing Systems, Kluwer Academic/Plenum Publishers, New York, 2002," Performance Evaluation, Vol.51, No.1, pp.75-77, January 2003.
- 3) De-An Wu and H. Takagi, "Multiserver Queue with Semi-Markovian Batch Arrivals with Application to the MPEG Frame Sequence" (半マルコフ集団到着を持つ複数サーバ待ち行列の解析とその MPEG フレーム列への応用), Technical Report of IEICE, IN2002-14 (信学技報 Vol.102, No.131), pp.13-18, Kyoto, Japan, June 21, 2002, 電子情報通信学会.
- 4) R. M. Rodriguez-Dagnino and H. Takagi, "Counting Handovers and the Number of Talkspurts and Silence Periods in a Cellular Mobile Communication System" (セルラ移動体通信網におけるハンドオーバーとトーク・サイレンス期間の数), Technical Report of IEICE, IN2002-23 (信学技報 Vol.102, No.132), pp.7-11, Kyoto, Japan, June 21, 2002, 電子情報通信学会.
- 5) J. H. Siregar, H. Takagi, and Y. Zhang, "Wavelength Allocation Heuristics in Large-Scale WDM Optical Networks," 待ち行列シンポジウム「確率モデルとその応用」報文集, pp.11-19, 静岡県掛川市, 2003年1月20-22日.
- 6) D. Wu and H. Takagi, "M/G/1 Queue with Multiple Working Vacations," 待ち行列シンポジウム「確率モデルとその応用」報文集, pp.51-60, 静岡県掛川市, 2003年1月20-22日.
- 7) Y. Sakaki and H. Takagi, "Performance Analysis of CSMA/CA Wireless LANs," 待ち行列シンポジウム「確率モデルとその応用」報文集, pp.144-152, 静岡県掛川市, 2003年1月20-22日.
- 8) D. Wu and H. Takagi, "Multiserver Queue with Semi-Markovian Batch Arrivals with Application to the MPEG Frame Sequence," Discussion Paper No.985, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, May 2002.
- 9) D. Wu and H. Takagi, "Multiserver Queue with Semi-Markovian Batch Plus Poisson Arrivals with Application to the MPEG Frame Sequence and Interfering Traffic," Discussion Paper No.992, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, June 2002.
- 10) D. Wu and H. Takagi, "M/G/1 with Multiple Working Vacations," Discussion Paper No.1005, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, August 2002.
- 11) D. Wu and H. Takagi, "Processor-Sharing and Random-Service Queues with Semi-

Markovian Arrivals,” Discussion Paper No.1023, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, February 2003.

12) Y. Sakaki and H. Takagi, “Performance Analysis of CSMA/CA Wireless LANs,” Discussion Paper No.1024, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, February 2003.

13) J. H. Siregar, H. Takagi, and Y. Zhang, “Fast Routing and Wavelength Assignment Heuristics for Large-Scale WDM Optical Networks,” Discussion Paper No.1028, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, March 2003.

(2) 学会活動

- 1) 学術論文誌 Performance Evaluation (Elsevier) 編集委員
- 2) 学術論文誌 Queueing Systems (Balzer) 編集委員
- 3) プロジェクトマネジメント学会 (任意団体) 評議員

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金, 基盤研究 (C)(2), 課題番号 13650443, 研究課題「インターネットのトラフィック源のモデル化と測定による検証」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 社会システム工学演習, システム情報数理演習, システム情報数理特別演習.

(2) 役職・各種委員会委員

全学： 副学長 (研究担当)

III. 社会的活動

- 1) (財) 国際科学振興財団 理事 (非常勤)
- 2) (認) 通信・放送機構 つくば情報通信研究開発支援センター 利用公募審査委員会委員長.
- 3) (財) 茨城県科学技術振興財団 国際学会等参加経費助成審査会・学会等開催費助成審査会委員

椿 広計

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 浅野美代子, 椿広計 (2002) 第2章回帰分析の諸問題, 美添泰人, 大瀧雅之編, 家計のミクロ統計分析, pp.45-56, Sinfonica 研究叢書 No. 9, 統計情報センター.

- 2) Yokota, T., Nakajima, H., Sugita, T., Tsubaki, H., Itou, Y., Kaji, M., Suzuki, M., Kanzawa, H., Park, J. H. and Sasano, Y.(2002) Improved Limb Atmospheric Spectrometer (ILAS) data retrieval algorithm for Version 5.20 gas profile products, Journal of Geophysical Research, Vol.107, No. D24, 8216, doi:10.1029/2001JD000628.
- 3) Asano, M., Tsubaki, H. and Yoshizawa, T. (2002) Effectiveness of neural networks to regression with structural changes, Journal of Applied Stochastic Models in Business and Industry, Vol.13, No. 3, pp.189-195.
- 4) Miyamoto, M. and Tsubaki, H. (2002) A linear mixed model for the hedonic pricing model, Journal of Applied Stochastic Model in Business and Industry, Vol.13, No.3, pp.259-270.
- 5) 椿 広計 (2002) 狩野論文へのコメントー「尺度化+回帰分析」の問題点に関する注意, 行動計量学, Vol.29, No.2, pp.167-173.
- 6) 浅野美代子, 椿 広計 (2002) ニューラルネットワークと線形回帰分析のハイブリッド解析法, 応用統計学, Vol.31, No.3, pp.227-238.
- 7) Kadono, Y. and Tsubaki, H.(2002) IT Management Effectiveness: Structural Model Analysis of Japanese Companies, Proc. PACIS 2002, pp.35-49.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 椿 広計 (2002) ビジネスは科学たりえるかービジネスの統計科学的側面, 第34回応用科学学会講演会.
- 2) 今野浩, 佐取朗, 新誠一, 椿広計, 吉住文衛, 小林彬 (2002) パネルディスカッション「研究・技術開発と企業」, 第34回応用科学学会講演会.
- 3) 椿広計, 岩崎正和 (2002) 推定方程式論の発展: 計量生物学からの発信ー複雑計量生物データからのブレイクスルー, 日本計量生物学会特別セッション「計量生物学が統計科学に与えた大きな貢献」, 2002年度統計関連学会連合大会講演報告集, pp.437-440.

iii) その他

- 1) 椿 広計 (2002) ビジネスは科学たりえるかービジネスの統計科学的側面, 応用科学学会誌, Vol.16, pp.26-30.
- 2) 椿 広計 (2002) 技術によるリスクとリスクのための技術, 応用科学学会誌, Vol.16, pp.48-49.
- 3) 椿 広計 (2003) ビジネスと統計科学, やさしい統計講座第1回, 日経広告手帖, Vol.47, No.1.
- 4) 椿 広計 (2003) 科学の文法のインパクト: 文藝は科学たりえたか, やさしい統計講座第2回, 日経広告手帖, Vol.47, No.2.
- 5) 椿 広計 (2003) データからビジネス法則を作る, やさしい統計講座第3回, 日経広告手帖, Vol.47, No.3.
- 6) 椿 広計 (2003) 奥野忠一先生を偲ぶ, 日本行動計量学会会報, No.96, pp.2-3.

(2) 学会活動

- 1) (社) 日本品質管理学会理事・標準委員会委員長・長期計画委員会委員
- 2) 応用統計学会理事・南関東地区を代表する評議員

- 3) 日本計量生物学会理事, 「臨床評価」誌編集委員
- 4) 横断型基幹科学技術学会連合モデルコンピューティング分科会幹事

(3) 研究助成など

- 1) 文部科学省科学研究費基盤研究 (B) 「企業の情報設備投資が経営効果に繋がる仕組みに関する計量的研究」
- 2) 東京三菱投資顧問 (受託研究) 「投資法の研究」
- 3) 富士通 FIP

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科： 統計モデル総論, 数理モデル I, 多変量解析, 統計的管理

(2) 役職・各種委員会委員

ビジネス科学研究科： 運営委員, 企業科学専攻 COE - WG

(3) 他大学における教育活動

- 1) 群馬大学大学院工学系研究科非常勤講師 「知識工学」
- 2) 東京理科大学大学院経営工学専攻医薬統計コース非常勤講師 「一般化線形モデル論」

III. 社会的活動

- 1) 経済産業省日本工業標準調査会臨時委員・電子技術委員会委員環境ワーキンググループ
主査
- 2) 総務省統計審議会専門委員
- 3) 総務省独立行政法人評価委員会専門委員
- 4) 厚生労働省薬事・食品衛生審議会臨時委員・再評価部会専門委員
- 5) 独立行政法人国立環境研究所客員研究員
- 6) 医薬品副作用救済機構臨時顧問
- 7) (社) 日本適合性認定協会評議員・環境技術委員会委員長
- 8) (社) 日本機械工業連合会標準化推進特別委員会委員・環境適合設計手法標準化分科会
主査
- 9) (財) 日本規格協会・環境管理規格審議委員会委員
- 10) (財) 日本規格協会電気電子分野の環境対応国際整合化調査委員会委員長
- 11) (社) 産業環境管理協会参与
- 12) (財) 日本科学技術連盟デミング賞委員会委員 (実施賞, 日経品質管理文献賞審査委員会)
- 13) 国際標準化機構第 69 専門委員会「統計的方法の適用」第 6 小委員会エキスパートメン
バー (第 6 小委員会国内対応分科会主査), 第 207 専門委員会「環境マネジメント」用語整
合化グループエキスパートメンバー
- 14) (財) 日本気象協会 ILAS-II 評価検討委員会委員

- 15) 「骨粗しょう症治療による骨折予防に関する試験」倫理モニタリング委員会委員長
- 16) 「統計科学と品質マネジメントー臨床評価を考える」, 第 23 回癌治療に関する医療統計勉強会.
- 17) 「中小企業の課題」, 第 7 回 JAB/ISO 14001 公開討論会予稿集, pp.39-49.
- 18) 「科学の文法ー統計科学の創生と発展」筑波大学附属駒場高校第 12 回数学特別講座

寺野 隆雄

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Yuji Katsumata, Setsuya Kurahashi and Takao Terano, We Need Multiple Solutions for Electric Equipments Configuration in a Power Plant - Applying Bayesian Optimization Algorithm with Tabu Search - WCCI 2002(The 2002 IEEE World Cngress on Computational Intelligence), pp.1402-1407, May 12-17,2002.
- 2) Kazuhiko Tsuda, Masayuki Kessoku and Takao Terano, Collecting Customers' Preference on The WEB by Document Analysis, Lecture Notes in Operations Research 4 (ISORA'2002), pp.294-301, June 1-4,2002.
- 3) Takao Terano, Setsuya Kurahashi and Yuji Katsumata, Hybridizing Genetic Algorithms and Tabu Search For Multimodal Function Optimization, Lecture Notes in Operations Research 4 (ISORA'2002), pp.283-293, June 1-4,2002.
- 4) Kazuhiko Tsuda, Takao Terano, Yasushi Kuno, Hiroaki Shirai and Hisatoshi Suzuki: A Compiler for Business Simulations:Toward Business Model Development by Yourselfs, Information Sciences 143,pp.99-114, 2002
- 5) Ken Taniguchi, Setsuya Kurahashi and Takao Terano, Managing Information Complexity of Supply Chains via Agent-Based Genetic Programming. in M. Ishizuka, A. Sattar (eds.), Proc. PRICAI 2002, Trend in Artificial Intelligence, Springer LNAI 2417, p. 596, 2002.
- 6) Takao Terano and Michael D. Myers (eds.): Proceedings of the 6th Pacific Asia Conference on Information Systems, September 2-4, 2002,(ISBN 4-9901340-0-1).
- 7) Takao Terano, Hiroshi Deguchi and Keiki Takadama (eds.), Proc. the Second International Workshop on Agent-Based Approaches in Economic and Social Complex Systems, 2002.
- 8) Masanori Inada and Takao Terano, Interactive Data Mining from Clinical Inspection Data, Proc. IEEE Int. Conf. on Systems, Man, and Cybernetics. TP1D2, 2002.
- 9) Kazuhiko Tsuda, Toshiki Hirano, Masakazu Takahashi and Takao Terano, 3-D Knowledge Structures for Customer Preference Transition, Proc. IEEE Int. Conf. on Systems, Man, and Cybernetics. WP1E1, 2002.
- 10) Masato Kobayashi, Atsuko Arai, Akemi Morikawa and Takao Terano, Human-Agent Participation via Software Agents for Business Modeling, Proc. IEEE Int. Conf. on Systems, Man, and Cybernetics.WP1E5, 2002.

- 11) Takao Terano and Masanori Inada, Data Mining from Clinical Kata Using Interactive Evolutionary Computation. in A. Ghosh and S. Tsutsui (eds.), Advances in Evolutionary Computing - Theory and Applications-, Springer, pp. 847-862, 2002.
- 12) 高橋 大志, 寺野 隆雄, エージェントシミュレーションによる GARCHモデルと Prospect 理論の関連性の分析. シミュレーション, 第 21 巻, 第 2 号, pp.55-64, June 2002.
- 13) 倉橋 節也, 寺野 隆雄: 学習分類子システムを用いたプロセス時系列のアクティブマイニング. 人工知能学会論文誌, 第 17 巻, 5 号, pp.638-646,2002. 9.
- 14) 稲田 政則, 寺野 隆雄: 肝機能検査データからの因果モデルの構築, 人工知能学会論文誌, 第 17 巻, 6 号, pp. 708-715, 2002. 11.
- 15) 勝又 勇治, 倉橋 節也, 寺野 隆雄: タブーリストを用いたベイジアン最適化アルゴリズムによる多峰性関数最適化. 情報処理学会論文誌: 数理モデルと応用, Vol. 43, pp.14-23, 2002.11.
- 16) 寺野 隆雄, 國上 真章: 社会経済システムとエージェントシミュレーション. 社会・経済システム, 第 23 号, pp.43-50, 2002.10.
- 17) 寺野 隆雄: 情報推薦システム. 北村, 山田 (編): e ビジネスの理論と応用, 東京電機大学出版会, pp.59-87, 2003.1.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 稲田 政則, 寺野 隆雄, メタ学習による肝機能検査データからの因果モデルの構築, 知識ベースシステム研究会 (第 56 回), 人工知能学会研究会資料 (SIG-KBS-A201), pp. 73-78, May 23-24, 2002
- 2) 倉橋 節也, 寺野 隆雄, 学習分類子システムを用いたプロセス時系列からのデータマイニング, 知識ベースシステム研究会 (第 56 回), 人工知能学会研究会資料 (SIG-KBS-A201), pp. 1-6, May 23-24, 2002
- 3) 小林 正人, 荒井 篤子, 森川 明美, 寺野 隆雄, ビジネスゲーム開発におけるエージェント技術の適用, 人工知能学会全国大会 (第 16 回) 論文集, pp.2-4, May 29-31, 2002.
- 4) 小林 正人, 寺野 隆雄, ソフトウェアエージェントを組み込んだビジネスゲーム, 日本シミュレーション and ゲーミング学会 2002 年度秋季全国大会発表論文集, pp.132-137, 2002.9.28・29.
- 5) 村上 英治, 寺野 隆雄, RFID を用いた分散情報提供システム: システム開発・展開の迅速化, 2002 年秋季経営情報学会予稿集, pp.174-177, 2002.11.
- 6) 国上 真章, 寺野 隆雄, 相互作用するエージェント集団の挙動と制御, エージェント合同シンポジウム 2002 講演論文集, pp.88-93, 2002.11.
- 7) 高橋 大志, 寺野 隆雄, エージェントモデルによる金融市場のミクロマクロ構造の分析: リスクマネジメントと資産価格変動, エージェント合同シンポジウム 2002 講演論文集, pp.94-101, 2002.11.
- 8) 村上 英治, 寺野 隆雄, 学習エージェントを用いた消費者購買における知識発見 エージェント, エージェント合同シンポジウム 2002 講演論文集, pp.448-452, 2002.11.
- 9) 富澤拓志, 稲垣伸吉, 喜多一, 寺野隆雄, 湯浅秀男, 出口広, 松木則夫, 澤田浩之, 小口裕司, 大橋俊夫, ロボット試作を事例としたオープン型ものづくりの調査 -中小企業連合モデルワーキンググループの取り組みから-, 計測自動制御学会第 27 回システム工学部会資料, pp.1-6,

2002.

- 10) 内藤 賢一, 寺野 隆雄, 進化計算を用いた企業シミュレーションの構築-シミュレーション結果における感度分析に向けて-, 情報処理学会知能と複雑系研究会報告, Vol. 2003, No.8, pp.133-138, 2003.1.
- 11) 國上 真章, 寺野 隆雄, 相互作用するエージェント集団の挙動と制御, 計測自動制御学会第 28 回システム工学部会資料, pp.67-72, 2003.3.
- 12) 小林 正人, 寺野 隆雄, ビジネスゲームにおける学習エージェント, 計測自動制御学会第 28 回システム工学部会資料, pp.73-78, 2003.3.
- 13) 森川 明美, 寺野 隆雄, エージェントプレーヤーを用いたビジネスゲームのチューニング, 計測自動制御学会第 28 回システム工学部会資料, pp.79-84, 2003.3.
- 14) 稲田 政則, 寺野 隆雄, 複数のデータベースからの知識発見-肝機能検査データに関する因果モデルの比較と評価-, 人工知能学会第 52 回人工知能基礎論研究会, 第 60 回知識ベースシステム研究会, pp.171-176, 2003.3.
- 15) 森川 明美, 寺野 隆雄, エージェントとヒューマンプレーヤーの分析に基づくビジネスゲーム開発, 計測自動制御学会第 30 回知能システムシンポジウム資料, pp.43-48, 2003.3.
- 16) 内藤 賢一, 寺野 隆雄, 市場競争のエージェントシミュレータと遺伝的アルゴリズムによる評価, 計測自動制御学会第 30 回知能システムシンポジウム資料, pp.49-54, 2003.3.
- 17) 村上 英治 寺野 隆雄, プラントライフサイクルにおける知識管理のための支援システム. 計測自動制御学会第 30 回知能システムシンポジウム資料, pp.137-140,2003.3.

iii) その他

- 1) Setsuya Kuraishi and Takao Terano, Inverse Simulation and Genetics-Based Validation for Social Interaction Analysis via Multiagents, UCLA Computational Social Sciences Conf. in Lake Arrowhead, No.100 , May 9-12,2002.
- 2) Takao Terano, Hiroshi Deguchi, Hajime Kita, Yoshinori Shiozawa, Rober Axtell, Kathleen M.Carley, Maksim Tsvetovat, Hiroshi Sato, Hiroyuki Matsui and Isao Ono, UMIE2002:U-Mart International Experiment 2002-What We have Learnt from the Virtual Market-, Proc. CASOS 2002, 2002.6
- 3) Hiroshi Takahashi and Takao Terano, Bridging GARCH Model and Prospect Theory: Financial Market Behaviors Via Agent-Based Simulation, Eighth International Conference of The Society for Computational Economics, 2002.6.
- 4) Hiroshi Takahashi and Takao Terano, Non-Rational Agents Explain GARCH Model: Agent Simulation for Behavioral Finance, Proc. AAI 2002 Workshop on Multi-Agent Modeling and Simulation of Economic Systems, pp. 34-39, 2002
- 5) Taku Geho and Takao Terano, Finding Web Navigation Structures by Cost-based User Behaviors, The 6th SANKEN International Symposium, pp.65-66, 2003.3
- 6) Hiroshi Takahashi and Takao Terano, Analyzing Micro-Macro Structures in a Financial Market via Agent-Based Simulation, The Second Lake Arrowhead Conference on Human Complex Systems, No.12, 2003.3.
- 7) Atsuko Arai and Takao Terano, Money, Competition, or Policy, How to Motivate Young Agent-Based Modeling, The Second Lake Arrowhead

Conference on Human Complex Systems, No.40, 2003.3.

- 8) Masato Kobayashi and Takao Terano, Human- and Software-Agent Integration for Analyzing Business Decision Making, The Second Lake Arrowhead Conference on Human Complex Systems, No.34, 2003.3
- 9) 寺野 隆雄, データマイニングの展望, 計測と制御, 第41巻, 第5号, pp.315 - 318, 2002.5月
- 10) 寺野 隆雄, エージェントで金融市場をみる, 第8回総合研究大学院国際シンポジウム, pp.16-17, 2003.3

(2) 学会活動

- 1) 計測自動制御学会：知能システム部会委員, システム情報部門長
- 2) 日本機械学会：RC194 プラントエンジニアリングにおける知的統合システム化技術研究分科会委員
- 3) 社会情報学会：学会誌編集委員
- 4) 電子情報通信学会：人工知能と知識処理研究会委員
- 5) PACIS2002(Pacific-Asian Conference on Information Systems) プログラム委員長
- 6) PRICAI2002 (Pacific Asian Conference on Artificial Intelligence) ローカルアレンジメント委員長
- 7) PACIS2003(Pacific-Asian Conference on Information Systems) ステアリングコミッティ委員
- 8) PRICAI2003 (Pacific Asian Conference on Artificial Intelligence) ローカルアレンジメント委員長
- 9) PAKDD2003(Pacific Asian Conference on Knowledge Discovery and Data mining) ステアリングコミッティ委員
- 10) IEEE ICDM2002(International Conference on Data Mining) プログラム委員
- 11) AISC2002(Agent-Based Approach to Economic and Social Complex Systems) 大会委員長

(3) 研究助成など

- 1) 特定領域研究 (情報学) 「WEB コンテンツ情報に基づくリコメンダー技法の開発」 研究代表者
- 2) 特定領域研究 (アクティブマイニング) 「ヒューマン・システム・インタラクションに基づく知識の評価と選択」 研究分担者 (代表：大澤幸生助教授)
- 3) 基盤研究 (B) (2) 「多主体複雑系に基づくエージェント社会モデルの構築と適用」 研究代表者
- 4) 基盤研究 (B)(1) 「デジタル・ミュージアムにおける参加型創造学習システム」 研究分担者 (代表：橋爪宏達 (情報学研究所))
- 5) 基盤研究 (B)(1) 「多主体複雑系として見た経営組織とそのマネジメントの研究」 研究分担者 (代表：高木春夫 (慶応大学))
- 6) 基盤研究 (C) 企画調査 「人工社会組織研究とゲーミングシミュレーション研究の融合に

による研究展開」研究分担者（代表：新井潔（千葉工業大学））

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科：分散知能論，システムマネジメント特別演習，システムマネジメント講究，社会コミュニケーション，社会コミュニケーション輪講

(2) 役職・各種委員会委員

ビジネス科学研究科：企業科学専攻専攻長，運営委員

(3) 他大学における教育活動

1) 北陸先端科学技術大学大学院 知識科学研究科 客員教授

土井 正幸

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 『交通経済学』東洋経済新報社，2002年12月。
- 2) "Dual Labor Market and Trade Reform in China", The Journal of Policy Reform, Vol.5, No.2, June 2002, pp. 101-113.
- 3) "Trade and Factor Market Reforms in China", Labour, Vol.16, No.3, September 2002, pp.537-555.
- 4) "An Analysis of Cargo Transportation Behaviour in Kita Kanto (Japan)," International Journal of Transport Economics, Vol.29, No.3, October 2002, pp.319-335.
- 5) "Shippers' Port and Carrier Selection Behaviour in China: A Discrete Choice Analysis," The International Journal of Maritime Economics, Vol.5, No.1, March 2003, pp.23-29.
- 6) 「中国の港湾整備，管理・運営効率化と経済発展」,『港湾経済研究』, 日本港湾経済学会年報, No.41, pp.14-28, 2003年3月。

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) The Fifth Conference on Global Economics Analysis (Taipei, Taiwan)(June 2002) 発表
- 2) 環太平洋産業連関分析学会研究発表大会（2002年11月西南学院大学）発表
- 3) 日本港湾経済学会研究発表大会（2002年8月札幌厚生年金会館）発表
- 4) 応用地域学会研究発表大会（2002年12月岡山大学）発表

iii) その他

- 1) "A CGE Analysis of Potential Impact of IT on the Japanese Economy," Papers in the Fifth Conference on Global Economic Analysis, Taipei, Taiwan, 8D-14-8D-33 (Regular Paper Sessions, Session 8D, June 7, 2002).

- 2) "Trade and Factor Market Reforms in China," Papers in the Fifth Conference on Global Economic Analysis, Taipei, Taiwan, 1A-1-1A-16 (Regular Paper Sessions, Session 1A, June 7, 2002).
- 3) "An Analysis of Household Leisure and Shopping Behavior in Ibaraki Prefecture", 『平成14年度多目的統計データバンク年報』筑波大学社会工学系 多目的統計データバンク報告書, No.79, pp. 35-61, 2003年3月。

(2) 学会活動

- 1) 応用地域学会運営委員
- 2) 環太平洋産業連関分析学会運営委員
- 3) 日本交通学会評議員, 学会賞審査委員
- 4) 日本港湾経済学会年報編集副委員長, 広報システム委員長
- 5) 日本海運経済学会評議員
- 6) Managing Editor, Review of Urban and Regional Development Studies
- 7) Editor, Journal of Applied Input-Output Analysis

(3) 研究助成など

- 1) 文部科学省科学研究費基盤研究 (B) (2), 研究代表者
- 2) 筑波大学学内プロジェクト助成研究 (A), 研究代表者

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：交通経済学特論

経営・政策科学研究科：交通経済政策論, 地域経済学

社会工学類：地域経済学, 交通経済学, Introduction to Urban and Regional Planning, 地域科学演習 III

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系：運営委員

経営・政策科学研究科：運営委員

社会工学類：予算委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 流通経済大学非常勤講師

III. 社会的活動

- 1) 茨城県港湾審議会委員
- 2) 国際協力事業団支援委員会委員
- 3) 国土交通省, 日本港湾協会, 茨城県, つくば市等, 各種調査・研究委員会の委員

永井 裕久

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 永井裕久「国際人事」『ニューリーダーの組織論-企業のダイナミズムを引き出す-』（加藤茂夫編著）10章，泉文堂.
- 2) 永井裕久「日本人派遣者の異文化適応の促進要因-53カ国・地域を対象とした適応段階・次元ごとの比較分析」『日本労務学会誌』4巻2号 pp.43-52, 2002年.
- 3) Nagai, H, D. Jack (2002)“Comparison of Cross-Cultural Adjustments between Japanese and American Expatriates ?Affects to Job Satisfaction and Willingness for Future Assignments- Proceedings: Association of International Business Southeast Asia Regional conference, pp.1-12.

(2) 学会活動

- 1) レフェリー：日本労務学会
- 2) レフェリー：経営行動科学学会

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金（基盤研究B）「グローバルプロトコル構築に向けた営業職の商交渉行動に関する国際比較調査」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科： 人材開発，人的資源管理と法，ロフェッショナル人材，ジョイントプログラムII

(2) 役職・各種委員会委員

ビジネス科学研究科： 経営システム科学専攻広報・渉外担当

III. 社会的活動

- 1) 国際協力事業団講師
- 2) 日経連国際人事センターアドバイザー兼講師
- 3) 日本ものづくり，人づくり機構第5部会副部会長

中村 豊

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Nakamura, Yutaka (2002) Real interval representations. *Journal of Mathematical Psychology* 46, 140-177.
- 2) Nakamura, Yutaka (2003) Semimetric thresholds for finite posets. *Mathematical Social Sciences* 44, 37-43.
- 3) Nakamura, Yutaka (2002) Lexicographic quasilinear utility. *Journal of Mathematical Economics* 37, 157-178.
- 4) Nakamura, Yutaka (2002) Additive utilities on densely ordered sets. *Journal of Mathematical Psychology* 46, 515-530.

ii) その他

- 1) Nakamura, Yutaka (2002) Trichotomous preferences for gambles.
- 2) Nakamura, Yutaka (2002) Comparative probability with additive threshold.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 決定と不確実性特論

経営・政策科学研究科： 意思決定論，数学 II

社会工学類： 数理経済学，社会経済実習

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： 学系運営委員，ファカルティセミナー委員委員長

経営・政策科学研究科： 予算委員委員長

社会工学類： カリキュラム委員

橋本 昭洋

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Hashimoto, A. and Wu, D.-A., A DEA-CP model for comprehensive ranking. Revised, *Inst. Policy & Plann. Sci., Univ. Tsukuba*, 2003.

(2) 学会活動

- 1) 査読 *Review of Urban & Regional Development Studies* 誌

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： システム評価特論

経営・政策科学研究科： システム評価決定論, 数理計画実習

社会工学類： 意思決定分析, 社会経済実習, 総合演習

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： 社会工学系長

(3) 他大学における教育活動

1) 図書館情報大学非常勤講師 数理計画法

藤原 良叔

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) R. Fuji-Hara, Y Miao, S.Kuriki and S.Shinohara, Balanced nested designs and balanced n -ary designs, Journal of Statistical Planning and Influence, 106 pp.57-67 (2002)
- 2) R. Fuji-Hara , Y.Miao and S.Shinohara, Complete Set of disjoint difference families and their applications, Journal of Statistical Planning and Influence 106 , 87-103 (2002)
- 3) R. Fuji-Hara and Y. Miao , A note on a geometrical construction of (t,m,s) -net and ordered orthogonal arrays, Journal of Codes , Design and Cryptograph, 26 pp257-263 (2002)
- 4) R. Fuji-Hara, S. Kageyama, S. Kuriki, Y. Miao and S. Shinohara, Balanced Nested designs and Balanced Arrays , Discrete Mathematics, 259, pp 91-119 (2002)
- 5) Y. Chang, R. Fuji-Hara and Y. Miao, Combinatorial Constructions of Optimal Optical Orthogonal Codes with Weight 4 , IEEE Information Theory Vol.49, No.5 pp.1283-1292 (2003)

(2) 学会活動

- 1) Foundation Fellow : Institute of Combinatorics and its Applications
- 2) Editorial Board : Journal of Combinatorial Mathematics and Combinatorial Computing, Winnipeg Canada
- 3) Council member : Institute of Combinatorics and its Applications
- 4) レフリーイング, AMS レビューイング, 研究集会座長等

(3) 研究助成など

- 1) 受託研究「家電ネットワークの規格化に関する研究」
- 2) 科学研究費補助 (B展開研究) (2)「デリバティブ価格計算のための超一様分布列の構成に関する研究」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 情報離散数学特講

経営・政策科学研究科： 情報離散数学特講

社会工学類： 社工情報処理実習3、シミュレーション

古川 俊一

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 『自治体変革の現実と政策』（共編著，毛受敏浩；執筆者：古川俊一，田村秀，金川幸司，沼尾波子，柏崎千佳子，中村円，毛受敏浩）中央法規，2002年。執筆担当分：まえがき，序論，第1章。
- 2) 『公共経営と情報通信技術』（共編著，NTTデータ システム科学研究所；執筆者：古川俊一，梶山信也，中川慶一郎，古田正雄，大村修，生田目崇），NTT出版，2002年。執筆分担：まえがき，第1章，第2章，第1部のまとめ
- 3) 『住民参政制度』（編著，執筆者：古川俊一，久保田治朗，高原剛，安田充，橋本勇，池田昭義，石津廣司，伊東健次）ぎょうせい，2002年。まえがき，第1章
- 4) 「公共部門における評価の理論・類型・課題」『公共政策研究』第2号，2002年，pp. 12 - 25.
- 5) 「NPMレジームにおける自治体職員の意識構造-評価の受容態度と制度設計-」『行政管理研究』101号，2003年3月，pp. 3 - 18.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 「地域政策と公共経営- 21世紀の政策形成-」日本地域政策学会，高崎経済大学，2002年5月26日
- 2) 「公共部門における評価活動の受容態度と制度設計」日本地方財政学会2002年6月2日，中央大学（八王子）
- 3) 「NPMレジームと職員の意識行動」日本公共政策学会，関西大学，2002年6月9日
- 4) "The Role of the Public Sector and the Public-Private Partnership," presented at the 2002 US-Japan Local Autonomy Forum (Public-Private Partnership" in Regional Development: A Look at Japan and the United States), New York, New York, November 14th and 15th, 2002.
- 5) 「計画は死んだか？計画行政再訪：計画概念の変容と耐性」日本自治学会，桃山学院大学，2002年11月24日
- 6) "Is Japan's Public Management a New Public Management? New Local Governance," 2002 CLAIR Forum, Wellington, New Zealand, December 6, 2002.
- 7) 「異種の評価レジームはどう使うか：理論の発展と実務的統合の可能性」日本評価学会，成蹊大学，2002年12月8日

- 8) 「計画はなお有効か？計画概念の耐久性と変容」第4回政策メッセ個人研究報告，政策分析ネットワーク，明治大学，2003年1月12日

(2) 学会活動

- 1) International Institute of Administrative Sciences レフェリー
- 2) American Political Science Association
- 3) 日本行政学会レフェリー
- 4) 日本政治学会
- 5) 日本計画行政学会
- 6) 日本地方財政学会
- 7) 国際公会計学会（常務理事）
- 8) 日本公共政策学会（企画委員，レフェリー）
- 9) 地方自治経営学会（理事）
- 10) 日本NPO学会
- 11) 日本評価学会理事（学会誌編集委員会副委員長，レフェリー）
- 12) 日本比較政治学会

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 比較行政システム特論

経営・政策科学研究科： 行政学，公共政策評価論，比較行政システム特論

社会工学類： 地方行財政論，社会システム論

(2) 役職・各種委員会委員

全学： 就職委員会委員，留学生連絡協議会委員

社会工学系： 図書委員長

経営・政策科学研究科： 入試実施委員（委員長）

社会工学類： 入試実施委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 慶應大学法学部（行政管理論，地方自治論）
- 2) 政策研究大学院大学客員教授

III. 社会的活動

- 1) 総務省「地方公共団体行政評価研究会」委員（座長）
- 2) 消防庁「消防組織のあり方に関する研究会」委員
- 3) 国土交通省道路行政マネジメント研究会委員長，
- 4) 地方公務員災害補償基金運営審議会委員
- 5) 国際協力事業団外部有識者委員会委員（業績評価小委員会委員長）

- 6) 神奈川県政策評価システム検討委員会委員長
- 7) 静岡県行政改革会議委員,
- 8) 横須賀市都市政策研究所専門委員
- 9) 杉並区行政評価検討委員会委員 (会長)
- 10) 茨城県「公共事業再評価委員会」委員
- 11) 財団法人 消防設備安全センター国際消防協力推進委員会委員
- 12) 総務省自治大学校講義 (監査委員事務局職員, 第1部)
- 13) 国際協力事業団地方行政コース集団研修講師

星野 靖雄

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) “Effects of Ownership and Internalization Advantages on Performance: A Comparative Study of Japanese Manufacturing and Service Subsidiaries in the United States and Latin America”, Japanese Journal of Administrative Science, with Cristian Vega-Cespedes, Vol.16 No.2, 2002, pp.163-177.
- 2) “The Impact of M & As on Shareholder Wealth: evidence from Taiwanese Corporations, The Developing Economies, with Yeh Tsung-Ming, Vol. XL, No.4, 2002, 553-563.
- 3) “Further Study on the Performance of Mergers among Credit Associations in Japan”, Review of Pacific Basin Financial Markets and Policies, with Stephen J. Turnbull, Vol. 5 No.3, 2002, pp.395-416.
- 4) わが国の医薬品卸売業における合併効果, 日本経営診断学会論集 2, 経営パラダイムシフトの診断-新経営システムの提言-, 所収, 畑宏尚と共著 2002年, 1-12頁。
- 5) 在日外資系企業の進出形態と収益性, 東京家政学院筑波女子大学紀要, 王彦人と共著, 第7号 2003年 3月, 179-198頁。

(2) 学会活動

- 1) 経営行動科学学会研究担当理事 兼「経営行動科学」編集委員長
- 2) The Japanese Economy 誌の諮問委員会の委員として編集活動にあたった。
- 3) Journal of Financial Management and Analysis: International Review of Finance, Review of Pacific Basin Financial Markets and Policies の編集委員会の委員として編集活動にあたった。
- 4) 同上誌および Review of Quantitative Accounting and Finance のレフェリーを行った。
- 5) 国際ビジネス研究学会幹事

(3) 研究助成など

- 1) 平成14年度科学研究費補助金 (基盤研究 (c) (2)) 「国際的買収, 合併, 合弁, 全額出資の経営効果についての実証的研究」を実施した。

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 経営管理特論

ビジネス科学研究科： 経営学特論

経営・政策科学研究科： 経営管理論

社会工学類： 経営管理論

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： 予算委員長

社会工学類： 予算委員

(3) 他大学における教育活動

1) 東京家政学院筑波女子大学国際学部国際ビジネス論・短期大学部経営学総論担当非常勤講師

2) 名古屋外国語大学国際経営学部国際経営戦略論担当非常勤講師

松尾 博文

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

1) Y. Takeda and H. Matsuo, "ECR: a 'fresh' look from Japan" ECR Journal, Vol. 2, No. 2, Winter 2002, 17-27.

2) 宮下和雄, 松尾博文, 柏瀬広幸, 大規模ロバスト生産方式と超高速シミュレーション, スケジューリング・シンポジウム2002 講演論文集, 大阪, 2002, 72-77.

ii) その他

1) 松尾博文, ビジネスモデル: 特集にあたって, オペレーションズ・リサーチ, Vol. 47, No. 8, 2002, 492.

2) 松尾博文, 米国にみるサプライチェーンマネジメントの事例とその考察, 戦略・マネジメント研究成果報告書, 山田郁夫編, 日本オペレーションズ・リサーチ学会創立40周年記念事業統合オペレーション特別研究プロジェクト, 2003, 31-36.

3) 松尾博文, 高度ネットワークを用いたビジネスモデルの開発と研究, 平成12年度-14年度 筑波大学学内プロジェクト 特別助成研究(S) 研究成果報告書, 2003, 545p.

(2) 学会活動

1) Area Editor, Production and Operations Management

2) Editorial Board, Manufacturing and Service Operations Management

3) Editorial Board, ECR Journal International Commerce Review

4) Editorial Board, Asian Journal of Operations Management

- 5) Guest Editor, ビジネスモデル特集号, オペレーションズ・リサーチ, Vol. 47, No. 8, 2002
- 6) 日本オペレーションズ・リサーチ学会「統合オペレーション」特別研究プロジェクト「戦略・マネージメント」研究グループ運営委員
- 7) 学内特別助成研究 (S) の活動として, ビジネスモデルの研究開発に関する産官学の研究会, 筑波大学ビジネスモデルプロジェクト (UTBUMP, 代表者松尾博文) を運営する。

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金基盤研究 (C) (2) ”サプライチェーンにおける革新的なビジネスモデルの構築,” 研究代表者
- 2) 奨学寄付金, ”e コミュニティーに関する研究”, 日立製作所システム開発研究所
- 3) 学内特別助成研究 (S) ”高度ネットワークを用いたビジネスモデルの開発と研究,” 研究代表者

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 生産流通情報システム特論

経営・政策科学研究科： 生産流通戦略論, 経営演習 II

社会工学類： 経営工学概論

(2) 役職・各種委員会委員

全学： 大学 (部局) 間交流協定締結校連絡調整責任者：ウィーン経済・経営大学

システム情報工学研究科： 計量ファイナンス・マネジメント専攻長

経営・政策科学研究科： MBA コース担当

III. 社会的活動

- 1) 研究開発指導, 日立製作所

松田 紀之

I. 研究活動

(1) 研究助成など

- 1) 学内プロジェクト「感性評価構造モデル構築特別プロジェクト」運営委員
- 2) 消費者の無糖茶評価／購入決定支援システムの開発ーサントリー (株)
- 3) 中高年者の選好を効率的に抽出する Probing 手法に関する研究」ー資生堂 (株)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 多変量解析特論

経営・政策科学研究科： 心理情報分析

社会工学類： 情報行動分析

(2) 役職・各種委員会委員

全学： 教育審議会委員

経営・政策科学研究科： 研究科々長

III. 社会的活動

1) 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員, 1999.1-2002.12, 海外学術調査人文社会科学系小委員会

2) 講演=シンポジウム「おいしさ創出の新パラダイム」2002.12.12, 産業科学システムズ

宮越 龍義

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

1) ARCH versus Information-Based Variances:Evidence from the Tokyo Stock Market, 単著, 2002.4, Japan and the World Economy, Vol.14, No.2

2) Real Exchange Rate Determination: Empirical Observations from East-Asian Countries, 単著 2003.1, Empirical Economics, Vol.28, No.1

3) Designs of pension management with the rapid aging, (with Kamoike, O.), 2003, 1. Applied Economics Letters, Vol.10, No.3.

4) 日本の銀行業における地域格差?1983年度と1999年度の比較分析を通じて, 佃氏との共著 2003.1, 研究年報経済学(東北大学経済学会) 第64巻3号

5) Spillovers of stock return volatility to Asia equity markets from Japan and the US, 単著, Journal of International Financial Markets, Institutions and Money, forthcoming, August, 2002

6) A testing of the purchasing power parity hypothesis using a vector autoregressive model, 単著, Empirical Economics, forthcoming, March, 2003

ii) 学会での口頭発表・講演等

1) Pensions and Work-sharing, 2002年6月, 日本経済学会春季大会, 単著

2) Regional Growth and Regional Financial Intermediation:Evidence at the Japanese prefectural level, 2002年WEA conference at Seattle, 共著

3) EGARCH Variance Structures and News: the Six Asian Emerging Markets, 2002.11, at Kuala Lumpur, 単著

(2) 学会活動

1) 金融経済研究(日本金融学会)編集専門委員

2) 日本経済学会理事

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費基盤研究(C)-(2)「日本金融不況の実態・評価・課題」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 計量ファイナンス特論
経営・政策科学研究科： ファイナンス実践, 金融分析
社会工学類： 金融論, 経済学入門

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： 研究担当委員
社会工学類： 就職委員長, 防災委員・4年クラス担任

(3) 他大学における教育活動

- 1) 非常勤講師 (新潟大学)

門田 安弘

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 「原価計算：第2版」税務経理協会，2002年6月刊。（単著）
- 2) 「経営・会計の実証分析入門－SPSSによる企業モデル分析－」中央経済社.2003年1月刊。（単著）
- 3) 「組織構造と管理会計」税務経理協会，2003年2月刊。（単編著）
- 4) The Relationship between Mini Profit-Center and JIT System, International Journal of Production Economics. Vol.80 No.2 2002. pp.145-154.（単著）
- 5) 事業評価と管理者評価への日本的特色の導入,『会計プロGRESS』No.3, 2002. pp.22-30.（単著）

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 2002年5月9日（木）名古屋工業大学にて招待講演「トヨタ生産方式をめぐる最近の話題」を行なった。（OR学会の特設G2「ジャストインタイム生産システム」研究グループ（大野勝久教授主査）と経営工学会中部支部の「ジャストインタイム研究会」（田村隆善教授主査）との共催の研究会）
 - ・ The Relationship between mini profit-center system and JIT system
 - ・ Business models of Japanese auto companies using internetの2つについて研究発表を行なった。
- 2) 日本管理会計学会全国大会（横浜市立大学）において、「組織構造と管理会計」テーマセッションで主査として報告と司会を行なった。2002/09/10

- 3) 日本管理会計研究学会 企業調査研究コンファレンスにおいて特別講演を行なった。演題「統計ソフトによる管理会計の実証研究への招待」2002/11/9

iii) その他

- 1) 事業部制解体と子会社再編による企業価値経営－松下電器を事例として－、『企業会計』Vol.54 No.10 2002年10月号, pp.4-13. (単著)
- 2) 日本経営工学会編「生産管理用語辞典」日本規格協会, 2002年3月刊 において, 次の13項目を執筆した。ABC, アクティビティ, アメーバ経営, キャッシュフロー, キャッシュフロー経営, コストセンター, コストドライバー, コストプール, スループット会計, バックフラッシュ・コストニング, フリーキャッシュフロー, プロフィットセンター, ミニプロフィットセンター。
- 3) 黒田 充・門田安弘・森戸 晋監訳「生産・製造管理大辞典」(朝倉書店) (Encyclopedia of Production and Manufacturing Management (Kluwer Academic Publishers, 2000)) の翻訳で, 「JIT 革命と米国における適用」他について 900 字詰め原稿用紙 16 枚を執筆した。

(2) 学会活動

- 1) 日本会計研究学会より門田を委員長とする下記の特別委員会の発足を委嘱された。平成14年度～平成15年度 特別委員会門田安弘 「企業価値と組織再編に関する研究」2002/11/10に筑波大学大塚校舎で第1回の会合をもった。2002/12/23に筑波大学大塚校舎で第2回の会合(研究発表会)をもった。2003/3/18に筑波大学大塚校舎で第3回の会合(研究発表会)をもった。
- 2) 日本管理会計学会 企業調査研究プロジェクト総括委員会委員長
- 3) Asian Management Accounting Forum (九州大学国際研究交流プラザにて)に参加した。2002/11/2～11/3。福岡市
- 4) Encyclopedia of Production and Manufacturing Management (Kluwer Academic Publishers, 2000) の翻訳のために, 黒田 充・門田安弘・森戸 晋監訳「生産・製造管理大辞典」(朝倉書店)を企画し, 会計学・製造業の経営・人事の3分野に分担翻訳者を割当てた。
- 5) International Journal of Production Research の査読を2件行った。
- 6) 日本管理会計学会 企業調査研究プロジェクトとして戦略的プロセス管理専門委員会の活動で, 松下電器産業株式会社と長浜キャノン株式会社に訪問調査した (2/20/2003～2/21/2003)。
- 7) 台湾の3国立大学からの招待講演 (2003/03/10～03/16) : 国立中正大学 (台湾嘉義県民雄郷三興村 160 号) 国立政治大学 (台湾台北市指南路二段 64 号) 国立台湾大学 (台湾台北市大安区基隆路四段 144 巷 50 号 6 楼) そのテーマは, いずれも”Valuation of Business and Evaluation of Managers: Their global Standard and Japanese Models.”

(3) 研究助成など

- 1) 平成14年度科学研究費補助金, 基盤研究(B)(1)「組織構造のデザインに対応した業績評価会計の開発に関する研究」(課題番号12553002) 研究代表者(本研究は, 研究代表者の他に, 12名の研究分担者を含む共同研究プロジェクトである。3年にわたる研究の第3年度)
- 2) 平成14年度科学研究費補助金, 基盤研究(B)(2)「連結企業集団における事業組織再編のための管理会計システムの実証研究」(課題番号12430030) 研究代表者(3年にわたる研

究の第3年度)

3) 日本会計研究学会より平成14年度特別委員会への研究助成金を委員長として受けた。

(4) その他

1) 第42版 人事興信録(創立100周年記念版)(興信データ株式会社, 2002年)に履歴資料が掲載された。

2) "Who's Who in Finance and Industry, 33rd Edition, 2002-2003" (Marquis Who's Who)に経歴データが掲載された。

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科: 管理会計学演習

経営・政策科学研究科: 管理会計学

社会工学類: 会計学概論, 経営計画

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系: 総務委員会委員長

社会工学類: 就職委員会委員長

(3) 他大学における教育活動

1) 1. 立命館アジア太平洋国際大学 アジア太平洋マネジメント学部, Japanese Production Management (日本の生産システム論) 2002年8月5~8日(英語による集中講義: 1コマ95分授業を15コマ)

III. 社会的活動

1) 平成14年度公認会計士試験第2次試験委員として短答式および論述式問題の作成に従事した。(2001年11月~2002年10月)

2) 平成15年度公認会計士試験第2次試験委員に従事(2002年11月~現在)

焼田 党

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

1) Money, Human Capital, and Growth, FinanzArchiv, Vol. 58, No. 3, July, 2002.

2) Taxation and Growth with Overlapping Generations, Journal of Public Economics, Vol. 87, No. 3-4, March, 2003.

(2) 学会活動

1) レフェリー: Journal of Macroeconomics

- 2) レフェリー：Scandinavian Journal of Economics

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

中京大学にて： 経済数学, ミクロ経済学, 現代経済学（経済学部）, 理論経済学, 財政学（大学院経済学研究科）

(2) 他大学における教育活動

- 1) 名古屋大学情報文化学部
- 2) 四日市大学総合政策学部

山田 直志

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) "The Demand for Health Check-ups under Uncertainty," in Transitions in Employment and Firm Benefit Policies in Japan and the United States, Forthcoming 2003, Eds. David A. Wise, Seiritsu Ogura and Toshiaki Tachibanaki. Chicago: University of Chicago Press, (Tadashi Yamada and Tetsuji Yamada).
- 2) "Equity in the Distribution of Health Care Utilization: Evidence from China Health Care Reform Experiment," Social Science & Medicine, Vol. 55, 2002, pp. 1779-1794 (Gordon G. Liu, Zhongyun Zhao, Renhua Cai, Tetsuji Yamada and Tadashi Yamada).
- 3) 「健康診断の需要と不確実性」, 小椋正立・デービッド・ワイズ編『【日米比較】医療制度改革』, (日本経済新聞社, 2002年), 161頁- 200頁。
- 4) "Hospital Services under a National Health Insurance System: Transition from a Fee-for-service to a Capitation System," in The Economics of Health Care in Asian-Pacific Countries, 2002, pp. 213-238, Eds. Teh-Wei Hu and Chee-Ruey Hsieh, Edward Elgar Publishing, U.K., (Tetsuji Yamada, Tadashi Yamada, Seiritsu Ogura and Reiko Suzuki).
- 5) "Regulated Drug Pricing and Hospital Efficiency in Japan," University of Tsukuba, Institute of Policy and Planning Sciences (IPPS), Discussion Paper Series, No. 1014. December 2002, pp. 1-36 (Tetsuji Yamada and Tadashi Yamada).

i) 学会での口頭発表・講演等

- 1) Comment on "Demand for Nicotine Substitute" by Ogura, Seiritsu, et al., Japanese Economic Association, Otaru, Hokkaido, June 15, 2002.
- 2) "Does Having Life Insurance Increase the Risk of Sickness?" Institute of Social and Economic Research, Osaka University, June 5 2002, and Graduate School of Political Economy, University of Tsukuba, May 29, 2002.

(2) 学会活動

- 1) 労働市場研究委員会

2) レフリィー:社会保障研究

(3) 研究助成など

1) 科研費：基盤研究（C）研究課題名：高齢者医療の部分的定額制導入と医療セクター及びマクロ経済システムへの影響

II. 教育・業務活動

(1) 役職・各種委員会委員

全学： 就職委員会委員

社会工学系： 施設委員

社会工学類： カリキュラム委員， コンピュータ委員

山本 芳嗣

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) S.Y. Wang, Y. Yamamoto and M. Yu, "A minimax rule for portfolio selection in frictional markets," *Mathematical Methods of Operations Research* 57 (2003) 141-155.
- 2) M. Shigeno, I. Takahashi and Y. Yamamoto, "Minimum maximal flow problem - An optimization over the efficient set -," *Journal of Global Optimization* 25 (2003) 425-443.
- 3) Y.C. Jiao, Y. Yamamoto, C. Dang and Y. Hao, "An aftertreatment technique for improving the accuracy of Adomian's decomposition method," *Computers and Mathematics with Applications* 43 (2002) 783-798.

ii) その他

- 1) N.v. Thoai, Y. Yamamoto and A. Yoshise, "Global optimization method for solving mathematical programs with linear complementarity constraints," *Discussion Paper 987*, University of Tsukuba (May 2002)

(2) 学会活動

- 1) Optimization and Engineering 編集委員
- 2) 日本オペレーションズリサーチ学会評議員

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 数理計画特論 1， 数理計画特論 2

経営・政策科学研究科： 数学 2， 数理計画

社会工学類： 経営工学概論， 社会工学概論実習， 自由演習， 計算機科学

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： 運営委員

システム情報工学研究科： 運営委員，論文審査委員，論文管理委員

経営・政策科学研究科： 修士論文委員会委員長

吉澤 正

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Asano, M., Tsubaki, H. & Yoshizawa, T.(2002): Effectiveness of neural networks to regression with structural changes. Applied Stochastic Models in Business and Industry, 2002, 18, 189-195.
- 2) 小浦孝三・吉澤 正 (2003): 世界の品質賞審査項目およびISO9001におけるTQM要素の研究. 品質, 33, 2, pp.73-85.
- 3) 小浦孝三・吉澤 正 (2003): 世界的品質賞の因子構造に関する比較分析. 品質, 33, 2, pp.86-96.

ii) その他

- 1) OR学会誌ほかに論説

(2) 学会活動

- 1) プロジェクトマネジメント学会副会長・理事

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科： 品質経営総論，環境経営総論，プロジェクトマネジメント，環境・社会マネジメントシステム，プロジェクトマネジメント研究

(2) 役職・各種委員会委員

ビジネス科学研究科： 図書委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 中央大学非常勤講師
- 2) 上智大学非常勤講師

III. 社会的活動

- 1) 経済産業省日本工業標準調査会適性評価部会委員
- 2) 環境管理規格審議委員会副委員長
- 3) 日本適合性認定協会環境部会委員長

- 4) 日本統計協会理事, 全国統計連合会理事

吉田 あつし

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Yoshida, A. and A. Gauriglia, "Estimating Saving Functions in the Presence of Excessive-zeros Problems," *The Econometrics Journal*, vol.5, pp.417-438, 2002.

ii) その他

- 1) 書評:「市場中心主義への挑戦:人口減少の衝撃と日本経済」石水喜夫著
- 2) 吉田あつし・川村顕,「被保険者のモラルハザードと医師の代理者機能: 97年自己負担率改定における歯科のケース」, 筑波大学社会工学系 DP, no.1025
- 3) 吉田あつし,「産業競争力ー地域の競争優位性」,『ヌーベル・エポック』12号, 関西社会経済研究所
- 4) 吉田あつし,「割り当てと課徴金ー入院医療費抑制の試みと経済厚生」, 多目的データバンク年報, pp.63-83, 筑波大学社会工学系

(2) 学会活動

- 1) *Journal of Urban Economics*, レフェリー
- 2) 「社会保障研究」レフェリー
- 3) 「応用地域学研究」レフェリー

(3) 研究助成など

- 1) 文部科学省科研費:「医療・介護サービス需要と供給の計量分析」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科: 都市経済学特論
経営・政策科学研究科: 都市経済学, 都市計画演習
社会工学類: 都市経済学, 都市構造論

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学類: コンピュータ委員, 入試委員

III. 社会的活動

- 1) 2002年度「産業競争力強化に関する調査研究」委員, 報告書を作成, (財) 関西社会経済研究所

吉田 健一

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) K. Yoshida and A. Sakurai, Machine Learning, In Encyclopedia of Information Systems, Academic Press, Vol 3, pp 103-114.
- 2) K. Yoshida and K. Hashimoto, AI application of the Internet - Backgrounds and Issues -, Workshop on AI application of the Internet (SAINT2003)
- 3) S. Katsuno, K. Yamazaki, T. Kubo, T. Asami, K. Sugauchi, O. Tsunehiro, H. Enomoto, K. Yoshida and H. Esaki, High-speed IP meter HIM and its Application in LAN/WAN environments, 電子情報通信学会 英文誌 D, Special Issue on New Technologies in the Internet and their Applications, Vol.E85-D No.8 p.1241.
- 4) 勝野 聡, 菅内 公德, 常弘 敦, 久保 孝弘, 吉田 健一, 江崎 浩, Traffic measurement and analysis of an internet access network and a large conference site, 情報処理学会 研究報告 Vol 2003, No12, pp. 81-86

(2) 学会活動

- 1) IEEE CS & IPSJ, International Symposium on Applications and the Internet 2003, Financial Chair
- 2) 電子情報通信学会 情報・システム ソサエティ インターネット時限研究会 委員長
- 3) 情報処理学会 高品質インターネット研究会 幹事

(3) 研究助成など

- 1) 平成 14 年度 特定領域研究 (2), ヒューマンインタラクションに基づく知識の評価と選択, 研究分担者
- 2) 平成 14 年度 特定領域研究 (2), Web コンテンツ情報に基づくリコメンダー技法の開発, 研究分担者

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科： 計算機科学基礎 I/II, 情報ネットワーク, ネットワーク設計論, 情報セキュリティマネジメント

吉田 雅敏

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Optimal Taxation of Elderly Care Services, Japanese Economic Review 2002 (forthcoming), 共著.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) Incidence of Consumption Tax and Tax Treatment of Elderly Care Expenditures (2003), 共著, 明治学院大学ワークショップ.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 財政システム特論

経営・政策科学研究科： 財政学

社会工学類： 経済原論, マクロ経済学, 財政学

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： ファカルティセミナー委員

経営・政策科学研究科： 入試実施委員

第3学群： 運教員会議構成員

社会工学類： 運営委員, カリキュラム戦略委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 明海大学大学院経済学研究科 (非常勤講師)

吉武 博通

I. 教育・業務活動

(1) 他大学における教育活動

- 1) 警察庁警察大学校非常勤講師

II. 社会的活動

- 1) 新日本製鐵株式会社ステンレス事業部光製鉄所総務部長 (2003年3月31日まで)

- 2) N B P 中国株式会社代表取締役社長 (同上)

- 3) 株式会社ステンレス光代表取締役社長 (同上)

- 4) 山口県ソフトウェアセンター株式会社取締役 (同上)

- 5) 山口県経営者協会税制研究会委員
- 6) 山口県ワークシェアリング研究会委員
- 7) 市町村職員中央研修所講師 他

イリチュ (佐藤) 美佳

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) M. Sato-Ilic, Dynamic Fuzzy Clustering using Fuzzy Cluster Loading, Intelligent Engineering Systems through Artificial Neural Networks, Vol. 12, pp. 309-314, 2002.
- 2) M. Sato-Ilic, Fuzzy Cluster Loading for 3-way Data, Soft Computing and Industry - Recent Applications-, pp. 349-360, 2002.
- 3) M. Sato-Ilic, Fuzzy Regression Analysis using Fuzzy Clustering, NAFIPS-FLINT 2002 International Conference, pp. 57-62, 2002.
- 4) M. Sato-Ilic, Fuzzy Cluster Structure based Weighted Principal Component Analysis, 5th Czech-Japan Seminar on Data Analysis and Decision Making under Uncertainty, pp. 97-102, 2002.
- 5) M. Sato-Ilic and T. Matsuoka, On an Application of Fuzzy Clustering for Weighted Regression Analysis, The 4th Conference of the Asian Regional Section of the International Association for Statistical Computing, pp. 55-58, 2002.
- 6) M. Sato-Ilic, On Kernel based Fuzzy Cluster Loading, The Forth International Conference Intelligent Processing and Manufacturing of Materials, 2003.
- 7) 佐藤美佳, カーネル法に基づくファジィクラスター負荷量について, 2002年度統計関連学会連合大会講演報告集, pp. 253-254, 2002.
- 8) 佐藤美佳, ファジィクラスターリング評価とその応用, 2002年度統計数理研究所プロジェクト研究「統計科学情報の高度利用」, 2003.
- 9) 松岡孝, 佐藤美佳, 地理的重み付き重回帰分析におけるファジィクラスターリングを用いた重み推定, 第18回ファジィワークショップ講演論文集, pp. 5-8, 2002.
- 10) 豊田智隆, 佐藤美佳, バイプロットの視覚表現を用いたファジィクラスターリング評価, 第18回ファジィワークショップ講演論文集, pp. 9-12, 2002.
- 11) 山本真吾, 佐藤美佳, ファジィ推論におけるルール数の減少法, 第18回ファジィワークショップ講演論文集, pp. 21-24, 2002.
- 12) 河村允誉, 佐藤美佳, 意志決定モデルにおける Aggregation Operator, 第18回ファジィワークショップ講演論文集, pp. 45-48, 2002.
- 13) 伊藤健一, 佐藤美佳, 区間データに対するクラスターリング, 第2回ソフトコンピューティング若手研究会講演論文集, pp. 2-1, 2-6, 2003.

(2) 学会活動

- 1) 日本計算機統計学会広報理事
- 2) 日本分類学会運営委員
- 3) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 I A O R 委員
- 4) 日本ファジィ学会関東支部幹事
- 5) IEEE Transaction on Fuzzy Systems, レフェリー

- 6) International Journal of Uncertainty, Fuzziness and Knowledge-Based Systems, レフェリー
- 7) SCIS2002, レフェリー
- 8) SCI2002, レフェリー
- 9) 日本ファジィ学会誌, レフェリー
- 10) 計算機統計学, レフェリー

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： リスク工学特別演習, モデル分析特論
 経営・政策科学研究科： 多変量解析実習, シミュレーション実習
 社会工学類： 経営工学実習, 数理統計学

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科： FD 委員会委員
 経営・政策科学研究科： 修士論文委員会委員
 社会工学類： 学生担当教官, カリキュラム委員会委員

大澤 幸生

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 松村真宏, 大澤幸生, 石塚満: テキストによるコミュニケーションにおける影響の普及モデル, 人工知能学会論文誌 Vol.17 No.3, Vol.17, No.3, pp.259-267, J-STAGE [http://tjsai.jstage.jst.go.jp/ja/\(2002\)](http://tjsai.jstage.jst.go.jp/ja/(2002))
- 2) 平博司, 福島伸一, 大澤幸生, 伊庭斉志, 石塚満: AreaView2001:WWW からの構造化した領域総覧提示システム, 人工知能学会論文誌 Vol.17 No.3, J-STAGE [http://tjsai.jstage.jst.go.jp/ja/\(2002\)](http://tjsai.jstage.jst.go.jp/ja/(2002))
- 3) Naohiro Matsumura, Yutaka Matsuo, Yukio Ohsawa and Mitsuru Ishizuka: Discovering Emerging Topics from WWW, Journal of Contingencies and Crisis Management, Vol.10, No.2 pp.73-81 (June 2002)
- 4) Yukio Ohsawa: KeyGraph as Risk Explorer from Earthquake Sequence, Journal of Contingencies and Crisis Management, Vol.10, No.3, pp.119-128 (2002)
- 5) Yukio Ohsawa and Hisashi Fukuda: Chance Discovery by Stimulated Group of People - An Application to Understanding Rare Consumption of Food -, Journal of Contingencies and Crisis Management Vol.10, No.3, pp.129-138 (2002)
- 6) 松尾豊・大澤幸生・石塚満: Small World 構造に基づく文書からのキーワード抽出, 情報処理学会論文誌 Vol.43, No.6, pp.1825-1833 (2002)
- 7) 松村真宏・大澤幸生・石塚満: 語の活性度に基づくキーワード抽出法, 人工知能学会論文誌 Vol.17, No.4, pp.398-406 J-STAGE [http://tjsai.jstage.jst.go.jp/ja/ \(2002\)](http://tjsai.jstage.jst.go.jp/ja/ (2002))

- 8) Yukio Ohsawa and Yumiko Nara: Decision Process Modeling across Internet and Real World by Double Helical Model of Chance Discovery, New Generation Computing (Springer Verlag and Ohmsha), Vol.21 No.2, pp.109-122, (2003)
- 9) Naohiro Matsumura, Yukio Ohsawa and Mitsuru Ishizuka, PAI: Automatic Indexing for Extracting Asserted Keywords from a Document, New Generation Computing (Springer Verlag and Ohmsha), Vol.21 No.1, pp.37-48 (2002)
- 10) Yutaka Matsuo, Yukio Ohsawa and Mitsuru Ishizuka, Average-clicks: A New Measure of Distance on the World Wide Web, Intelligent Information Systems Journal (Kluwer), Vol.21, No.1, pp.51-62 (2002)
- 11) 松尾豊・大澤幸生・石塚満：ユーザの心理的距離に則した Web ページ間の新しい距離の定義, 情報処理学会 Vol.44. No.1, pp. (2003)
- 12) 土屋俊・中島秀之・橋田浩一・松原仁・大澤幸生・高間康史 編「AI 事典」共立出版(2003)
- 13) 大澤幸生・角 康之・松原 繁夫・西村 俊和【著】・北村 泰彦【編著】・山田 誠二【編】 情報社会とデジタルコミュニティ-インターネットの知的情報技術 東京電機大学出版局 (2002)

(2) 学会活動

- 1) Program Committee, The Third International Workshop on Chance Discovery (2002)
- 2) The Chair of the AAAI Fall Symposium on Chance Discovery (2002)
- 3) 人工知能学会・学会誌・論文誌 編集委員 (2003)
- 4) 人工知能学会・人工知能基礎論研究会 運営委員・幹事 (2003)
- 5) 電子情報通信学会・人工知能研究会 連絡委員 (2003)

(3) 研究助成など

- 1) 文部科学省科学研究費・特定領域研究 B「アクティブマイニング」における計画研究として、「ヒューマン・システムインタラクションに基づく知識の評価と選択」研究代表者
- 2) 科学技術振興事業団さきがけ研究 2 1・「自然現象・社会動向の予兆発見と利用」個人研究者

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科： 情報システム特論，データマイニング，データマイニング輪講

III. 社会的活動

- 1) コミュニティのためのチャンス発見ワークショップ・主査： (株) 博報堂の主催
- 2) (財) 日本科学技術連盟・多変量解析シンポジウム 講演「人のチャンス発見プロセスにおける情報視覚化と KeyGraph」 (2002)
- 3) Invited talk in the IEEE Intel. Sympo. on Intelligent Control , Understanding Internet Users on Double Helical Model of Chance Discovery Process(2002)
- 4) Yukio Ohsawa and David E. Goldberg, Tutorial, in the 7 th Pacific Rim International

Conference on Artificial Intelligence (PRICAI2002) "AI for Discovering Chances in Business" (August 2002, Tokyo)

太田 充

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 太田 充, 「疑似二次元空間における複数都心構造に関する研究」, 第16回応用地域学会研究発表大会, 於 岡山大学 (口頭発表)

(2) 学会活動

- 1) 査読委員 (日本都市計画学会 2編, 日本地域学会 1編, 北海道都市学会 1編)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 地域科学特論

経営・政策科学研究科： 都市地域計画, シミュレーション実習

社会工学類： 経済立地論, 社工情報処理実習 1, 地域科学演習 II

(2) 役職・各種委員会委員

全学： 外国人留学生後援会理事

社会工学類： 学生担当教官, 1年担任

III. 社会的活動

- 1) 財団法人 電源地域振興センター 平成14年度 企業導入促進調査に係る業種特性調査 (地域資源活用型産業育成の方策に係る調査) 委員会委員

岡本 直久

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 交差点における排出ガス量推計のための車両挙動特性分析：土木計画学研究・論文集第19号, No.1, 831頁～838頁, 共著 (古屋秀樹, 金山直司, 石田東生, 岡本直久：4人)；2002年
- 2) 街区道路における危険事象の要因分析：日本都市計画学会学術研究論文集第37号, 139頁～144頁, 共著 (古屋秀樹, 坂下修, 岡本直久, 石田東生：4人)；2002年
- 3) プローブカーデータの取得特性分析：第1回 ITS シンポジウム 2002 Proceedings, 197頁～202頁, 共著 (石田東生, 岡本直久, 鈴木完, 牧村和彦, 中嶋康博：5人)；2002年
- 4) 時系列データを用いた国際コンテナ荷主の行動と貨物流動予測分析：交通学研究 2002年研究年報, 61頁～70頁, 共著 (上野潤, 岡本直久：2人)；2003年

(2) 学会活動

- 1) 土木学会土木計画学研究委員会委員兼幹事
- 2) Eastern Asia Society for Transportation Studies, Secretariat

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費若手研究 (B) : 地方コンテナ港湾に焦点をあてたコンテナ貨物需要予測モデルに関する研究

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科 : プロジェクト評価特論

経営・政策科学研究科 : 交通システム計画, 情報科学演習

社会工学類 : 情報基礎及び実習, 都市データ分析, 地域科学演習 I

(2) 他大学における教育活動

- 1) 青山学院大学大学第二部経営学部非常勤講師 観光論担当
- 2) 島根県立大学非常勤講師 地域経済論担当

III. 社会的活動

- 1) 龍ヶ崎市都市交通マスタープラン策定委員会副委員長

金澤 雄一郎

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Myojo S., Kanazawa Y.: "Pricing automobile to reflect their perceived quality differentials in the U.S. automobile market. SURVEY RESPONSES: THE CASE OF JAPANESE VOTERS ON PARTY SUPPORT," 2002 ASA Proceedings: Spring Research Conference on Statistics in Industry & Technology, Ann Arbor, Michigan, 2002)
- 2) Yuma Y., Kanazawa Y.: "Evaluating the Relative Effectiveness of Training School Program to Community-based Program on Japanese Juvenile Delinquents." 統計的領域推定とそれに関連する手法の開発とその応用, シンポジウム講演集, 27-39, 2002

(2) 学会活動

- 1) Journal of Royal Statistical Society Series B レフェリー
- 2) Psychometrika レフェリー

(3) 研究助成など

- 1) 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C)(2) 第 12680310, 一般化線形モデルにおける無視できない非応答問題の研究

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 統計学特論 I, 統計学特論 II

経営・政策科学研究科： 統計学 II

社会工学類： 応用統計学

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学類： 入試実施委員, クラス担任

桑嶋 健一

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 桑嶋健一「新製品開発研究の変遷」『赤門マネジメント・レビュー』Vol.1, No.6, pp. 463-496, <http://www.gbrc.jp>, 2002 年.
- 2) 藤本隆宏・桑嶋健一「機能性化学と 21 世紀のわが国製造業-アーキテクチャ論と 製品開発論の視点から-」機能性化学産業研究会編『機能性化学-価値提案型産業への挑戦-』化学工業日報, pp.87-143, 2002 年.
- 3) 桑嶋健一「製品開発管理」藤本隆宏編『生産・技術システム』八千代出版, pp.219-246, 2003 年.
- 4) 桑嶋健一・小田切宏之「医薬品産業」後藤晃・小田切宏之編『日本の産業システム 第 3 巻 サイエンス型産業』NTT 出版, pp.352-403, 2003 年.

(2) 学会活動

- 1) 組織学会 大会委員 企画委員
- 2) 研究・技術計画学会 評議委員
- 3) 組織学会『組織科学』レフェリー

(3) 研究助成など

- 1) 文部科学省科学研究費・若手研究 (B)「製薬産業の研究開発における組織能力の蓄積プロセスと企業戦略」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科： 経営学基礎, 経営戦略, 研究開発戦略, 経営戦略総論

III. 社会的活動

- 1) 文部科学省科学技術政策研究所客員研究官
- 2) 特定非営利活動法人グローバルビジネスリサーチセンター研究員

- 3) DIA (Drug Information Association) The First Workshop for Project Management
プログラム委員

小林 信一

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 小林信一, 「解題に代えて—なぜS T Sなのか, なぜ政治論的転回なのか」, 『公共のための科学技術』(小林傳司編, pp.279-86, 玉川大学出版部, 2002.11.
- 2) 小林信一, 「サイエンス型産業と大学, 産学連携, スピンオフ」, 『サイエンス型産業』(後藤晃・小田切宏之編), pp.101-132, NTT出版, 2003.03
- 3) 小林信一, レギュラトリ・サイエンスの必要性, 日本リスク研究学会誌, Vol.13, No.2, pp.11-16, 2002.06.
- 4) 小林信一, 大学の研究評価のゆくえ, IDE・現代の高等教育, 442, pp.42-46, 2002.09. 3) Jiang Wen and Shin-ichi Kobayashi, Impacts of government high-tech policy: a case study of CAD technology in China, Journal of Engineering and Technology Management, Vol.19, No.3/4, pp.321-342, 2002.09.
- 5) Kobayashi, S., Expanding the role of engineers in the Society, The 6th NAEK Joint symposium and Roundtable meeting of Engineering Academies, pp.11-27, 2002.10.

(2) 学会活動

- 1) 研究・技術計画学会 評議員
- 2) 日本高等教育学会 学会誌編集委員
- 3) International Conference on Technology Policy and Innovation - 6th, Local Organizing Committee 委員

(3) 研究助成など

- 1) 受託研究 「GMOの社会的受容を深めるための方策に関する研究」(農水省)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科: 技術開発戦略

III. 社会的活動

- 1) 文部科学省科学技術政策研究所総括主任研究官(併任)

猿渡 康文

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) データ構造, 応用数理計画ハンドブック, 第2章基礎理論, 朝倉書店, 2002.
- 2) グラフ理論, 応用数理計画ハンドブック, 第2章基礎理論, 朝倉書店, 2002.
- 3) 発展 – 非2部グラフ上のマッチング問題, 応用数理計画ハンドブック, 第9章ネットワーク計画, 朝倉書店, 2002.
- 4) 枝巡回路問題, 応用数理計画ハンドブック, 朝倉書店, 2002.
- 5) Solving Sports Scheduling Problems using Network Structure, Proceedings of the 4th International Conference on the Practice and Theory of Automated Timetabling, pp. 331–334, 2002.

ii) その他

- 1) Solving Sports Scheduling Problems using Network Structure, Proceedings of the 4th International Conference on the Practice and Theory of Automated Timetabling, pp. 331–334, Gent, Belgium, 2002.
- 2) Sports Scheduling Problems based on Networks, Abstracts of IFORS 2002, The Sixteenth Triennial Conference of the International Federation of Operational Research Societies, pp. 46, Edingburgh, UK, 2002.
- 3) 政策資産配分策定モデル, 2002年秋季研究発表会アブストラクト集, pp. 244-245, 日本オペレーションズ・リサーチ学会, 平成14年9月11日–12日.
- 4) An Analysis of Contagion in Emerging Currency Markets using Multivariate Extreme Value Theory, 2002年秋季研究発表会アブストラクト集, pp. 248–249, 日本オペレーションズ・リサーチ学会, 平成14年9月11日–12日.
- 5) Random Graph Herding Model – Application for Emerging Currency Markets, 第2回日経エコノフィジックス研究会・シンポジウム, 日本経済新聞社, 2002年11月12日–24日.
- 6) An Analysis of Contagion in Emerging Currency Markets using Multivariate Extreme Value Theory, IMES Discussion Paper, 2002-E-19, 日本銀行金融研究所, 2002.

(2) 学会活動

- 1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 庶務幹事

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費補助金奨励研究 (A) 「最適化理論のスポーツマネジメントへの適用」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科： ロジスティクス, 数理モデル I, 計画数理, プロジェクト計画, ビジネス創造演習 II, ビジネス創造演習 III, ビジネスマネジメント研究 I, ロジスティクスとネットワーク輪講 I, 同 II, 同 III, トータルロジスティクス

白波瀬 佐和子

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 白波瀬佐和子 2002年5月「少子高齢化と男女共同参画社会」金子勇編著『高齢化と少子社会』ミネルヴァ書房, 73~98 ページ
- 2) Sawako Shirahase. 2002. "A Study of Income Inequality for Households with Elderly Members: Comparison among Industrial Nations." Japan Labor Bulletin Vol. 41 No.12: 7-10.
- 3) Sawako Shirahase. 2002. "Women's Working Pattern and the Support to Working Mothers in Contemporary Japan." National Institute of Population and Social Security Research Working Paper Series No. 14.
- 4) 松浦克巳・白波瀬佐和子 2002年「既婚女性の就労決定と子育て-これからの社会保障政策に向けて-」『季刊社会保障研究』第 38 巻第 3 号, 188~198 ページ
- 5) 白波瀬佐和子 2003年3月「福祉国家レジームと世帯内性別役割分業-ジェンダーからみた比較福祉国家試論」『海外社会保障研究』No.142, 65~77 ページ

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) Sawako Shirahase. April 2002. "Japanese Income Inequality by Household Type in Comparative Perspective." International Sociological Association, Research Committee 28, University of Oxford, U.K.
- 2) 白波瀬佐和子 2002年9月 「母親の就業継続と子育て支援」第12回日本家族社会学会, 東京学芸大学
- 3) 白波瀬佐和子 2002年11月 「成人未婚子のいる世帯-経済的格差との関連から-」第75回日本社会学会, 大阪大学
- 4) Sawako Shirahase. March 2003. "Wife's Economic Contribution to the Household Income in Cross-national Perspective" International Sociological Association, Research Committee 28, University of Tokyo, Japan.

(2) 学会活動

- 1) レフェリー: British Journal of Sociology, 『家族社会学研究』
- 2) 国際社会学会・社会階層と移動部門 (International Sociological Association, Research Committee 28) 東京ミーティング企画委員

(3) 研究助成など

- 1) 厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業「介護サービスと世帯・地域との関係に関する実証研究」(主任研究者)
- 2) 厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業「家族構造や就労形態等の変化に対応した社会保障のあり方に関する総合的研究」(分担研究者)
- 3) 厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業「社会経済変化に対応する公的年金制度のあり方に関する実証研究」(分担研究者)
- 4) 厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業「『世代とジェンダー』の視点からみた少子高齢社会に関する国際比較研究」(分担研究者)

(4) 受賞

- 1) 日本労働研究機構 労働関係論文優秀賞 「日本の所得格差と高齢者世帯-国際比較の観点から」『日本労働研究雑誌』(2002年2・3月号)

II. 教育・業務活動

(1) 他大学における教育活動

- 1) 東京工業大学非常勤講師 (2002年後期) 担当科目「人間学概論」

III. 社会的活動

- 1) 内閣府政策研究会 要介護等の高齢者の指標づくり作業部会委員
- 2) Abe Fellowship Colloquium (安倍フェローシップ・プログラム, 国際交流基金) November, 2002. "Working Mothers and Childcare Support in Japan."
- 3) マンスフィールド太平洋問題研究所 February 2003. "Working Mothers with Small Children in Japan and the United States."

鈴木 勉

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 鈴木 勉:「フロー需要に基づく施設配置モデルと需要構成が施設配置に与える影響」, 『都市計画論文集』, Vol.37, pp.115-120, 2002.

ii) その他

- 1) Tsutomu Suzuki and M. John Hodgson: "Optimal Facility Location with Multi-purpose Tripmaking," presented at the 9th International Symposium on Locational Decisions (ISOLDE IX), Fredericton & St. Andrews, Canada, June 12-18, 2002.
- 2) 江村竜哉・鈴木 勉:「旅行者の観光周遊行動に着目した観光地連携策の検証」, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-1, pp.113-114, 2002.
- 3) 鈴木 勉:「線分都市におけるフロー捕捉型施設の最適配置」, 『日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会アブストラクト集』, pp.152-153, 2002.

- 4) Tsutomu Suzuki and M. John Hodgson: "Optimal Facility Location with Multipurpose Trip Making," presented at the Third International Conference on Decision Making in Urban and Civil Engineering (DMinUCE-3), London, UK, November 6-8, 2002.
- 5) Tsutomu Suzuki and M. John Hodgson: "Optimal Facility Location with Multipurpose Trip Making," presented at the Institute for Operations Research and Management Science (INFORMS) Annual Meeting San Jose, November 17-20, 2002.

(2) 学会活動

- 1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 IAOR 委員会委員
- 2) 日本応用数理学会論文誌査読委員
- 3) 日本都市計画学会学術委員会査読委員
- 4) 日本建築学会論文集査読委員
- 5) Referee, Annals of Operations Research

(3) 研究助成など

- 1) 日本学術振興会外国人招へい研究者（短期） 「都市空間構造変化の把握における Flow-Capturing モデルの応用に関する研究」, M. John Hodgson 教授（カナダ・アルバータ大学）
- 2) 大林都市研究振興財団国際交流助成 「周遊行動を考慮した都市施設配置の適正化に関する研究」
- 3) 文部科学省国際研究集会派遣研究員（平成 14 年度第 2 期） 第 3 回都市・土木工学における意思決定に関する国際会議
- 4) 筑波大学学内プロジェクト研究（実地調査等研究） 「先進自治体における救急医療サービスの運用実態とサービス水準に関する調査」
- 5) 筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻教育関係経費（共同研究） 「災害時における避難場所の収容力と飽和リスクに関する研究」
- 6) 日本学術振興会科学研究費（基盤研究 (B)） 「移動から見た都市空間の分析」（分担）
- 7) 日本学術振興会科学研究費（基盤研究 (B)） 「持続的な都市農村混合空間形成のための緑地整序に関する研究」（分担）
- 8) 運輸施設整備事業団 運輸分野における基礎的研究推進制度 「大都市における火山灰災害の影響予測評価に関する研究」（分担）
- 9) 文部科学省 大都市大震災軽減化特別プロジェクト 「大震災時における最適消防力運用」（分担）

(4) 受賞

- 1) 2002 年度 日本応用数理学会 論文賞（応用部門）, Paper Prize awarded by the Japan Society for Industrial and Applied Mathematics

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 都市成長管理論演習，都市機能リスク論，都市リスク分析演習，リスク工学特別演習

環境科学研究科： 環境総合実習

社会工学類： 都市計画実習 I，立地解析，自由演習（都市モデル入門）

総合科目： 都市・地域・環境を探る

(2) 役職・各種委員会委員

全学： 交流協定（韓国国土研究院）連絡責任者

社会工学系： 施設委員会委員

社会工学類： カリキュラム委員会委員

III. 社会的活動

- 1) 文部科学省 科学技術政策研究所 科学技術動向研究センター 専門調査員
- 2) 国土交通省 国土技術政策総合研究所 市街地の再生技術に関する研究 都市構造 WG 主査
- 3) 環境省 環境保全型交通体系 (EST) 実現方策に関する調査研究会 委員
- 4) 「コンパクトシティをめぐる議論」，国土交通省 新たな木造密集市街地整備手法検討会 講演，2002年5月28日.
- 5) 「多目的トリップ行動が施設配置に与える影響」，筑波大学社会工学系 ファカルティセミナー 講演，2002年7月16日.
- 6) 「空間的意思決定問題とリスク工学」，筑波大学大学院博士課程システム情報工学研究科リスク工学専攻 第5回リスク工学研究会 (RERM) 講演，2002年11月29日.

鈴木 秀男

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 鈴木秀男，宮田知明，「サービス・クオリティとロイヤルティの構造に関する分析 -ファーストフード業を事例にして-」，日本経営工学会論文誌，2002，Vol.53，No.1， pp.72-79.
- 2) 佐野夏樹，鈴木秀男，「工程に自己相関がある場合の分散モニタリング管理図 -ブートストラップ法を用いて」，品質，2002，Vol.32，No.3，pp.75-87.
- 3) Hideo Suzuki, “Process Control Using Classification Trees with Boosting”, IFORS2002, Edinburgh, 8-12 July, 2002.
- 4) Rita Arauz and Hideo Suzuki, “ISO 9000 Performance: Effects of Firm Size in Japanese Industries”, The Proceeding of 16th Asia Quality Symposium (Part 3), 2002, pp.270-281.

(2) 学会活動

- 1) 日本品質管理学会投稿論文審査委員会委員

2) 日本品質管理学会国際委員会委員

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費(奨励研究A, 代表)「ブースティングを用いた判別手法とその品質管理・マーケティングへの応用」
- 2) 筑波大学学内プロジェクト(奨励研究)「ブースティング方式の提案と汎化誤差の評価」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 統計解析特論

経営・政策科学研究科： 品質管理

社会工学類： 社会工学概論及び実習, 経営工学実習, 品質管理

(2) 役職・各種委員会委員

経営・政策科学研究科： 募集委員会委員

社会工学類： カリキュラム委員会委員委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 東京経済大学非常勤講師
- 2) 明治大学非常勤講師

高崎 善人

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Takasaki, Yoshito, Bradford L. Barham, and Oliver T. Coomes. forthcoming. “Risk coping strategies in tropical forests: floods, illness, and resource extraction,” *Environment and Development Economics*.
- 2) Coomes, Oliver T., Bradford L. Barham, and Yoshito Takasaki. forthcoming. “Targeting conservation-development initiatives in tropical forests: insights from analyses of rain forest use and economic reliance among Amazonian peasants,” *Ecological Economics*.
- 3) “Risk coping strategies in tropical forests: floods, asset inequality, and natural resource extraction,” *The Second World Congress of Environmental and Resource Economists*, Monterey, USA, 2002.

(2) 学会活動

- 1) Referee, *Environment and Development Economics*
- 2) Referee, *Journal of Environmental Economics and Management*

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金「東南アジア熱帯雨林におけるコミュニティと持続的開発」
- 2) 松下国際財団研究助成「アマゾン熱帯雨林における持続的開発のミクロ的検証：農業政策の森林破壊と土壌破壊への影響」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

人文社会科学部研究科： 環境経済学，経済発展論演習 II
国際総合学類： 経済発展論，環境経済学，フレッシュマンセミナー
総合科目： 世界の中の日本

(2) 役職・各種委員会委員

人文社会科学部研究科： 世界銀行等プログラム委員会委員
国際総合学類： 就職委員会委員，学類誌委員会委員，コンピュータ・LAN 委員会委員

III. 社会的活動

- 1) Member, FASID-GRIPS Development Strategy Research Program

竹原 均

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 竹原 均, 「ダウンサイドリスクフレームワークでのマネジャー構造最適化」 Journal of Operations Research Society of Japan, Vol. 41 (2002) 508-529.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 日本ファイナンス学会第 10 回大会「ダウンサイドリスク, Conditional Value-at-Risk とリスクバジュッティング」
- 2) 日本ファイナンス学会第 10 回大会 "The Impact of Fund Turnover on Japanese Mutual Fund Performance"
- 3) 日本ファイナンス学会第 10 回大会 "Common Risk Factors vs. Mispricing Factor of Tokyo Stock Exchange Firms: Inquiries into the Fundamental Price Derived from Analysts' Earnings Forecasts"
- 4) IFORS 2002, "Risk Budgeting in a Downside Risk Framework"
- 5) MPT フォーラム, 「アセットプライシングの視点から見た株式パッシブ運用とスタイル管理」
- 6) 日本経営財務研究学会, "Cost of Capital for Japanese Firms: Inquiries into the Economic Dynamics and Taxation"
- 7) 神戸大学 RIEB セミナー, 日本オペレーションズ・リサーチ学会金融工学部会, 「会計発生高及びその構成要素の株価への影響の分析」

iii) その他

- 1) 竹原 均, 「Conditional Value-at-Risk を用いたリスク管理手法の開発」, 『年金総合研究センター平成 13 年度報告書』(2002).

(2) 学会活動

- 1) 日本ファイナンス学会理事
- 2) 日本ファイナンス学会研究観望会代表幹事
- 3) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 IAOR 編集委員

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 投資パフォーマンス評価特論
経営・政策科学研究科： ファイナンス理論 I
社会工学類： ファイナンス I, 経営工学実習

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科： 計算機運用委員, 入試実施委員
社会工学類： 運営幹事

(3) 他大学における教育活動

- 1) 青山学院大学大学院国際マネジメント研究科非常勤講師 (「ポートフォリオ・マネジメント」担当.)
- 2) 神戸大学経済経営研究所客員研究員

III. 社会的活動

- 1) 財団法人年金総合研究センター客員研究員

張勇兵

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Adaptive wavelength routing and assignment in optical WDM networks (with K. Taira, H. Takagi, and S.K. Das), Accepted for publication on Optical Network Magazine, 2002.
- 2) D-CAT: An efficient approach for distributed channel allocation in cellular mobile networks (with S.K. Das and X. Jia), Accepted for publication on ACM/Baltzer Journal on Mobile Networks and Applications, 2002.
- 3) Search process evaluation for a hierarchical menu system by Markov chains constructed by using latent semantic analysis (in Japanese) (with M. Kitajima, H. Takagi, and T.

- Yamamoto), *Trans. of Information Processing Society of Japan (IPSJ)*, Vol. 43, No. 12, pp. 3722-3732 (Dec. 2002).
- 4) Transaction scheduling with temporal data in real-time database systems, *Int. J. Modelling and Simulation*, Vol. 22, No. 4, pp. 231-238, Nov. 2002.
 - 5) Web design evaluation of E-commerce sites by Markov models (in Japanese) (with N. Kariya, M. Kitajima, and H. Takagi), *IEICE Trans. on Communications*, Vol. J85-B, No. 10, pp. 1809-1812 (Oct. 2002).
 - 6) Optimal wavelength converter placement in optical networks by a genetic algorithm (with J.H. Siregar and H. Takagi), *IEICE Trans. on Communications*, Vol. E85-B, No. 6, pp. 1075-1082 (Jun. 2002).
 - 7) A distributed routing and wavelength assignment algorithm for real-time multicast in WDM networks (with C. Huang and X. Jia), *Computer Communications*, Vol. 25, No. 11, pp. 1527-1535 (Nov. 2002).
 - 8) Reconfiguration heuristics for logical topologies in wide-area WDM networks (with H. Takagi, X. Jia, and H. Takagi), *Proc. IEEE Global Communications Conf. (GLOBECOM 2002)*, Taipei, Taiwan, pp. 2701-2705 (Nov. 2002).
 - 9) Adaptive QoS-guaranteed channel reservation in multimedia wireless networks (with Y. Horibe), *Proc. Int. Conf. Communications, Circuits, and Systems 2002 (ICCCAS 2002)*, Chengdu, China, pp. 404-408 (Jun. 2002) (Best Student Paper Award).
 - 10) Virtual topology reconfiguration in wide-area WDM optical networks (with H. Takagi, X. Jia, and H. Takagi), *Proc. Int. Conf. Communications, Circuits, and Systems 2002 (ICCCAS 2002)*, Chengdu, China, pp. 835-839 (Jun. 2002).
 - 11) An efficient heuristic for routing and wavelength assignment in optical WDM networks (with K. Taira, H. Takagi, and S.K. Das), *Proc. IEEE Int. Conf. Communications (ICC 2002)*, New York, pp. 2734-2739 (Apr. 2002).
 - 12) マルチメディア移動通信システムにおける動的な QoS チャネル予約方式の提案, (堀部洋典と共著) *情報処理学会システム評価研究会 3-1*, pp. 1-6, (Jun. 2002).

(2) 学会活動

- 1) Program Committee, The 4th International Workshop on Distributed Computing, Kolkata, India, December 28-31, 2002.
- 2) Local Arrangement Co-chair and Program Committee, IASTED International Conference on Networks, Parallel and, Distributed Processing, and Applications (NPDPA 2002), Tsukuba, Japan, October 1- 4, 2002.
- 3) Program Committee, The 2nd International Workshop on Cooperative Internet Computing 2002 (CIC 2002), in conjunction with the 28th Int. Conf. on Very Large Data Bases (VLDB 2002), Hong Kong, August 20-23, 2002.
- 4) Guest Editor, Special Issue on Cluster Computing in the Internet of *Journal of Computer Software and Communications*, 2002.
- 5) Referee for *ACM Journal Wireless Network*, 2002.
- 6) 情報処理学会英文論文査読員, 2002.

(3) 研究助成など

- 1) 平成 14 年 学内助成研究 (A) 波長多重光通信システムにおける波長ルーティング方式と論理ネットワークの構築法に関する研究

(4) 受賞

- 1) Int. Conf. Communications, Circuits, and Systems 2002 (ICCCAS2002), Chengdu, China (Jun. 2002). 最優秀論文賞

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 情報ネットワーク特論

経営・政策科学研究科： シミュレーション

社会工学類： 社会工学情報処理実習 I, 経営工学実習, 情報ネットワーク, 経営情報システム演習, フレッシュマンセミナー

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： コンピュータ委員会委員, 技官対応委員

システム情報工学研究科： 計算機運用委員会委員, 機器購入委員 (社会工学システム専攻)

経営・政策科学研究科： 機器委員会委員

社会工学類： コンピュータ委員会委員長, 1 年生クラス担任

津田 和彦

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Kazuhiko Tsuda, Takao Terano, Yasushi Kuno, Hiroaki Shirai and Hisatoshi Suzuki, A compiler for business Simulations: Toward Business Model Development by Yourselfs, International Journal of Information Sciences. Vol. 143, pp. 99-114, (2002.07).
- 2) Kazuhiko TSUDA, Masayuki KESSOKU and Takao TERANO, Collecting Customers' Preference on the WEB by Document Analysis, The 4th International Symposium on Operations Research and Its Applications (ISORA2002), Yichang-Chongqing, China, pp.294-301, (1-4 June 2002).
- 3) Toshiki HIRANO, Masakazu TAKAHASHI and Kazuhiko TSUDA, Keywords Extraction from Web Documents to Trace Customer Preferences, The 6th Pacific Asia Conference on Information Systems (PACIS2002), Tokyo, Japan, pp.1108-1112 (2-4 September 2002).
- 4) Masakazu TAKAHASHI, Akio FUJI and Kazuhiko TSUDA, Remote Consultation Business Model on Steel Material Selection Using KNOW-HOW and KNOW-WHO, 6th International Conference on Knowledge-Based Intelligent information Engineering Systems. (KES2002), Podere d'Ombriano, Crema, Italy, (16-18 September 2002).

- 5) Toshiki HIRANO and Kazuhiko TSUDA, Learning Correspondences of Syntax Structures From Bilingual Corpora, 6th International Conference on Knowledge-Based Intelligent information Engineering Systems.(KES2002), Podere d'Ombriano, Crema, Italy, (16-18 September 2002)
- 6) Kazuhiko TSUDA, Toshiki HIRANO, Masakazu TAKAHASHI and Takao TERANO, 3-D Knowledge Structures for Customer Preference Transition, 2002 IEEE International Conference on Systems, Man and Cybernetics (IEEE-SMC '02), Hammamet, Tunisia, (6-9 October 2002).

ii) その他

- 1) 飯塚佳代, 津田和彦, SI ビジネスにおける顧客満足度構造について, FIT(情報科学技術フォーラム)2002, O16, (2002.09)

(2) 学会活動

- 1) 情報処理学会 会誌編集幹事
- 2) 6th International Conference on Knowledge-Based Intelligent information Engineering Systems. (KES2002) International Review Board
- 3) 7th International Conference on Knowledge-Based Intelligent information Engineering Systems. (KES2003) International Review Board
- 4) The 6th Pacific Asia Conference on Information Systems (PACIS2002) Program Committee
- 5) The Second International Human.Society@Internet conference Program Committee
- 6) The 7th Pacific Asia Conference on Information Systems (PACIS2003) Program Committee

(3) 研究助成など

- 1) 学内プロジェクト助成研究 (B)「テキストマイニングにおける知識データベース構築に関する研究」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科： 知的ドキュメント管理論, データベース特論, システムズ・マネジメント特演, システムズ・マネジメント講究, インタラクティブシステム, 計算機アルゴリズム, 経営システム科学特演

(2) 役職・各種委員会委員

ビジネス科学研究科： 経営システム科学専攻教育担当

(3) 他大学における教育活動

- 1) 徳島大学大学院工学研究科 (非常勤講師)
- 2) 日本放射線技術学会セミナー「C言語プログラミング入門」講師

III. 社会的活動

- 1) 株式会社ブロードバンド・エクスチェンジ技術アドバイザー
- 2) 株式会社言語理解研究所技術アドバイザー

堤 盛人

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 日本不動産学会編『不動産学事典』, 住宅新報社, 2002. (分担執筆) 第15章第3節: 「不動産保有情報」(清水英範氏と共同執筆) (pp.548-551)
- 2) 田中啓一編著『都市と環境の公共政策 日本経済再生に向けて』, 中央経済社, 2002. (分担執筆) 第11章: 「都市における地籍調査の現状とその課題」(清水英範氏と共同執筆) (pp.145-155)
- 3) 日本写真測量学会編『空から見る国土の変遷』, 古今書院, 2002. (分担執筆)
「汐留 - 「わが国鉄道発祥の地」の大規模再開発-」(pp.80-81)
「新宿副都心 -平成のミニ遷都 東京都庁舎移転-」(pp.90-91)
「山梨リニア実験線 -実現なるか リニア中央新幹線-」(pp.134-135)
「広島西風新都 -アストラムラインの開業と 94年アジア大会開催-」(pp.214-215)
「宮崎・日南リゾート構想 -シーガイアの破綻-」(pp.248-249)

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 本島貴之・堤盛人・清水英範: 「制限付き最尤法を用いた Kriging に関する実証研究」, 日本写真測量学会 平成14年度年次学術講演会 講演集, pp.275-278, 2002.

(2) 学会活動

- 1) 日本不動産金融工学学会 評議員
- 2) 日本写真測量学会 評議員
- 3) 土木学会 応用力学委員会 逆問題小委員会 幹事長
- 4) 日本写真測量学会 40周年記念事業出版「空から見る国土の変遷」編集委員会 委員兼幹事
- 5) 日本写真測量学会 学術講演会 実行委員会 委員
- 6) CUPUM'03 Sendai (The 8th International Conference on Computers in Urban Planning and Urban Management) プログラム編成委員会 委員
- 7) 土木計画学研究・論文集 No.19 査読者

(3) 学会活動

- 1) 平成13年度～14年度 日本学術振興会 科学研究費補助金・若手研究(B) 「空間回帰分析のパラメータ推定に関する実証研究」

II. 教育・業務活動

(1) 他大学における教育活動

- 1) 東京大学大学院工学系研究科（前任校）
- 2) Durham 大学 Business School（英国） 客員研究員

西尾 チヅル

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) C. Nishio, Factors Affecting the Ecological Behavior of Japanese Individuals, Proceedings of the Fifth International Eco-City Conference, p.106, August 2002.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 西尾チヅル, 環境問題をめぐる企業と消費者：エコロジカル・マーケティングの視点から, 産業・組織心理学会第 65 回研究会, 2002 年 5 月.
- 2) 西尾チヅル, 生活者起点の環境マーケティング：生活者のエコロジー行動の規定要因からの考察, 日本商業学会第 52 回全国大会, 2002 年 5 月.
- 3) 西尾チヅル, 環境保全型リースシステムの方向性, 日本マーケティング・サイエンス学会環境マーケティング研究部会, 2002 年 6 月.
- 4) 西尾チヅル, 市民のゴミ減量化行動の規定要因の分析, 日本マーケティング・サイエンス学会第 7 2 回研究大会, 2002 年 12 月.

iii) その他

- 1) 西尾チヅル, 消費者・社会と EMS（環境マネジメントシステム）, 標準化と品質管理, Vol.55, No.7, pp.51-56, 2002 年 7 月.
- 2) 西尾チヅル, グリーンリースシステムの要件と課題, 流通情報, No.401, pp.17-24, 2002 年 11 月.

(2) 学会活動

- 1) 日本マーケティング・サイエンス学会 理事
- 2) 日本マーケティング・サイエンス学会 学会誌編集委員
- 3) 日本商業学会関東部会幹事
- 4) 日本ファジィ学会評価問題研究部会幹事

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費 基盤研究 (C)「環境保全型ライフスタイル普及のためのマーケティング・コミュニケーション」(研究代表者)
- 2) 受託研究 経済産業省「技術経営コース開発に係る研究」において研究代表者として MOT プログラム「マーケティング」を開発

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科： 消費者マーケティング, システムズ・マネジメント講義, マーケティング, 消費者行動, 消費者行動輪講, 経営システム科学特別研究

(2) 役職・各種委員会委員

ビジネス科学研究科： 経営システム科学専攻・教育担当

(3) 他大学における教育活動

- 1) 千葉工業大学非常勤講師 (マーケティング)

III. 社会的活動

- 1) 学生広告論文電通賞審査委員
- 2) (財)クリーン・ジャパン・センター 環境・リサイクル配慮型製品の事業系新市場創出に関する調査研究委員会委員
- 3) 日本道路公団総合研修所 研究情報交流会委員
- 4) グリーンコンシューマー東京ネット (NPO) 主催「グリーンフォーラム 2002年: グリーンコンシューマーから見た魅力ある包装: みんなで考えるエコパッケージ」パネラー 2002年10月.

野上 佳子

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Y. Nogami(2002, May). Hypothesis testing based on Lagrange's method: Application to Cauchy, Exponential and Logistic distribution., Discussion Paper Series No. 988, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba.
- 2) Y. Nogami (2002, July). Hypothesis testing based on Lagranges method : Application to the uniform distribution. , Discussion Paper Series No. 995, IPPS, Univ. of Tsukuba.
- 3) Y. Nogami (2002, August(a)). Hypothesis testing based on Lagrange's method: Application to the uniform distribution (II) . Discussion Paper Series No. 1002 . , IPPS, Univ. of Tsukuba.
- 4) Y. Nogami (2002, August (b)). A comment on Section 4 of D. P. 1002., Discussion Paper Series No. 1004., IPPS, Univ. of Tsukuba.
- 5) 野上 佳子 (2002) . 「Hypothesis testing based on Lagrange's method-Application to scale parameter of Cauchy distribution.」を, 9月7~9日明星大学における第70回日本統計学会 (連合大会) にて, 発表。(講演報告集: pp.490~491 参照。)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科：統計解析，ビジネス情報数理演習

社会工学類：応用確率論，数理解析 II，社会工学概論実習

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系：研究計画委員

経営・政策科学研究科：文系修士棟防災組織・救護班救護係

社会工学類：図書委員

藤井 英次

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

1) Eiji Fujii, “Exchange Rate and Price Adjustments in the Aftermath of the Asian Crisis.” *International Journal of Finance & Economics*, v.7, n.1, pp.1-14, 2002.

2) Yin-Wong Cheung, Menzie Chinn, and Eiji Fujii, “China, Hong Kong, and Taiwan: A Quantitative Assessment of Real and Financial Integration.” *China Economic Review*, forthcoming 2003.

ii) 学会での口頭発表・講演等

1) “Exchange Rate Pass-Through in Industrialized Countries: Has it Really Declined?” with Jeannine Bailliu, International Department Seminar, Bank of Canada, September 2002.

2) “China, Hong Kong, and Taiwan: A Quantitative Assessment of Real and Financial Integration” with Yin-Wong Cheung and Menzie Chinn, The 2002 “WTO, China, and Asian Economies” Conference, University of Hong Kong, Hong Kong, November 2002.

(2) 学会活動

1) レフリー： *American Economic Review*, *China Economic Review*, *Oxford Economic Papers*

(3) 研究助成など

1) 科学研究費補助金 基盤研究 (C)(2)

2) 財団法人学術振興野村基金 2002年度（上期）国際交流助成金

3) 公益信託山田学術研究奨励基金 2002年度奨励金

(4) 他大学における教育活動

1) 小樽商科大学（前任校）助教授

II. 社会的活動

- 1) Visiting Scholar, International Department, Bank of Canada, Ottawa, Canada, September-October 2002. (カナダ銀行国際部客員研究員)

藤川 昌樹

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 藤川昌樹・谷村秀彦・渡辺俊「北京市豊盛地区における四合院住区の空間的秩序」(『日本建築学会計画系論文報告集』555, pp.145-150, 2002年5月)
- 2) FUJIKAWA Masaki: The Joraku Ritual in 1634: The Interactions between feudal clans and the cities in the Edo period, Power, Knowledge and Society in the City (Proceedings of Sixth International Conference on Urban History), S-4, pp.1-5, 2002.9(Edinburgh)
- 3) FUJIKAWA Masaki: The Spatial Order of Japanese Rural Towns in the 19th century: From the perspective of the link made between shoin-style rooms and external space, Traditional Architecture in Modern Asia 2002, pp.467-474, 2002.10(Seoul)

ii) その他

- 1) 藤川昌樹「歴史的町並みの保存と旧吉田宿のまちづくり」(旧吉田宿のまちなみ調査住民報告会 [埼玉県吉田町], 2002年4月)
- 2) 藤川昌樹・堀江亨・中野茂夫・黒坂貴裕「つくば市古民家調査(1998-2001)報告」(日本建築学会木造建築構法小委員会, 2002年6月)
- 3) 藤川昌樹「同『近世武家集団と都市・建築』について」(都市史研究会第47回例会, 2002年10月)
- 4) 藤川昌樹「日本近世の武家儀礼と建築・都市」(韓国芸術総合学校講演会, 2002年10月)
- 5) 平山育男・藤川昌樹・御船達雄「歴史都市橋本の町と町家」(第4回伊勢街道フォーラム2002, 2002年11月)
- 6) 藤川昌樹「右隻・第5扇・10の屋敷と建築について」(「第二定型洛中洛外図屏風の総合的研究」第3回研究会, 2003年3月)

(2) 学会活動

- 1) 日本建築史研究会幹事
- 2) 作事史料を読む会幹事
- 3) レフェリー(日本建築学会, 日本都市計画学会)

(3) 研究助成など

- 1) 筑波大学学内プロジェクト・奨励研究「儀礼と空間の關係に着目した近世都市史の再検討」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 都市居住環境史演習

環境科学研究科： 環境計画史，環境科学実習，環境科学 III

社会工学類： 都市計画入門，景観保全計画，都市計画実習 2

総合科目： 都市・地域・環境を探る

III. 社会的活動

- 1) 高知県室戸市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員

牧本 直樹

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 坂田・牧本, Legacy 連携型分散オブジェクトシステムのモデル化と性能評価, 日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会, pp.114-115, 2003.

(2) 学会活動

- 1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会創立 40 周年記念国際交流委員
- 2) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 IAOR 委員

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科： 確率と統計基礎，信頼性分析，ビジネス創造演習 II・III, 応用確率論

(2) 役職・各種委員会委員

ビジネス科学研究科： 経営システム科学専攻入試委員

III. 社会的活動

- 1) (株) 日立製作所技術研修所 講師

山田 雄二

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Y. Yamada and J. A. Primbs, Value-at-Risk (VaR) Estimation for Dynamic Hedging, International Journal of Theoretical and Applied Finance, vol. 5, no. 3, pp. 1-21, 2002.

- 2) Y. Yamada and J. A. Primbs, Distribution-based Option Pricing on Lattice Asset Dynamics Models, International Journal of Theoretical and Applied Finance, vol. 5, no. 6, pp. 599-618, 2002.
- 3) Y. Yamada and J. A. Primbs, Mean Square Optimal Hedges Using Higher Order Moments, The 6th Columbia=Jafee International Conference, pp. 148-161, 2003.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) Y. Yamada and J. A. Primbs, On the relation between market risk and higher order moments, Proceedings of the JAFEE conference in Summer, 2002.
- 2) Y. Yamada and J. A. Primbs, Mean Square Optimal Hedges Using Higher Order Moments, INFORMS Annual Meeting, 2002.
- 3) Y. Yamada and J. A. Primbs, Mean Square Optimal Hedges Using Higher Order Moments, International Conference on Modeling, Optimization, and Risk Management in Finance.

(2) 学会活動

- 1) 論文レフェリー:IEEE Transactions on Automatic Control, Automatica

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科： 数理ファイナンス，ファイナンス工学，データ解析，数理モデル，ファイナンス工学輪講

(2) 役職・各種委員会委員

ビジネス科学研究科： 経営システム科学専攻・教育担当

横張 真

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Yokohari, M, Watanabe, T and Amati, M.:Farmlands in the City: Restoring an ecologically sound environment in Asian cities with urban farmlands. 2002.07, 10th International Planning History Conference Proceedings, CD-ROM
- 2) Amati, M, Watanabe, T and Yokohari, M, : A Comparison Between the Meanings of Sprawl between 1950 and the Present in the Japanese Literature. 2002.07, 10th International Planning History Conference Proceedings, CD-ROM
- 3) 藤井美波, 横張 真, 渡辺貴史:江戸時代末期の江戸における農地の分布実態の解明. 2002.11, 都市計画論文集, 37号, 931頁~936頁
- 4) 渡辺貴史, 横張 真:首都圏地方自治体による都市住民を交えた都市農業振興施策の実施実態の解明. 2002.11, 都市計画論文集, 37号, 943頁~948頁

- 5) 横張 真：コンテナプラント・ランドスケープの将来. 2003.02, 日本造園学会誌, 66 巻 4 号, 282 頁～285 頁
- 6) 篠塚香里, 横張 真, 栗田英治, 渡辺貴史：密集市街地における鉢植えの緑の配置と形態, 2003.03, 日本造園学会誌, 66 巻 5 号, 825 頁～828 頁
- 7) 渡辺貴史, 横張 真：開放性発現に資する都市内農地の分布形態の解明, 2003.03, 日本造園学会誌, 66 巻 5 号, 841 頁～846 頁
- 8) マルコ・アマティ, 横張 真：地方自治体によるロンドン・グリーンベルト地域に対する施策実態に関する研究, 2003.03, 日本造園学会誌, 66 巻 5 号, 897 頁～900 頁
- 9) イシドロ・マラケ, 横張 真, 小林一幸：メトロ・マニラの都市近郊における農地形態の变化解明. 2003.03, 日本造園学会誌, 66 巻 5 号, 901 頁～904 頁
- 10) Matsuura, T, and Yokohari, M, and Azuma, A : Identification of Potential Habitats of gray-faced buzzard in yatsu landscapes by using digital elevation model and digitized vegetation data, Landscape and Urban Planning, (Accepted to be published)
- 11) 横張 真 (分担) : エネルギー使用 14%削減への挑戦, 2003.01, NPO 法人クリーンエネルギーフォーラム, 156 頁～164 頁
- 12) Yokohari, M (co-edit) : Satoyama ?The traditional rural landscape of Japan, 2002.10, Springer 229pp.

ii) その他

- 1) 横張 真, 渡辺貴史, 雨宮 護：都市計画研究の現状と展望－緑地・環境－. 2002. 10, 都市計画, 239 (51 巻 4 号), 55 頁～64 頁
- 2) 栗田英治・横張 真：丘陵地におけるため池の集水環境の変化の解明. 2003.01, 国際景観生態学会日本支部会報, 8 巻 1 号, 7 頁～10 頁

(2) 学会活動

- 1) 日本造園学会・理事・編集委員会委員
- 2) 農村計画学会・理事・学術委員会委員
- 3) 日本都市計画学会・学術委員会委員
- 4) 国際景観生態学会日本支部・幹事
- 5) 国際造園学会日本支部・理事
- 6) Editorial board member of Landscape and Urban Planning Journal (Elsevier)

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費：基盤研究 B(2) 12460012 (研究代表者)「持続的な都市農村混合空間形成のための緑地整序に関する研究」
- 2) 日産財団学術研究助成金 (研究分担者)「アジアのメガシティにおける環境改善のための都市農業に関する計画論的研究」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 緑地環境計画特講

環境科学研究科： 緑地環境計画論

社会工学類： 緑地保全計画, Introduction to Urban and Regional Planning, 環境計画システム論, 都市計画実習 I, 自由演習

総合科目： 都市・地域・環境を探る

(2) 役職・各種委員会委員

全学： キャンパスリニューアル実施委員（緑地景観担当）, JTP（短期交換留学プログラム）委員

システム情報工学研究科： 入試実施委員

環境科学研究科： 予算委員

社会工学類： クラス担任（3年生）

(3) 他大学における教育活動

- 1) 非常勤講師（東京大学農学部）
- 2) 非常勤講師（京都大学農学部）
- 3) 客員教授（University of Guelph, Canada）

吉瀬 章子

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) K. Hotta and A. Yoshise. “A Complexity Bound of a Predictor-Corrector Smoothing Method Using CHKS-functions for Monotone LCP,” *Computational Optimization and Applications* 22(2002)351-367.
- 2) N.V.Thoai, Y.Yamamoto and A.Yoshise. “Global optimization method for mathematical programs with complementarity constraints.” DPS987, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba (2002).
- 3) A. Suzuka, Y. Saruwatari and A. Yoshise. “Sports scheduling problems based on networks.” *Proceedings of the conference on the Practice And Theory of Automated Timetabling*.(ISBN 90-806096-1-7, 2002).
- 4) A.Suzuka, Y.Saruwatari and A.Yoshise. “Solving sports scheduling problems using network structure.” DPS1006, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba (2002).
- 5) A.Yoshise. “A homogeneous model for P_0 and P_* nonlinear complementarity problems.” *The Institute of Statistical Mathematics Cooperative Research Report 161: Optimization – Modeling and Algorithms* (2002) 200–220.
- 6) 「応用数理計画ハンドブック」第5章 線形計画法（共著），朝倉書店（2002）.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) A. Yoshise, "Self-regular proximities and nonlinear complementarity problems," SIAM Optimization, Toronto, Ontario, Canada (2002).
- 2) A. Yoshise, "Existence of a trajectory of a homogeneous model for P_* Complementarity Problems," McMaster Workshop, Hamilton, Ontario, Canada (2002).
- 3) A.Suzuka, Y.Saruwatari and A.Yoshise, "Sports scheduling problems based on networks," *PAPAT2002*, KAHO St.-Lieven, Gent, Belgium(2002).
- 4) A.Suzuka, Y.Saruwatari and A.Yoshise, "Sports scheduling problems based on networks," *IFORS2002*, Edinburgh, U.K.(2002).
- 5) A.Yoshise, "Existence of a trajectory of a homogeneous model for P_0 Complementarity Problems," The 2nd Japanese-Sino Optimization Meeting, Kyoto, Japan (2002).
- 6) A.Suzuka, Y.Saruwatari and A.Yoshise, "Solving Sports Scheduling Problems Using Network Structure," *The 2nd Japanese-Sino Optimization Meeting*, Kyoto, Japan (2002).
- 7) 反町宏明, 吉瀬章子「SVMにおけるカーネル行列のSDPによる最適化」2003年度日本OR学会春季研究発表会.
- 8) 反町宏明, 吉瀬章子「サポートベクターマシンにおけるカーネル行列の最適化」研究集会「最適化：モデルとアルゴリズム」, 統計数理研究所 (2003).

(2) 学会活動

- 1) Mathematical Programming レフェリー
- 2) Computational Optimization and Applications レフェリー
- 3) Journal of Operations Research Society of Japan レフェリー
- 4) 日本OR学会研究部会「アルゴリズムと最適化」幹事
- 5) Optimization Research Bridge Committee (Book Review)

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金 基盤 C2 課題番号 13650061

(4) 受賞

- 1) 船井情報科学振興賞 (2003)(小島政和, 進藤晋, 中田和秀, 原辰次, 藤澤克樹, 水野眞治, 山下真, 吉瀬章子による数理計画 (最適化) 問題に対する主双対内点法に関する研究に対して)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 数理計画特講 II

経営・政策科学研究科： 数理計画実習

社会工学類： 経営工学実習, 数理計画, 数理計画演習, 代数学, 自由演習 (数学の言葉)

(2) 役職・各種委員会委員

全学： 企画調査室委員

吉野 邦彦

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Yoshino, K., Ishida, T., Nagano, T., Ishioka, Y., SIRICHUAYCHOO, W.(2002), Distribution of Peat Depth in Tropical Swamp Peat Area in Narathiwat of the southern part of Thailand; Building an Ecological Environmental GIS Database for monitoring Carbon balance, Rural and Environmental Engineering, No.43, pp.13-22, 2002.8
- 2) Michiru Miyamoto, Kunihiko Yoshino, Keiji Kushida, Yohei Sato, "Vegetation Mapping of Kushiro Wetland in Northeast Hokkaido, Japan: Application of SPOT Image, Aerial Balloon Photographs and Airborne Color Near Infrared (CNIR) Images for Classification", MAP ASLA2002, August. 7-10 2002, Bangkok (2002)
- 3) Michiru Miyamoto, Kunihiko Yoshino, Keiji Kushida, "Vegetation Mapping of Kushiro Wetland in Northeast Hokkaido, Japan: Application of SPOT Images, Aerial Balloon Photographs and Airborne Color Near Infrared (CNIR) Images for Classification", IEEE / International Geoscience and Remote Sensing 2002 (IGARSS), June.23-29 2002, Toronto pp3495-3497 (Proceeding)

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) Michiru Miyamoto, Kunihiko Yoshino, Keiji Kushida, "Utilization Aerial Balloon Photographs and Airborne Color Near Infrared (CNIR) Images for Classification of Wetland Vegetation Kushiro Northeast", The 3rd International Workshop on Multiangular Measurements (IWMMM-3), Jun 9-13 2002, pp37 (Abstract)
- 2) Michiru Miyamoto, Kunihiko Yoshino, Keiji Kushida, "Vegetation Mapping of Kushiro Wetland in Northeast Hokkaido, Japan: Application of SPOT Images, Aerial Balloon Photographs for Classification", The 23rd Annual Conference, Society of Wetland Scientist 2002, USA, Lake Placid, N.Y., Jun 2-11 2002, pp129-130 (Abstract)

(2) 学会活動

- 1) 農業土木学会誌編集委員

(3) 受賞

- 1) Best Poster 賞
Map Asian 2002 in Bangkok
"Vegetation Mapping of Kushiro Wetland In Northeast Hokkaido, Japan: Application of SPOT images, Aerial Balloon Photographs and Airborne Color Near Infrared (CNIR) Images For Classification", Michiru Miyamoto, Kunihiko Yoshino, Keiji Kushida and Yohei Sato

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 地域環境影響評価論演習

環境科学研究科： 環境科学 III, 環境情報調査表現法, 環境総合アセスメント

社会工学類： 都市計画実習, 環境解析

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： 図書委員

環境科学研究科： 広報・パンフレット委員

社会工学類： 運営委員

III. 社会的活動

- 1) 三宅島噴火災害対策調査委員（農業土木学会からの委嘱）

渡辺 俊

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 小林佳弘, 渡辺俊：ファジィ多層パーセプトロンによる3次元都市データモデル生成システムに関する研究, 日本建築学会計画系論文集, 第554号, pp.371 - 377, 2002年4月
- 2) 藤川昌樹, 谷村秀彦, 渡辺俊：北京市豊盛地区における四合院住区の空間的秩序, 日本建築学会計画系論文集, 第555号, pp.145 - 150, 2002年5月
- 3) 渡辺俊, 葛城桂子：奈良町における街並み景観保全のための町屋の意匠構成要素に基づく造形ライブラリーに関する研究, 日本建築学会計画系論文集, 第562号, pp.329 - 335, 2002年12月
- 4) 渡辺俊：e-トピア, 新しい都市創造の原理, 丸善, 2002年3月（翻訳）

ii) その他

- 1) 小野寺由美, 渡辺俊, 谷村秀彦, 歳森敦：地下鉄駅周辺における市街地形成に関する研究, 仙台市地下鉄南北線を事例として, 日本建築学会 2002年度大会学術講演梗概集, F-1 都市計画・建築経済・住宅問題, pp.537 - 538

(2) 学会活動

- 1) 日本建築学会, 日本都市計画学会, 地理情報システム学会, ソフトウェア科学会
- 2) CAADRIA, CAAD Futures, ADID, 各論文査読メンバー

(3) 研究助成など

- 1) 北京の伝統的空間保全型再開発のための国際リモートコラボレーションシステムの開発, 科学研究費補助金, 基盤研究 (C)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 地理情報システム特論

環境科学研究科： 環境デザイン論

社会工学類： 社工情報処理実習3，都市施設計画，都市計画実習2，都市デザイン演習

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： コンピュータ委員

社会工学類： 4年クラス担任，コンピュータ委員

秋山 英三

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) E. Akiyama and Y. Sato, "Hamiltonian chaos in a two-person zero-sum game", Proceedings of The Sixth International Conference on Complex Systems (2002), pp.325-330.
- 2) Eizo Akiyama and Kunihiko Kaneko, "Dynamical systems game theory II – A new approach to the problem of the social dilemma –", Physica D 167, Issues 1-2 (2002), pp 36-71. <http://www.elsevier.com/gej-ng/10/36/22/154/27/show/toc.htm>
- 3) Yuzuru Sato, Eizo Akiyama, and J. Doyne Farmer "Chaos in learning a simple two-person game," Proc. Natl. Acad. Sci. USA, Vol. 99, Issue 7, April 2 (2002), 4748-4751. <http://www.pnas.org/cgi/content/abstract/99/7/4748>

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 秋山 英三, 佐藤譲, "Behaviors in Rock-Paper-Scissors game," The 8th Decentralization Conference (広島大学), October 12, 2002
- 2) E. Akiyama and Y. Sato, "Hamiltonian chaos in a two-person zero-sum game", presented at The Sixth International Conference on Complex Systems (CS02), September 9-11, 2002
- 3) Eizo Akiyama (Univ. of Tsukuba.) and Yuzuru Sato (RIKEN), "Hamiltonian Chaos in learning a simple 2-person game" Workshop on Dynamical Systems in Mathematical Biology The Institute of Statistical Mathematics, JAPAN May 29-30, 2002 (発表 5/30)

iii) その他

- 1) Eizo Akiyama, "Games as dynamical systems," Bussei Kenkyu (Kyoto), Vol.78, No.6, pp.692-700, 2002.

(2) 研究助成など

- 1) 課題番号 14780342, 研究課題: 社会的ジレンマにおける時間・空間構造と, 協力ルールの形成・発展メカニズム, 代表: 秋山英三

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科: 情報科学演習

社会工学類: 情報基礎および実習1・3学期, 代数学, 社会経済実習

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科: 入試委員

社会工学類: 学生委員, クラス担任, 就職委員, コンピュータ委員

III. 社会的活動

- 1) 茨城県立古河第三高等学校 大学紹介及びミニ講義

有田 智一

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Tomokazu Arita and McCann, P., "The Location of Technological Innovation within the Japanese Semiconductor Industry," in Acs, Z., de Groot, H. and Nijkamp, P., (eds), The Emergence of the Knowledge Economy: A Regional Perspective, 2002, Springer, Berlin, pp.321-344.
- 2) Tomokazu Arita and McCann, P., "The Spatial and Hierarchical Organization of Japanese and US Multinational Semiconductor Firms," Journal of International Management, 2002, Vol.8.1, pp.121-139.
- 3) McCann, P., Arita, T., and Gordon, I.R., "Industrial Clusters, Transactions Costs and the Institutional Determinants of MNF Location Behaviour," International Business Review, 2002, Vol.11 pp.647-663.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) Tomokazu Arita and Philip McCann, "A Comparative Analysis of the Location Behaviour of Japanese and European Semiconductor Manufacturers, European Regional Science Association, 2002 European RSA Congress, Dortmund, Aug.30, 2002.

(2) 学会活動

- 1) 日本建築学会建築法制委員会市街地環境基準小委員会委員
- 2) 都市住宅学会編集委員会委員, 学会賞委員会委員

(3) 研究助成など

- 1) 平成 14 年度筑波大学学内プロジェクト奨励研究, 「半導体産業における企業立地にみられる産業集積要因の検討」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科： 産業立地論

社会工学類： 地域科学演習 I, 計画行政論, 統計学

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： 予算委員会委員

経営・政策科学研究科： カリキュラム委員

III. 社会的活動

- 1) 茨城県まちづくり推進協議会開発許可及び区域指定分科会委員
- 2) 都市計画決定手続きのあり方に関する調査検討委員会委員（(財)国土技術研究センター）
- 3) 土浦市都市計画マスタープラン策定委員会委員
- 4) 東京都江戸川区都市計画審議会委員

石井 健一

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Diffusion, Policy and Use of Broadband in Japan, Trends in Communication, 11(1), 45-61.
- 2) Internet Diffusion Gap in Japan: Changing Patterns Caused by Mobile Internet, "COMMUNICATION AND TECHNOLOGY: Diffusion, Use, and Impact of the Internet around the World", 52nd Annual ICA Conference, 18 July 2002, Seoul Hilton, Seoul Korea. (with Shunji Mikami).
- 3) 「インターネットパラドックスの検証」, インターネットが精神的健康・社会的ネットワーク形成に及ぼす影響, 東京大学社会情報研究所調査研究紀要, no18. 335-485.
- 4) 「インターネットの利用動向に関する実態調査報告書 2002」, 独立行政法人通信総合研究所 (分担執筆)

(2) 学会活動

- 1) レフェリー (Telecommunications Policy, 東京大学社会情報研究所紀要, 日中社会学, マスコミュニケーション研究)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科： 社会調査論

社会工学類： 社会調査・実習, 社会工学情報処理 2, 社会経済実習

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： 学生担当教官室室員, 予算委員

社会工学類： 図書委員, クラス担任

III. 社会的活動

- 1) 総務省「アジアブロードバンド研究会」委員
- 2) 東アジアにおけるジャパナイゼーション, 中央大学学術シンポジウム「グローバリゼーションと東アジア」, 2002年12月6日

上市 秀雄

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 「個人的リスク志向・回避行動の個人差を規定する要因の分析」風間書房 2003年2月(単著)

ii) その他

- 1) 上市秀雄, 楠見孝:「後悔への対処法と時間的変化ー日常経験の調査に基づく検討ー」日本心理学会第66回大会発表論文集,823,2002.
- 2) 上市秀雄, 栗山直子, 齊藤貴浩, 楠見孝:「受験勉強法選択に基づく知識獲得量, 合格可能性の推定ー高校生の進路決定における意思決定(5)ー」日本教育心理学会第44回総会発表論文集, 412, 2002.
- 3) 栗山直子, 上市秀雄, 齊藤貴浩, 楠見孝:「類推使用の違いにおける将来の展望と制約条件の関連ー高校生の進路決定における意思決定(4)」日本教育心理学会第44回総会発表論文集, 411, 2002.
- 4) Masanori Nakagawa, Asuka Terai, Hideo Ueichi, Motomitsu Yajima:「The Neural Networks Model of Decision-Making Including Feedback Process」Proceedings Sixth International Conference on Cognitive and Neural Systems, #22, 2002.
- 5) 矢島基充, 上市秀雄, 寺井あすか, 中川正宣, 楠見孝:「意思決定後の判断にパーソナリティが及ぼす影響ーリスクテイクにおけるフィードバック過程の検討ー」日本認知科学会第19回大会発表論文集, 186-187, 2002.
- 6) 寺井あすか, 矢島基充, 上市秀雄, 中川正宣:「フィードバック的処理を含む意思決定過程のニューラルネットワークモデルーオンライン実験データに基づくモデル構成ー」日本認知科学会第19回大会発表論文集, 176-177, 2002.

(2) 研究助成など

- 1) 日本学術振興会科学研究費補助金(研究成果公開促進費)「個人的リスク志向・回避行動の個人差を規定する要因の分析」
- 2) 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B)(1)「進路意思決定における認知感情過程のモデル化」(研究分担者)
- 3) 厚生労働省科学研究費補助金(食品・化学物質安全総合研究事業)「内分泌攪乱物質のリスクコミュニケーションに関する研究」(研究協力者)

II. 教育・業務活動

(1) 他大学における教育活動

- 1) 立教大学社会学部非常勤講師(担当科目:意思決定論)
- 2) 淑徳大学国際コミュニケーション学部非常勤講師(担当科目:情報処理基礎)

江口 匡太

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および論文

- 1) 「整理解雇規制の経済分析」(大竹他編「解雇法制を考える：法と経済学の視点」第3章(勁草書房))
- 2) "Job Transfer and Influence Activities", IPPS Discussion paper series 983, University of Tsukuba
- 3) "Trainers' Dilemma of Choosing between Training and Promotion", IPPS Discussion paper series 984, University of Tsukuba
- 4) "Employment Protection Regulations and New Hiring" IPPS Discussion paper series 1008, University of Tsukuba

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) "Trainers' Dilemma of Choosing between Training and Promotion", Canadian Economic Association (University of Calgary, 2002年6月), European Association of Labour Economists (University of Paris 1, Pantheon Sorbonne, 2002年9月), Associazione Italiana degli Economisti del Lavoro (University of Salerno, 2002年9月)
- 2) "Employment Protection Regulations and New Hiring", European Association of Labour Economists (University of Paris 1, Pantheon Sorbonne, 2002年9月)
- 3) "Damages or Return to Workplaces: A Note on Remedies for Illegal Dismissal", 日本経済学会 (広島大学 2002年10月)

(2) 学会活動

- 1) レフェリー Journal of the Japanese and International Economies

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費補助金 若手研究(B) 14730003
- 2) 文部省科学研究費補助金 基盤研究(B)(1) 14320015 (研究代表者:吉原和志教授(東北大学))

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科：労働経済論

社会工学類：社会工学概論および実習，社会経済専攻実習，ミクロ経済学，労働経済学

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系：総務委員，外部評価委員

経営・政策科学研究科：カリキュラム委員

社会工学類：学類運営委員

大木 敦雄

I. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科：ソフトウェア技術論, 計算機プログラミング I,II

(2) 役職・各種委員会委員

全学：学校教育部情報化推進専門委員会委員, 大塚地区 LAN 委員会委員

(3) 他大学における教育活動

1) 電気通信大学 非常勤講師 (ソフトウェア実験)

大久保 正勝

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

1) “Long-Run Relationship between Consumption and Income in Japan: Tests of the Deterministic Cointegration Restriction”, *Journal of the Japanese and International Economies*, Vol. 16, 253-278, 2002.

2) “Intratemporal Substitution between Private and Government Consumption: the Case of Japan”, *Economics Letters*, Vol.79, 75-81, 2003.

3) “Intertemporal Substitution and Consumer Durables: An Analysis Based on Japanese Data”, *Institute of Policy and Planning Sciences*, Discussion Paper Series No.1016, 2002.

ii) 学会での口頭発表・講演等

1) “Intertemporal Substitution and Consumer Durables: An Analysis Based on Japanese Data”, 第4回 CIRJE-TCER マクロ・コンファレンス, 京都市勧業会館 2002年9月

2) “Intertemporal Substitution and Consumer Durables: An Analysis Based on Japanese Data”, 日本経済学会秋季大会, 広島大学, 2002年10月

(2) 研究助成など

1) 日本学術振興会特別研究員研究奨励金 (2002年4月-2002年8月)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科：計量経済学実習

小野 哲生

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) On the Index of Environmental Awareness, with Y. Maeda, Environmental Economics and Policy Studies, forthcoming.
- 2) Social Security Policy with Public Debt in an Aging Economy, Journal of Population Economics, forthcoming.
- 3) Environmental Tax Policy and Long-run Economic Growth, Japanese Economic Review, forthcoming.
- 4) Environmental Tax Policy in a Model of Growth Cycles, Economic Theory, 2003, Vol. 22, pp. 141-168.
- 5) Is Habitual Consumption Harmful to the Environment? Economics Bulletin 2002, Vol. 17, No. 1 pp.1 – 10
- 6) Pareto-improving Environmental Policies in an Overlapping Generations Model, with Y. Maeda, Japanese Economic Review, 2002, Vol. 53, pp. 211-225.
- 7) 枯渇性資源・環境と持続的成長, 浅子和美・川西諭・小野哲生, 経済研究, 2002, 第 53 卷第 3 号

(2) 学会活動

- 1) レフリー: Journal of Environmental Economics and Management, Environmental Economics and Policy Studies.

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金, 若手研究 B

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科： 環境経済学

社会工学類： 代数学, 環境計画, 地域科学演習 II

加藤 毅

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 「大学教員の生活時間からみた高等教育政策」『大学研究』第 26 号, 2003.

- 2) 「社会人大学院における学習成果とその評価」『社会人大学院修了者の職業キャリアと大学院教育のレリバンズ』東京大学社会科学研究所, 2003

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 学術研究に対する資金供給システムと研究成果 (山本眞一, 小林信一と共著) 日本高等教育学会第5回大会発表要旨収録, 2002
- 2) 学術研究活動のボーダレス化と資金供給システム (山本眞一と共著) 研究・技術計画学会第17回年次学術大会講演要旨集, 2002

(2) 学会活動

- 1) 研究・技術計画学会 評議員

(3) 研究助成など

- 1) 文部科学省科学研究費補助金 若手研究 B「学術研究成果に対する評価の構造と受容性に関する実証研究」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科： 非営利組織の経済学, 社会調査法, プロジェクトマネジメント研究, 社会調査法輪講

(2) 役職・各種委員会委員

全学： SCS 事業実施委員会東京 (大塚) 地区部会委員, 大塚地区学内 LAN 委員会委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 非常勤講師 「教育調査分析法」東京大学

金田 直之

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) CEO 交代に伴う利益予想の変更および誤差について—アナリストは CEO の利益操作を予期しているのか, 日本管理会計学会 2002 年度大会研究報告要旨集, pp19-20, 2002

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) “Experiment for Positive Externalities: Is Coase Theorem Applicable to the Positive Externalities? Discussion Paper No.1018, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, January 2003.
- 2) “Experiment of Dictator Games and Fairness,” Discussion Paper No.1019, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, January 2003.

(2) 学会活動

- 1) 日本会計研究学会 特別委員会 「企業価値と組織再編の管理会計に関する研究」 幹事

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科： 財務会計論

社会学類： 経営工学特別講義 I (財務会計論)

総合科目： 経営の科学

川口 大司

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Human Capital Accumulation of Salaried and Self-Employed Workers Labour Economics, Vol. 10, pp.55-71, 2003

ii) その他

- 1) “Compensating Wage Differentials among Self-Employed Workers Evidence from Job Satisfaction Scores,” Annual Meeting of European Association Labor Economists, Paris, France September 20th, 2002.
- 2) 「学会展望 労働経済学研究の現在 - 2000~02年の業績を通じて」『日本労働研究雑誌』 第512号 (2003年2-3月号) (富田安信・安部由紀子・太田聰一 各氏との座談会)

(2) 学会活動

- 1) 日本労働研究雑誌・Labour Economics レフェリー

(3) 研究助成など

- 1) 日本経済研究奨励財団「エリート校を卒業することが労働市場でのパフォーマンスに与える因果関係の推定」研究代表者

川邊 みどり

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 炭素税から国内排出権取引へ - ノルウェーの温暖化ガス政策 -, 水情報 23 卷 3 号 8-12 頁, 川辺みどり, 2003 年.
- 2) How citizens can be involved in coastal conservation: cases from Japan. Proceedings of UNU-Iwate-UNESCO Joint International Conference Men and the Ocean: Conserving

Our Coastal Environment on July 9, 2002, The United Nations University, Tokyo, Japan, pp.149-160, Kawabe, Midori, 2002 年.

- 3) 中国・太湖の水質改善のためのリン負荷削減方策について.Cao Shuwei・川邊みどり, 環境科学会 2002 年年会, プログラム 80-81 頁.
- 4) 多摩川流域における水循環の改善について. 畠山雄一・川邊みどり, 環境科学会 2002 年年会, プログラム 82-83 頁.

(2) 学会活動

- 1) 環境科学会年会委員

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費 (萌芽研究)「熱帯アジア沿岸における地域共同体による環境管理に関する研究」H 13～15 年度.
- 2) 農林水産省「欧州における環境税導入の影響に関する調査研究」.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

環境科学研究科： 環境政策評価論, 環境科学実習

社会工学類： 沿岸域環境計画, 社会調査法および実習, Introduction to Urban and Regional Planning, 都市計画実習 III

(2) 役職・各種委員会委員

環境科学研究科： カリキュラム委員

III. 社会的活動

- 1) 水産庁外来魚問題懇談会委員
- 2) 月刊「水情報」編集委員

姜晟振

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) "Japanese Voters and Responsibility Hypothesis-The 1996 House of Representatives Election," 2002, International Political Economy, 10, 1-15.
- 2) "Relative Backwardness and Technology Catching Up with Scale Effects," 2002, Journal of Evolutionary Economics, 12(4), 425-441.
- 3) "Are Private Transfers Altruistically Motivated? The Case of Nepal," Institute of Policy and Planning Sciences Discussion Paper Series No.1020, University of Tsukuba, January 2003, pp.1-22.
- 4) "The Poor and The Vulnerable? Tracking the Targets of Private and Public Transfers

Before and During the Financial Crisis in Korea,” Institute of Policy and Planning Sciences Discussion Paper Series No.978, University of Tsukuba, March 2002, pp.1-25 (with E. Jimenez and Yasuyuki Sawada).

- 5) ”The Impacts of Foreign Ownership on the Productivity of Korean Manufacturing Firms,” Sungkwan University, March 14, 2003, Seoul, Korea.
- 6) ”Do Public Transfers Crowd Out Private Transfers in Korea during the Financial Crisis,” A Joint Conference of AKES, KDI, and RCIE: Korea and the World Economy, Seoul, Korea, July 21-22, 2002.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

国際政治経済学研究科： 経済成長論

国際総合学類： 国際経済論, 国際貿易論

後藤 順哉

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Jun-ya Gotoh, Hiroshi Konno, “Bounding Option Prices by Semidefinite Programming: A Cutting Plane Algorithm”, Management Science, Volume 48, Number 5, May 2002, pp.665-678.
- 2) Hiroshi Konno, Jun-ya Gotoh, Takeaki Uno and Atsushi Yuki, “A cutting plane algorithm for semi-definite programming problems with applications to failure discriminant analysis”, Journal of Computational and Applied Mathematics, Volume 146, Issue 1, September 2002, Pages 141-154.

(2) 学会活動

- 1) レフェリー： Journal of the Operations Research Society of Japan

(3) 研究助成など

- 1) 平成 14 年度 科学研究費研究費補助金 若手研究 (B) 14780343
- 2) 奨学寄付金：「時系列モデルに対する構造的数値解法の開発」みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社（住田潮教授，山本芳嗣教授と共同）

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科： ビジネス演習 I, ファイナンス理論 II, ファイナンス実践

社会工学類： 社会工学概論及び実習, ファイナンス II, 計算機科学

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： 総務（レクリエーション），防災（警備）

経営・政策科学研究科： カリキュラム委員

社会工学類： 3年生クラス担任

近藤 文代

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Kondo, Fumiyo N. (2002), Simulation Study on Decomposition of Price Promotion Effect in Competitive Structure, in Proceedings of the 6th World Multiconference on Systemics, Cybernetics and Informatics, Vol. XVIII, Information Systems Development III, pp.269 - 275.
- 2) Kitagawa, G., Higuchi, T. and Kondo, F. N. (2003), Smoothness Prior Approach to Explore Mean Structure in Large-scale Time Series, Theoretical Computer Science, Elsevier Science, 292, pp.431-446.

(2) 研究助成など

- 1) 科学研究費基盤C

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： マーケティング特論

経営・政策科学研究科： マーケティング・サイエンス

社会工学類： マーケティング工学，情報基礎および実習

総合科目： 経営の科学

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科： ファカルティディベロップメント

経営・政策科学研究科： 修士論文委員

社会工学類： 学生担当教官，図書委員

齋尾 直子

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 齋尾, 他「公立小学校敷地内における自然空間の設置と使われ方からみた屋外空間整備に関する研究」日本建築学会計画系論文集, 第554号, 131-138, 2002.4

- 2) 齋尾, 他「小学校屋外空間整備における農村整備手法をとり入れた自然空間づくりに関する研究」農村計画学会 農村計画論文集第4集, 247-252, 2002.11
- 3) 井上, 齋尾, 他「緑道空間における自然要素の整備効果に関する研究」日本建築学会計画系論文集, 第555号, 151-156, 2002.5
- 4) 尹, 齋尾, 他「公立小学校屋外空間における児童の居場所形成の特性と空間要素の整備に関する研究ー都市既成住宅地における小学校児童の活動実態を事例としてー」日本建築学会計画系論文集, 第564号, 149-156, 2003.2

ii) その他

- 1) 齋尾, 他「児童の活動実態からみた小学校の屋外空間整備に関する研究」日本建築学会大会学術講演梗概集 E1, 45-46, 2002.8
- 2) 櫻木, 齋尾他「学生の1日における行動パターンからみた大学キャンパスの居場所づくりに関する研究」日本建築学会大会学術講演梗概集 E1, 95-96, 2002.8

(2) 学会活動

- 1) 日本建築学会 農村計画委員会 本委員会委員
- 2) 日本建築学会 ラーバンデザイン小委員会委員
- 3) 日本建築学会 関東支部農村建築専門研究委員会委員
- 4) 農村計画学会 若手研究者ネットワーク事業幹事
- 5) 農村計画学会 総務委員会委員

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金 若手研究 (B) (研究代表者)「現代都市型地域社会における住民主体活動のアソシエーション化に関する研究」
- 2) 科学研究費補助金 基盤研究 (B)(2) (研究分担者)「都市共生型ー高機能大学キャンパスの再構築計画に関する研究」
- 3) 科学研究費補助金 特別研究促進費 (1) (研究分担者)「今後の大学施設の管理に関する調査研究」
- 4) 科学研究費補助金 基盤研究 (A)(一般) (研究分担者)「中山間地域における持続発展型農村経営の方法に関する研究」
- 5) 科学研究費補助金 基盤研究 (B)(2)(海外) (研究分担者)「アルメニア共和国における中期キリスト教遺構の調査・研究ーアルメニア共和国のキリスト教遺構の保存対策ー」

II. 社会的活動

- 1) 中央区都心再生会議 公共サービス部会委員
- 2) 一級建築士登録 (307330号)

繁野 麻衣子

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Satoru IWATA and Maiko SHIGENO, "Conjugate scaling technique for Feanchel-type duality in discrete convex optimization," SIAM Journal on Optimization 13 (2003) 204-211
- 2) Maiko SHIGENO, "Maximum network flows with concave gains," Proceedings of the 3rd Hungarian-Japanese Symposium on Discrete Mathematics and Its Applications (2003) 204-213
- 3) 久保, 田村, 松井編, 「応用数理計画ハンドブック」朝倉書店 (2002), 分担執筆 (9.1-9.8 ネットワーク計画, 14.1 パラメトリックサーチ担当)

(2) 学会活動

- 1) レフェリー (Optimization Method and Software, Mathematical Programming, Operations Research Letters, など)

(3) 研究助成など

- 1) 科研費 (奨励 (A)) 「データの精度を考慮した組合せ最適化問題に対する問題構造とアルゴリズムの研究」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 離散システム特論

経営・政策科学研究科： 数学 I, 離散最適化

社会工学類： 代数学, 数理計画, 数理計画演習, 計算機科学

(2) 役職・各種委員会委員

経営・政策科学研究科： 募集委員

社会工学類： 広報委員

Stephen John Turnbull

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 「Open Source Software in a Model of Economic Growth」。学会発表：「Conference on Economic Theory in Honor of Mordecai Kurz」, スタンフォード大学, 8月4日

(2) 学会活動

- 1) レフェリー： American Economic Review

- 2) 概要編集：経済研究

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：情報経済システム特別講義
経営・政策科学研究科：ミクロ経済学, 政策科学演習 II
社会工学類：経済動学

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系：コンピュータ委員
経営・政策科学研究科：入学試験実施委員, 入学試験審査委員
社会工学類：15年度オリエンテーション委員, 留学生委員, 4年次クラス担任

III. 社会的活動

- 1) 日米教育委員会 (Fulbright プログラム) 面接者

八森 正泰

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 八森正泰, 由良文孝, トポロジーと量子計算, オペレーションズ・リサーチ 47 (2002) (2002年7月号), 453-458(41-46).
- 2) 翻訳：ギュンター・M・ツィーグラー著「凸多面体の数学」(シュプリンガー・フェアラーク東京, 2003年3月), 八森正泰, 岡本吉央, 共訳.
- 3) M. Hachimori, Shellability and constructibility of 2-complexes, International Congress of Mathematicians (ICM2002), Beijing, China, Aug. 2002.
- 4) M. Hachimori, The dunce hat and nonshellable decompositions of 3-spheres, Workshop on Intuitive Geometry, 熊本大学, Oct. 2002.
- 5) 八森正泰, 森山園子, 単体的複体のシェラビリティーの多面体的記述, 2002年度応用数学合同研究集会, 龍谷大学, 2002年12月.
- 6) 中村政隆, 八森正泰, 2次元平面上の凸シェリングアンチマトロイドとそのサーキットのパッキングについて, 研究集会「最適化：モデリングとアルゴリズム」, 2003年3月.

(2) 研究助成など

- 1) 学内プロジェクト(奨励研究)「組合せ分割とトポロジー的手法, およびその応用」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：社会工学情報処理実習 1, 情報基礎および実習 2

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： コンピュータ委員

藤原 博彦

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 2002年10月『情報文化』第9号(情報文化学会学会誌)「ネットワーク社会制度とビジネスモデル特許—情報文化的側面からの一考察」21-28頁
- 2) 2003年3月『広報研究』第6号(日本広報学会学会誌)「企業情報ディスクロージャーの理論的根拠としてのアカウントビリティ概念の限界」74-83頁

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 2002年11月 日本社会情報学会(JSIS)第7回日本社会情報学会大会 ワークショップ「社会情報と知識経済化」問題提起 「情報財としての知的財産と法制度」 発表予稿集30頁

iii) その他

- 1) 2002年8月『OR学会学会誌』8月号(OR学会誌)「情報財としてのビジネスモデルと特許」28-32頁

(2) 学会活動

- 1) 日本社会情報学会(JASI)評議員
- 2) 情報文化学会評議員

(3) 研究助成など

- 1) 平成14年度筑波大学学内プロジェクト「情報流過程における双方向的コミュニケーションの実現—e-コマース実現に向けた環境整備に関する研究」

(4) 受賞

- 1) 日本社会情報学会(JASI)学会賞, 博士学位論文賞受賞

水野 誠

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 水野誠, 西山直樹「テレビ視聴者の行動—実データに適合するエージェントベースモデリングの試み」(山影進, 服部正太編著)『コンピュータのなかの人工社会—マルチエージェントシミュレーションモデルと複雑系』共立出版, 43~57頁, 2002.

- 2) 水野誠, 片平秀貴「ことばと知覚のマネジメント-ワインのテイスティングが示唆するもの」『マーケティングジャーナル』21巻, 6号, 2~12頁, 2002.
- 3) M. Mizuno, H. Shoji, Y. Ohsawa, Y. Matsuo, N. Matsumura and Y. Miyake, "Toward a Chance Discovery-Oriented Recommender System: A Prototype," in (H. Damiani et al. eds.) Knowledge-Based Intelligent Information Engineering Systems and Allied Technologies (KSE2002), 2, Amsterdam, The Netherlands: IOS Press, 1276-1280, 2002.
- 4) M. Mizuno and N. Nishiyama, "Interacting TV Viewers: A Case of Empirical Agent-based Modeling and Simulation for Business Application," Proceedings of the 6th International Conference on Complex Systems (CS02), 384-389, 2002.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 水野誠, 片平秀貴「消費者選好ルールの進化：スキャナーパネルデータからの計測」日本マーケティング・サイエンス学会第71回研究大会, 2002.

iii) その他

- 1) 水野誠, 消費者選好の限定合理性と進化, 東京大学大学院経済学研究科博士課程学位論文, 2003.

(2) 学会活動

- 1) 日本マーケティング・サイエンス学会, 経営情報学会, 日本ファジィ学会の各論文誌のレフェリーを行なう

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科：「先端マーケティング特講」

(2) 他大学における教育活動

- 1) 上智大学 全学共通科目「マルチメディア情報社会論」

III. 社会的活動

- 1) 日本能率協会「新商品開発とマーケティング・リサーチ」(講演)

三橋 平

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Mitsuhashi, Hitoshi & Hyeon Jeong Park. 2002. Network Configuration for Building Effective Networks: Effects of Embeddedness and Power Dispersion on Performance of Underwriter Syndicates in the Japanese IPO Markets. A paper presented in the Annual Meeting of American Sociological Association, Organization Theory Division, Chicago, IL. (REFREED)

- 2) Greve, Henrich, and Hitoshi Mitsuhashi. 2002. Multiunit Organization and Multimarket Strategy: Market Entry Dynamics. A paper presented in the conference on Different Perspectives on Competition and Cooperation in Umea, Sweden.
 - 3) Mitsuhashi, Hitoshi. 2002. Effects of Resource Dependence on Strategic Conformity and the Role of Organizational Credibility: An Empirical Investigation of the Japanese Venture Capital Firms. A paper presented in the Annual Meeting of Academy of Management, OMT Division, Denver, CO. (REFREED)
 - 4) Sine, Wesley D., Mitsuhashi, Hitoshi, & David Kirsch. 2002. Failing to Grow and the Meaning of Failure: Growth, Merger, and Death of Internet Service Providers 1996-2002. A paper presented in the Annual Meeting of Academy of Management, OMT Division, Denver, CO. (REFREED)
 - 5) Mitsuhashi, Hitoshi. Forthcoming. Effects of Social Origins of Alliances and Alliance Performance. *Organization Studies*. (REFREED)
 - 6) Mitsuhashi, Hitoshi. Forthcoming. Uncertainty in Selecting Alliance Partners: The Three Reduction Mechanisms and Alliance Formation Processes. *International Journal of Organizational Analysis*. (REFREED)
 - 7) Park, Hyeon Jeong, Hitoshi Mitsuhashi, Carl F. Fey, and Ingmar Bjorkman. Forthcoming. The Effect of Human Resource Management Practices on Japanese MNC Subsidiary Performance - A Partial Mediating Model. *International Journal of Human Resource Management*. (REFREED)
 - 8) Mitsuhashi, Hitoshi & Henrich R. Greve. 2003. Intraorganizational power and the dynamics of corporate strategy. A paper presented in the Annual Meeting of Academy of Management, OMT Division, Seattle, WA. (REFREED)
 - 9) Sine, Wesley D. & Hitoshi Mitsuhashi. 2003. Love for sale: Endorsement seeking behavior of new firms in an emerging industry. A paper presented in the Annual Meeting of Academy of Management, OMT Division, Seattle, WA. (REFREED)
 - 10) Sine, Wesley D., Hitoshi Mitsuhashi, & David Kirsch. 2003. Pioneers in an emerging industry: organizational determinants of growth of internet service firms. A paper presented in the Annual Meeting of Academy of Management, OMT Division, Seattle, WA. (REFREED)
 - 11) Bird, Allan and Hitoshi Mitsuhashi. 2003. Entrepreneurial processes and mechanisms: Historical and theoretical perspectives and entrepreneurship in the Japanese Contexts. The 4th Shibusawa Foundation International Conference. St. Louis: MO.
 - 12) Mitsuhashi, Hitoshi & Wesley D. Sine. 2003. Conformity, organizational autonomy, and the moderating role of organizational credibility. A paper presented in the Annual Meeting of American Sociological Association. Atlanta, GA. (REFREED)
 - 13) Greve, Henrich R. & Hitoshi Mitsuhashi. Forthcoming. Multiunit Organization and Multimarket strategy: The Dynamics of Market Entry and Commitment. *Scandinavia Journal of Management*. (REFREED)
- (2) 研究助成など
- 1) 文部科学省在外研究員

- 2) 文部科学省科学研究費若手 B
- 3) 渋沢栄一財団

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科： 起業論, 統計学 I
総合科目： 経営の科学

III. 社会的活動

- 1) 筑波大学附属坂戸高等学校「起業基礎」プロデューサー
- 2) 自動車会社社会貢献活動の評価プロジェクト

繆 瑩

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) R. Fuji-Hara, S. Kageyama, S. Kuriki, Y. Miao and S. Shinohara, Balanced nested designs and balanced arrays, *Discrete Mathematics* 259 (2002), 91-119.
- 2) Y. Chang and Y. Miao, Constructions for optimal optical orthogonal codes, *Discrete Mathematics* 261 (2003), 127-139.
- 3) Y. Chang, R. Fuji-Hara and Y. Miao, Combinatorial constructions of optimal optical orthogonal codes with weight 4, *IEEE Transactions on Information Theory* 45 (2003), 1283-1292.
- 4) Y. Miao, A combinatorial characterization of regular anonymous perfect threshold schemes, *Information Processing Letters* 85 (2003), 131-135.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) Y. Miao, A combinatorial characterization of regular anonymous perfect threshold schemes (Plenary Talk), International Congressus of Mathematicians 2002 Satellite Conference on Combinatorics, Hebei Normal University, Shijiazhuang, P. R. China, August 16-19, 2002.
- 2) Y. Miao and R. Tso, An application of covering designs in threshold schemes with cheaters, 日本数学会年会, 島根大学総合理工学部, 平成 14 年 9 月 25 日-9 月 28 日.
- 3) Y. Miao, Combinatorial constructions of optical orthogonal codes, 「組合せ論的数論と代数的組合せ論についての研究集会」, 山形大学, 山形市, 平成 14 年 11 月 18 日-21 日.
- 4) Y. Miao, Combinatorial structures in threshold schemes, The 27th Australasian Conference on Combinatorial Mathematics and Combinatorial Computing, The University of Newcastle, Australia, December 9-13, 2002.

- 5) Y. Miao, しきい値法の組合せ的特徴付け, 「モバイル環境における Person to Person 高信頼性情報流通技術」, 情報通信サブサイエティ合同研究会, 三重大学, 津市, 平成15年3月26日-27日.

(2) 学会活動

- 1) Editorial Board: Graphs and Combinatorics, Springer.
- 2) レフェリー: Designs, Codes and Cryptography
- 3) レフェリー: Discrete Mathematics
- 4) レフェリー: Graphs and Combinatorics
- 5) レフェリー: IEEE Transactions on Information Theory
- 6) レフェリー: Journal of Combinatorial Designs
- 7) External Reviewer for a PhD dissertation from Suzhou University, P. R. China.

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)(2), 代表者), 「組合せ的設計理論を用いた光直交符号の構成に関する研究」, 課題番号 14540100.
- 2) 科学研究費補助金 (基盤研究 (B) 展開研究 (2), 分担者), 「デリバティブ価額計算のための超一様分布列の構成に関する研究」, 課題番号 13558046.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科: 離散数学と暗号, リスク工学特別演習
経営・政策科学研究科: 実験計画法
社会工学類: 統計学, 情報ネットワーク

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系: 予算委員会 委員

村尾 修

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 村尾修, 中谷典正 (共著): 「第三部 災害と住居 (雲仙普賢岳)」を担当, マンション居住 住宅白書 2002-2003, 日本住宅会議編, ドメス出版, 319-324, 356, 2002.5
- 2) 村尾修, 山崎文雄: 震災復興都市づくり特別委員会調査データに構造・建築年を付加した兵庫県南部地震の建物被害関数, 日本建築学会構造系論文集, 日本建築学会, No. 555, 185-192, 2002.5
- 3) 村尾修, 佐伯琢磨, 小嶋伸仁, 宇治田和, 加藤孝明, 山崎文雄: 世田谷区の住宅地を対象とした木造住宅の耐震診断調査, 第11回日本地震工学シンポジウム論文集, 2113-2118,

2002.11

- 4) 加藤孝明, 小宮充豊, 亀野弘昭, 佐伯琢磨, 村尾修, 山崎文雄, 小檜山雅之: 墨田地区と世田谷地区を対象とした居住者の地震リスク認識の地域特性の理解, 第11回日本地震工学シンポジウム論文集, 2423-2428, 2002.11
- 5) 中谷典正, 村尾修: 地方都市における小規模自治体の実情を踏まえた地域防災計画作成手法の提案, 地域安全学会論文集, 地域安全学会, No. 4, 325-334, 2002.11
- 6) Murao, O., Ichiko, T., and Nakabayashi, I.: "The Process of Recovery and Reconstruction in Chi-Chi Area after the 1999 Chi-Chi Earthquake, Taiwan," Proceedings of the 7th Japan/United States Workshop on Urban Earthquake Hazard, Maui, Hawaii, USA. 2003.3 (in Printing)
- 7) Kohiyama, M., Ujita, N., Murao, O., Kato, T., and Yamazaki, F.: "Evaluation of Seismic Diagnosis Methods for Wooden Housing Intended for Web Service," Proceedings of the 7th Japan/United States Workshop on Urban Earthquake Hazard, Maui, Hawaii, USA. 2003.3 (in Printing)

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 市古太郎, 福留邦洋, 葉袋奈美子, 村尾修, 中林一樹: 台湾集集鎮における921地震災害からの市街地復興と被災者住宅再建支援策について, 2002年度日本建築学大会(北陸)学術講演梗概集F-1, 日本建築学会, 233-234, 2002.8
- 2) 糸井川栄一, 熊谷良雄, 村尾修, 岡本直久, 小田淳一, 菅原康司: 都市域における火山噴火による降灰被害の連鎖構造に関する研究—雲仙普賢岳噴火災害時の島原市を対象として—, 2002年地域安全学会梗概集, 地域安全学会, 9-12, 2002.11
- 3) 福田清乃, 村尾修, 熊谷良雄: 水害常襲地域における住民の防災意識の風化に関する研究, 2002年地域安全学会梗概集, 地域安全学会, 35-38, 2002.11
- 4) 村尾修: 都市防災性能評価尺度としての防災復興相環モデルの試案, 2002年地域安全学会梗概集, 地域安全学会, 151-154, 2002.11

iii) その他

- 1) 村尾修(共著): 平成13年度科学技術振興調整費緊急研究開発等, 米国世界貿易センタービルの被害拡大過程・被災者対応等に関する緊急調査研究, 2002.12
- 2) 南投焦点・総合報新聞2002/8/14朝刊, 「人物春秋」, 2002.8
- 3) 村尾修(共著) 日本都市計画学会防災・復興研究委員会: 防災復興研究委員会2002年度活動報告書, p.131, 2003.3

(2) 学会活動

- 1) 都市計画学会 防災・復興研究委員会主査
- 2) 地域安全学会理事
- 3) 地域安全学会広報委員
- 4) 日本建築学会 都市防災システム小委員会都市防災システム図集編集WG
- 5) 日本建築学会 地震防災総合研究特別研究委員会 都市防災・復興方策小委員会委員
- 6) 日本建築学会 災害発生から復興に至る学会行動計画の策定特別委員会
- 7) 自然災害学会 学会誌編集委員会

- 8) 日本建築学会都市計画委員会都市防災システム小委員会による公開研究会「都市防災教育と図集のあり方に関するWS」においてファシリテーターを務めた。2002.06.17
- 9) 宮崎大学にて開催された第39回自然災害科学総合シンポジウム平成13年度突発災害調査研究報告「米国世界貿易センタービルの被害拡大過程，被災者対応等に関する緊急調査研究」の中で、「世界貿易センタービル地区の都市環境被害の実態とその後の復旧過程の分析」と題して講演を行った。2002.09.21
- 10) 都市計画学会2002年度全国大会（大阪市立大学）において開催された防災復興研究委員会主催ワークショップ「国内外の防災・復興まちづくりに学ぶ」にてコメンテーターを務める。2002.11.16
- 11) 日本建築学会都市計画委員会都市防災システム小委員会による公開研究会「都市防災教育と図集のあり方に関するWS」においてファシリテーターを務めた。2002.06.17
- 12) 日本建築学会都市計画委員会都市防災システム小委員会による公開研究会「自治体の地震被害評価に関わる諸問題ーガイドラインの提案に向けて(1)問題の構造化」においてワークショップのコーディネータを務めた。2002.11.18
- 13) 第4回地震災害予測研究会（損害保険料率算出機構主催）にて「建物耐震性能等の実態に関する調査研究」と題して講演を行った。2003.3.10

(3) 研究助成など

- 1) 地震災害からの復旧・復興過程に関する日本・トルコ・台湾の国際比較研究，科学研究費基盤研究（A），研究分担者（代表：東京都立大学 中林一樹）
- 2) サイバーシティモデルと空間情報基盤を用いた都市性能評価に関する基礎的研究，科学研究費奨励研究（A），研究代表者
- 3) 空間情報基盤を用いたサイバーシティモデル，国際コミュニケーション基金助成，研究代表者（奨学寄付金）
- 4) 大都市における火山灰災害の影響予測評価に関する研究（火山灰災害による交通および都市活動への影響評価），運輸施設整備事業団受託研究，研究分担者（代表：筑波大学 熊谷良雄）
- 5) 建物耐震性能等の実態に関する調査研究，地震予知振興会，研究分担者（代表：東京大学生産技術研究所 山崎文雄）（奨学寄付金）
- 6) NY/WTCビルの被害拡大過程・被災者対応に関する日米共同研究（H14），文部科学省振興調整費，研究分担者（代表：京都大学防災研究所巨大災害研究センター 河田恵昭）
- 7) 3Dサイバーシティモデルを用いた都市性能評価に関する考察（H14），筑波大学学内プロジェクト奨励研究，研究代表者
- 8) 復旧・復興プロセスにおける救援および復興政策立案・評価システム（H14-18），文部科学省大都市大震災軽減化特別プロジェクト研究分担者（代表：筑波大学 熊谷良雄）

(4) その他

- 1) タイ・バンコクのスラム街と水上都市の調査，2002.4
- 2) アメリカ・セントヘレンズ火山の現状調査，2002.7
- 3) 台湾における復旧・復興過程調査（集集鎮），2002.8

(5) 受賞

- 1) 2002年日本建築学会奨励賞
- 2) 2002年日本建築学会梅村魁賞（副賞として）

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： リスク工学特別演習, 都市構造システム論, 都市リスク分析演習

環境科学研究科： 環境情報解析処理法

社会工学類： 環境デザイン, 都市計画実習 II, 都市計画実習 III, 都市デザイン演習, 図学・測量学, 自由演習（空間演習）

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： 予算委員, 防災委員（搬出班）

環境科学研究科： 広報・リクルート委員

社会工学類： 施設委員, 広報委員, クラス担当（2年）, 学生委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 東京大学生産技術研究所研究員
- 2) 日本大学理工学部非常勤講師
- 3) 明海大学不動産学部非常勤講師

(4) その他

- 1) 村尾修：50 学問一斉アンケート「社会事象」&「同時多発テロ」にこの学問ではこうアプローチ, リクルートキャリアガイド「68 都市計画」, 進学リクルートブック 学校選びスタート号 '03, 36, 2002.6
- 2) 村尾修：72 学問分野パーフェクトガイド「68 都市計画」, 進学リクルートブック 学校選びスタート号 '03, 36, 2002.6
- 3) 日本建築学会都市計画委員会都市防災システム小委員会による公開研究会「都市防災教育と図集のあり方に関する WS」においてファシリテーターを務めた. 2002.06.17
- 4) 筑波大学社会工学類にて開催された受験生のための説明会にて「都市計画の魅力」と題して講演を行った. 2002.7.29
- 5) 茨城県立古河第3 高校にて「都市計画の魅力」と題して, 高校生を対象とした大学模擬講義を行った. 2002.9.17

III. 社会的活動

- 1) 川崎市防災会議専門委員（川崎市防災対策検討委員会委員）

八重倉 孝

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Takashi Yaekura and David A. Ziebart, An Analysis of the Difficulty in Correctly Identifying Discretionary Accruals, Forthcoming in Advances in Quantitative Analysis of Finance and Accounting.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) Takashi Yaekura, Investment Strategies Based on Accounting-based Valuation Models, 第1回日本管理会計学会リサーチ・セミナー, (2002年6月).
- 2) 八重倉孝「純利益, 包括利益とアナリストの利益予測」日本会計研究学会61回大会(2002年9月)
- 3) Takashi Yaekura, Investment Strategies Based on Accounting-based Valuation Models, Asian Academic Accounting Association Annual Meeting, (2002年10月).
- 4) Takashi Yaekura, The Usefulness of Accounting Information and Accounting Big-Bang in Japan, Asian-Pacific Conference on International Accounting Issues, (2002年11月).
- 5) Takashi Yaekura, The Usefulness of Accounting Information and Accounting Big-Bang in Japan, International Association for Accounting Education and Research Conference, (2002年11月).
- 6) 八重倉孝, Discussion of "More Stylized Facts before Theorizing: Toward a Data Acceptable Ohlson Model" by Y. Fukui, 第3回日本管理会計学会リサーチ・セミナー, (2003年3月: 討論者として).

iii) その他

- 1) 八重倉孝, IASB「業績報告プロジェクト」の問題点, JICPA ジャーナル, 2003年2月号, pp. 33-36.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科: 会計測定財務会計, 会計情報, 社会科学の研究手法, 財務会計輪講 I, 財務会計輪講 II, 財務会計輪講 III, ビジネスマネジメント研究 I

(2) 役職・各種委員会委員

ビジネス科学研究科: 経営システム科学専攻総務・財務・設備委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 武蔵大学経済学部非常勤講師 (財務報告論)
- 2) 千葉大学法経学部非常勤講師 (財務管理論)

- 3) 埼玉大学大学院経済科学研究科非常勤講師（企業評価論）
- 4) 東北大学大学院経済学研究科非常勤講師（会計情報分析論）

III. 社会的活動

- 1) 財務会計基準委員会 業績報告プロジェクトメンバー
- 2) NPO 法人国際会計教育協会 幹事

柳原 宏和

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) H. Yanagihara, Asymptotic expansion of the null distribution of test statistic for linear hypothesis in nonnormal linear model, *Journal of Multivariate Analysis*, 84 (2003), 222-246.
- 2) H. Yanagihara and T. Tonda, Adjustment on an asymptotic expansion of the distribution function with χ^2 -approximation, *Hiroshima Mathematical Journal*, 33 (2003), 15-25.
- 3) K. Satoh, H. Yanagihara and M. Ohtaki. Bridging the gap between B-spline and polynomial regression model, *Communications in Statistics Simulation and Computation*, 32 (2003), 179-190.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) M. Ohtaki, H. Kawasaki, K. Satoh, T. Nakayama, H. Yanagihara and N. Yamaguchi, Visualization of time and geographical distribution of cancer mortality in Japan, The 30th Annual Meeting of the Statistical Society of Canada, McMaster University, Hamilton, Ontario, CANADA, May 26 - May 29, 2002.
- 2) M. Ohtaki, H. Kawasaki, K. Satoh, T. Nakayama, H. Yanagihara and N. Yamaguchi, Visualization of time-spatial distribution of cancer mortality in Japan using municipality-specific demographic data, The 2002 Taipei International Statistical Symposium and Bernoulli Society EAPR Conference, Institute of Statistical Science, Academia Sinica, Taipei, TAIWAN, July 7 - July 10, 2002.
- 3) 大瀧 慈, 川崎 裕美, 佐藤 健一, 中山 晃志, 柳原 宏和, 山口 直人, 時空間平滑化とポアソンガンマモデルに基づく市区町村単位疾病地図の作製, 2002 年度 統計関連学会 連合大会, 平成 14 年 9 月 8 日 - 10 日.
- 4) 藤越 康祝, 柳原 宏和, 若木 宏文, 多変量非正規回帰モデルにおける変数選択について, 2002 年度 統計関連学会 連合大会, 平成 14 年 9 月 8 日 - 10 日.
- 5) 柳原 宏和, 非正規多変量線形モデルにおける検定統計量の漸近展開とその応用, 2002 年度 統計関連学会 連合大会, 平成 14 年 9 月 8 日 - 10 日.
- 6) 柳原 宏和, 非正規多変量線形モデルにおける検定統計量の漸近展開とその応用, 科研費研究集会「漸近展開」, 東京大学, 平成 14 年 12 月 4 日.

- 7) 柳原 宏和, 吉本 敦, スギ林造林による炭素固定量の推定, 「高次情報処理の統計的基盤」シンポジウム, 広島, 平成 15 年 1 月 9 ~ 10 日.

(2) 学会活動

- 1) レフリー: Journal of the Japan Statistical Society.
- 2) 2002 年度 統計関連学会 連合大会, 統計理論一般 (3) 座長.

II. 教育・業務活動

(1) 他大学における教育活動

- 1) 千葉大学法経学部 非常勤講師, 平成 14 年 4 月 - 平成 15 年 3 月.
- 2) Invited Assistant Professor, Laboratory for Social Research, University of Notre Dame (USA), February - March, 2003.

山鹿 久木

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 山鹿久木・中川雅之・齊藤誠 (2002), 「地震危険度と地価形成: 東京都の事例」, 『応用地域学研究』 7.pp.51-62.
- 2) 山鹿久木・中川雅之・齊藤誠 (2002), 「地震危険度と家賃: 耐震対策のための政策的インプリケーション」, 『日本経済研究』 No.46.pp.1-26.
- 3) 大竹文雄・山鹿久木 (2002), 「定期借家の実証分析」, 『日本不動産学会誌』 第 16 巻, 第 1 号, pp.54-64.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 「地震危険度と家賃: 耐震対策のための政策的インプリケーション」 日本経済学会 2002 年度秋季大会 (広島大学)
- 2) 「地震危険度と家賃: 耐震対策のための政策的インプリケーション」 第 16 回応用地域学会 (岡山大学)
- 3) 「市場メカニズムを通じた防災対策について: 地震リスクに関する実証研究からのインプリケーション」 住宅経済研究会 ((財) 日本住宅総合センター主催)
- 4) 「地震危険度が地価や家賃に与える影響」 Urban Economics Workshop (京都大学経済研究所)
- 5) 「環境経済評価について」 空間公共経済学研究会 (東京大学)

(2) 学会活動

- 1) 総務企画委員 (都市住宅学会)
- 2) レフェリー 『都市住宅学』, 『日本不動産学会誌』, 『交通学研究』

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究補助金 若手研究 (B), 基盤研究 (B)(1)
- 2) 学内プロジェクト助成研究 (B)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類： 微分積分学, 都市経営論, 地域科学演習 III

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： 総務委員

III. 社会的活動

- 1) マンション建替えの円滑化に資する借家制度の在り方に関する研究委員会委員 (国土交通省)

吉田 謙太郎

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 吉田謙太郎「選択実験型コンジョイント分析による環境リスク情報のもたらす順序効果の検証」『農村計画学会誌』2003年3月, pp.303-312
- 2) 吉田謙太郎・大谷智一・窪添真史「政策評価のための選択実験による便益移転」『農業経済研究・2002年度日本農業経済学会論文集』2002年10月, pp. 179-181
- 3) 矢部光保・アンドレアス=コントレオン・エリック=レイアン・吉田謙太郎「英国における食品安全性と表示に関する消費者選好-遺伝子組み換え農産物に関する潜在分類モデルによる選択実験-」『農業経済研究・2002年度日本農業経済学会論文集』2002年10月, pp. 221-224.
- 4) 垣内恵美子・吉田謙太郎「CVMによる「文化資本」の便益評価の試み-世界遺産富山県五箇山合掌造り集落の事例研究を通じて-」『文化経済学』3(2), 2002年9月, pp. 63-74.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 吉田謙太郎「コンジョイント分析による棚田の環境評価と便益移転」農村計画学会春季大会報告, 2002年4月
- 2) 吉田謙太郎「選択実験による環境リスク情報の影響分析」環境経済・政策学会報告, 2002年9月
- 3) Yoshida, K., Benefit Transfer of Choice Experiments for Valuing Negative and Positive Externalities of Agriculture, 2nd World Congress of Environmental and Resource Economists, 2002.6
- 4) Yoshida, K., Benefit Transfer of Choice Experiments for the Evaluation of Direct Payments, Annual Meeting of American Agricultural Economics Association, 2002.7

- 5) Yoshida, K., Evaluation of Policy Measures for Preserving Multifunctional Roles of Agriculture, 4th Asian Society for Agricultural Economics, 2002.9

iii) その他

- 1) 吉田謙太郎「農林業との比較で考える漁業・漁村の多面的機能」『漁協』102, 2003年3月, pp. 12-14
- 2) Yoshida, K. Transaction Cost and Demand Measurement Method for Positive and Negative Externalities, Japan International Agricultural Council, 2002.4
- 3) 吉田謙太郎『都市農村交流人口及び市場規模の推計』都市農山漁村交流活性化機構, 2002年4月

(2) 学会活動

- 1) 農村計画学会・編集委員会委員
- 2) 査読委員（環境経済・政策学会, 日本農業経済学会, 農村計画学会）

II. 教育・業務活動

(1) 他大学における教育活動

- 1) 東京農工大学（非常勤講師）
- 2) 法政大学（非常勤講師）

III. 社会的活動

- 1) 財団法人 都市農山漁村交流活性化機構「都市農村交流に係る市場規模等算定手法確立の調査」検討委員会委員
- 2) 財団法人 都市農山漁村交流活性化機構「経営構造対策事業にかかる評価手法研究事業」検討委員会委員
- 3) 財団法人 農林水産政策情報センター「平成14年度 政策評価手法の向上に関する調査研究」検討委員会委員
- 4) 全国漁業協同組合連合会「平成14年度 多面的機能評価等調査委託事業」検討委員会委員
- 5) 財団法人 日本農業土木総合研究所「WWF3 参画戦略会議経済分野検討ワーキンググループ」委員
- 6) 国際シンポジウム「文化資本と持続可能な都市の再生」実行委員・パネリスト
- 7) 講演会・セミナー等（福井県立大学, 東京都庁, 神奈川県庁, 農業土木学会, 工業技術会, 農林水産政策情報センター他）

吉田 友彦

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 齋藤雪彦・吉田友彦・高梨正彦・椎野亜紀夫「都市近郊農村地域における集落域の空間管

理の粗放化に関する基礎的研究「茨城県つくば市 N 集落をケーススタディとして」2003年4月, 日本建築学会計画系論文集第566集 pp.39-46

ii) その他

- 1) 吉田友彦・齋藤雪彦「旧住宅地造成事業地区およびその周辺農地における空間の粗放化に関する研究―茨城県つくば市域を事例として―」2002年6月, 国土交通省土地関係研究者育成支援事業最終報告書
- 2) 吉田友彦「インドネシアにおける都市土地地区画整理事業の施行状況について」2002年8月, 日本建築学会大会学術講演梗概集, pp.87-88
- 3) 齋藤雪彦(東京農工大)・吉田友彦・椎野重紀夫・高梨正彦「都市近郊農村地域における集落域の空間管理の粗放化と所有構造に関する基礎的研究―つくば市西高野集落を事例として―」2002年8月, pp.607-608
- 4) 吉田友彦「東京圏における都心回帰と都市再生の課題」2002年9月, 日韓都市・住宅政策研究交流集会, 大韓住宅公社との共同セミナーにおける口頭発表(ソウル)
- 5) 遠藤誉他「帰国アジア元留学生の日欧比較追跡調査による留学効果に関する研究」2002年12月, 平成11~13年度科学研究費補助金(基盤研究(A)(2))研究成果報告書
- 6) 吉田友彦「台湾における帰国元留学生の留学効果に関する調査報告」2002年12月, 留学生教育学会における口頭発表

(2) 学会活動

- 1) 日本建築学会・建築経済委員会・住宅の地方性小委員会・幹事
- 2) 日本建築学会・関東支部・住宅問題専門研究委員会・副査
- 3) 日本都市計画学会学術委員会委員

(3) 研究助成など

- 1) 第一住宅建設協会「住宅・都市計画学データベースのアクセスログ解析による資料閲覧需要の計測」(研究代表者: 吉田友彦)
- 2) 筑波大学学内プロジェクト「開発途上国における土地地区画整理事業施行の特徴について」(研究代表者: 吉田友彦)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

留学生センター: 留学生センター相談指導業務, 外国人留学生及びチューター向けオリエンテーション, 一般日本事情 II (日本語・日本事情編成科目)

環境科学研究科: 環境統計分析法, 環境科学実習

社会工学類: 社会工学概論及び実習, 都市計画実習 II, 自由演習

(2) 担当講義

留学生センター: 情報・ネットワーク委員会・幹事, ウェブマスター (Web ページ及び代表 e-mail の管理・運営)

社会工学類: 広報委員会委員

III. 社会的活動

- 1) NPO法人・西山記念すまい・まちづくり文庫運営委員
- 2) 一級建築士登録 (296144 号)

領家 美奈

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 河野小夜子, Huynh Van Nam, 領家美奈, 中森義輝, ソフトデータに基づく環境評価モデル. システム制御情報学会論文誌, 第 15 巻, 第 12 号, pp.652-636, 2002.
- 2) Tieju Ma, Mina Ryoke and Yoshiteru Nakamori, An Agent-based Simulation on Market Considering Knowledge Transition and Social Impact, Journal of Systems Science and Complexity, Science Press, China & Allerton Press, INC. USA, Vol. 15, No. 3, pp. 251-260, 2002.
- 3) Mina Ryoke and Yoshiteru Nakamori, Agent-based Clustering and Rule Extraction, Joint 1st International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems (International Session of 18th SOFT Fuzzy Systems Symposium) and 3rd International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS & ISIS 2002), October 21-25, 2002, Tsukuba, Japan
- 4) Mina Ryoke and Yoshiteru Nakamori, Agent Approach to Data Classification, 16th JISR-IIASA Workshop on Methodologies and Tools for Complex System Modeling and Integrated Policy Assessment. (CSM'02) pp.36, Laxenburg, Austria, July 15-17, 2002.

ii) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 領家美奈, 中森義輝, 感性データのファジィ主成分分析, 第 4 回日本感性工学会大会予稿集 pp.280, 2002 年 9 月 12-14 日.
- 2) 領家美奈, 中森義輝, エージェントを用いた混合データのクラスタリングについて, 第 18 回ファジィシステムシンポジウム講演論文集 pp.289-290, 2002 年 8 月 27-29 日
- 3) 領家美奈, 中森義輝, エージェントを用いたルール発見法, ソフトサイエンス講演論文集 pp.79-82, 2003 年 3 月 8-9 日.

(2) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 多次元データ空間探索エージェント群の設計に関する研究

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科： 経営科学総論, ビジネスモデリング, 最適化モデル

III. 社会的活動

- 1) 国際応用システム解析研究所（オーストリア・ラクセンブルク）2001.5.26-2002.5.25, 文部科学省在外研究員

渡辺 真一郎

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Watanabe, S., & Hammer, T.H. (2003). A study on the relative importance of interpersonal vs work-related versions of person-situation relations and satisfaction for situational attachment. American Psychological Society 15h Annual Convention, Atlanta, GA.
- 2) Watanabe, S., & Kanazawa, Y. (2003). When openness to experience and conscientiousness affect continuous learning behavior: A mediational model. American Psychological Society 15h Annual Convention, Atlanta, GA

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科： 組織科学
経営・政策科学研究科： 組織行動論
社会工学類： 経営組織論, 社会調査法

梅澤 正史

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) “Sufficient Conditions for Nonempty Core of Minimum Cost Forest Games” (with H. Nishino), Journal of the Operations Research Society of Japan 46 (2003), 35-43.

ii) その他

- 1) “Hub-Spoke 型ネットワークにおける費用負担問題について” (松林伸生, 増田靖, 西野寿一と共著), 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2002 年度秋季研究発表会アブストラクト集 (於 公立はこだて未来大学)
- 2) “A Model for Knowledge Management through Market Mechanism” (with S. Yamakawa), INFORMS Annual Meeting, San Jose, November, 2002.
- 3) “Sufficient Conditions for Nonempty Core of Minimum Cost Forest Games” (西野寿一と共著), 日本オペレーションズ・リサーチ学会研究部会: ゲーム理論とその応用 2002 年 12 月 (於 東京工業大学)
- 4) “有限 n 人非協力ゲームのパレート最適な相関均衡の存在判定について” (岡田真弥, 西野寿一と共著), 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2003 年春季研究発表会アブストラクト集 (於 慶應義塾大学)
- 5) “離散的構造を持つ空間競争モデルにおける Bertrand-Nash 均衡解の計算” (松林伸生, 増田靖, 西野寿一と共著), 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2003 年春季研究発表会アブストラクト集 (於 慶應義塾大学)
- 6) “最小費用フォレストゲームにおけるコアの存在について” (西野寿一と共著), 統計数理研究所 研究集会「最適化: モデリングとアルゴリズム」, 2003 年 3 月 (於 国立学校財務センター)

(2) 研究助成など

- 1) 研究助成金 (慶應義塾先端科学技術研究センター)
- 2) 大学院高度化推進研究費補助金 (慶應義塾研究助成センター)

大津 晶

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 学会での口頭発表・講演等

- 1) 3次元空間の領域内距離分布, 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2003 年春季研究発表大会.

ii) その他

- 1) 大津 晶, 腰塚武志 (2003), 3次元空間の領域内距離分布, 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2003 年春季アブストラクト集, pp.164-165.

(2) 学会活動

- 1) 日本都市計画学会 論文査読員
- 2) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 論文査読員

(3) 研究助成など

- 1) 平成 14 年度学内プロジェクト研究 奨励研究 (準研): 都市サービスおよび都市活動の空間的移動を考慮した施設配置モデルの研究

II. 社会的活動

- 1) 国土交通省国土技術政策総合研究所 都市構造ワーキンググループ委員

新谷 由紀子

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 新谷, 菊本「日本型の効果的な技術移転システムのあり方に関する一考察」開発技術学会『開発技術』Vol.8, pp.9-21, 2002.5
- 2) 新谷, 菊本「日本の大学発ベンチャーの課題と将来像-規模, 業種, 大学別の特徴と分析から」文理シナジー学会『文理シナジー』第7巻第1号, pp.17-27, 2002.10
- 3) 菊本, 新谷「大学等発ベンチャーの課題と推進方策に関する調査研究」平成 14 年度文部科学省 21 世紀型産学連携手法の構築に係るモデル事業成果報告書, 2003.3

(2) 研究助成など

- 1) 産学連携における倫理をめぐる諸問題と倫理基準策定の研究, 科学研究費補助金若手研究 (B)

ANNUAL REPORT 2002 – 2003 No.26

2003年10月発行

発行 筑波大学 社会工学系 総務委員会

〒305-8573 茨城県つくば市天王台 1-1-1

TEL 029-853-5182, 5170

FAX 029-853-5070, 855-3849

表紙写真 山田 圭一 名誉教授